

根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事 監理業務

入札説明書

根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事監理業務に係る入札公告（業務）に基づく一般競争入札については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 公告日：令和6年4月3日

2 支出負担行為担当官

北海道森林管理局長 吉村 洋

3 業務概要

(1) 業務名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事監理業務

(電子入札対象案件)

(2) 業務場所 阿寒郡鶴居村西4丁目76-1

(3) 業務内容 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事に係る監理業務
詳細は「工事監理業務仕様書」のとおり。

(4) 履行期間 契約締結日の翌日から令和6年10月31日まで（ただし、根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事の受注者が決定後に契約を締結するものとし、業務期間については、工事の完成検査終了の日までとする。）

(5) 本業務は、予定価格が1千万円を超える場合、落札者となるべき者の入札価格が、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第85条に規定する基準に基づく価格（以下「低入札調査基準価格」という。）を下回った場合、同令第86条に規定する調査を実施する業務である。

(6) その他

① 本業務は、資料の提出及び入札等を電子入札システムで行う対象業務である。なお、電子入札システムによりがたい場合は、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。

この申請の窓口及び受付時間は次のとおりである。

・受付窓口：北海道森林管理局 経理課 主計係
北海道札幌市中央区宮の森3条7丁目70番

電話：050-3160-6281（011-622-5214）

メールアドレス：h_keiri@maff.go.jp

・受付時間：9時から17時までとする。ただし、行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条に規定する行政機関の休日（以下「休日」という。）は除く。

② 電子入札システムで使用できるICカードは、一般競争（指名競争）競争参加資格審査申請に基づき、承認された競争参加有資格者名でICカードを取得し、林野庁電子入札システムに利用者登録を行ったものとする。

4 競争参加資格

(1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。

(2) 令和5・6年度の北海道森林管理局における測量・建設コンサルタント等の建築士事務所に係るB又はC等級の一般競争参加資格の認定を受けていること。（会社更生法（昭和14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申し立てがなされている者については、手続開始の決定後、北海道森林管理局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再認定を受けていること）。

(3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申し立てがなされている者（上記(2)の再認定を受けた者を除く。）でないこと。

(4) 平成21年4月1日から令和6年3月31日までの15年間に元請けとして、以下に示す同種の業務を実施した実績を有すること。

同種業務：延床面積50㎡以上の木造建築物の新築における工事監理業務の実績を有する者であること（共同企業体の構成員としての経験は、出資比率が20%以上の場合に限る。）。

(5) 建築士法（昭和25年法律第202号）（以下「法」という。）第2条第3項に規定する2級建築士以上の資格を有する者を当該工事監理業務に配置できること。

また、次に掲げる基準を満たす「管理技術者」を当該業務に配置できること。

② 主任技術者として、2級建築士又はこれと同等以上の資格を有する者を配置できること。

② 平成21年度以降に、上記(4)に掲げる業務の経験を有する者であること。

- (6) 競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、北海道森林管理局長から「工事請負契約指名停止等措置要領の制定について」（昭和59年6月11日付け59林野経第156号林野庁長官通知）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (7) 入札に参加しようとする者の間に、次の基準のいずれかに該当する関係がないこと（基準に該当する者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）。
- ① 資本関係
- 次のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除く。
- (7) 親会社と子会社の関係にある場合
- (4) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合
- ② 人的関係
- 次のいずれかに該当する二者の場合。ただし、イについては、会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除く。
- (7) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合
- (4) 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合
- ③ その他入札の適正さが阻害されると認められる場合
- その他上記①又は②と同視しうる資本関係又は人的関係があると認められる場合
- (8) 農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について（平成19年12月7日付け19経第1314号大臣官房経理課長通知）に基づき、警察当局から、部局長に対し、暴力団員が実質的に経営を支配する事業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (9) 北海道森林管理局管内に本店、支店又は営業所を有している者であること。

5 競争参加資格の確認等

- (1) 本競争の参加希望者は、上記4に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、申請書及び資料を提出し、支出負担行為担当官から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。

4(2)の認定を受けていない者も次に従い申請書等を提出することができる。この場合において、4(1)及び(3)から(9)までに掲げる事項を満たしているときは、開札の時に於いて4(2)に掲げる事項を満たしていることを条件として競争参加資格があることを確認するものとする。当該確認を受けた者が競争に参加するためには、開札の時に於いて4(2)に掲げる事項を満たしていなければならない。

なお、期限までに申請書等を提出しない者又は競争参加資格がないと認められた者は、

本競争に参加することができない。

申請書等の提出は、以下により電子入札システムを用いて提出すること。

ただし、承諾を得て紙入札方式とする場合は持参すること。

① 提出期間： 令和6年4月4日から令和6年4月19日までの休日を除く毎日、9時から17時まで（12時から13時を除く）。

② 提出方法：

電子入札システム「技術資料」画面の添付資料フィールドに「競争参加資格確認申請書」（別紙様式1）、「競争参加資格確認資料」（表紙及び別紙様式2、3）をそれぞれ添付し提出すること。ただし、申請書等の合計ファイル容量が10MBを超える場合には、原則として電子メール（電子メール送信容量は、1通につき7MB以内とする。（締切日時必着）以下同じ。）で提出すること。この場合、必要書類の一式を電子メールで送付するものとし、下記の内容を記載した書面（様式任意）を電子入札システムより、申請書及び資料として送信すること。

- 1 電子メールで提出する旨の表示
- 2 書類の目録
- 3 書類のページ数
- 4 送信年月日、会社名、担当者名及び電話番号
電子メールの提出先又は送付先は次のとおり。
北海道森林管理局 経理課 専門官
電話 011-622-5214
メールアドレス：h_keiri@maff.go.jp

③ ファイル形式：

電子入札システムによる提出資料のファイル形式については以下のいずれかの形式にて作成すること。

- ・ M i c r o s o f t W o r d
- ・ M i c r o s o f t E x c e l
- ・ その他のアプリケーションPDFファイル
- ・ 画像ファイルJPEG形式又はGIF形式
- ・ 圧縮する場合の圧縮ファイルZIP形式

紙入札方式による提出の場合： 入札公告のとおり。

(2) 競争参加資格確認申請書は、別紙様式1により作成すること。

(3) 資料は、次に従い作成すること。ただし、①の同種業務の実績、②の配置予定の技術者の同種業務の経験については、業務が完了し、引渡しが進んでいるものに限り記載すること。

① 業務実績として、4（4）に掲げる資格があることを判断できる同種業務の実績を別紙様式2に1件記載すること。

- ② 配置予定の技術者として、4(5)に掲げる資格があることを判断できる配置予定の技術者の資格、同種業務の経験等を別紙様式3に1件記載することとし、他の業務の従事状況においては、国・県・市町村・民間等全てにおいて記載し、本業務を受注した場合の対応措置においては、従事案件における発注者の意向を踏まえ明確に記載すること。
- ③ 契約書の写しとして、①の同種業務、②の配置予定技術者の経験においては、実績として記載した業務に係る契約書の写しを提出すること。契約書の他に業務計画書等の当該業務の内容（同種業務の実績及び技術者の経験）が証明できる書類を添付すること。必要書類の添付がないものについては、入札に参加できないので留意すること。

(4) 資料作成説明会については、原則として実施しない。

(5) (1)の期間内に申請書等の提出がない場合（必要書類の提出不足等も含む）又は申請書等の記載内容が適正と認められない場合は入札に参加できない。なお、記載内容は、具体的な根拠を伴い、担保・確認ができるものとする。抽象的内容の記載は認めない。

(6) 競争参加資格の確認は、申請書等の提出期限の日をもって行うものとし、参加資格の有無については、令和6年4月26日までに通知する。なお、参加資格「無」とした者に対しては、その理由を付して通知する。

(7) 競争参加資格確認資料のヒアリングについては、原則として実施しない。

(8) その他

- ① 資料等の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。
- ② 支出負担行為担当官は、提出された申請書等を、競争参加資格の確認以外に提出者に無断で使用しない。
- ③ 提出された申請書等は、返却しない。
- ④ 提出期限以降における申請書等の差し替え及び再提出は認めない。ただし、配置予定の技術者に関し、種々の状況からやむを得ないものとして支出負担行為担当官が承認した場合においてはこの限りではない。

6 競争参加資格がないと認めた者等に対する理由の説明

(1) 競争参加資格がないと認められた者は、支出負担行為担当官に対して競争参加資格がないと認めた理由について、次に従い、書面（様式は任意）により説明を求めることができる。

① 提出期限： 令和6年5月2日17時まで

② 提出先： 北海道森林管理局 経理課 専門官 電話 011-622-5214

メールアドレス： h_keiri@maff.go.jp

③ 提出方法：原則として電子メールとする。（提出期限必着）

(2) 支出負担行為担当官は、説明を求められたときは、令和6年5月9日までに説明を求めた者に対し、書面により回答する。

(3) (1)の理由の説明を求める書面及び(2)の回答を行った書面の写しを、次のとおり閲覧に供する方法により公表する。

① 閲覧期間：令和6年5月17日から令和6年6月14日までの休日を除く毎日、9時から17時まで。

② 方法：インターネットを利用して閲覧に供する方法により公表するものとする。

(<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/index.html>)

(4) (2)の回答書による説明に不服がある者は、支出負担行為担当官に対して、次に従い、書面（様式は自由）により再苦情を申し立てることができる。

① 提出期限：(2)の回答書を受け取った日から7日（休日を除く。）以内。

② 提出先：(1)の②に同じ。

③ 提出方法：原則として電子メールによる。（提出期限必着）

(5) 再苦情の申立てについては、北海道森林管理局入札監視委員会で審議する。

(6) 支出負担行為担当官は、再苦情の申立があった者に対し、(5)の入札監視委員会の審議結果を踏まえたうえで、審議結果の報告を受けた日の翌日から起算して7日（休日を除く。）以内に、次の内容を書面により回答する。

① 申立が認められないときは、苦情の申立に根拠が認められないと判断された理由

② 申立が認められると判断されたときは、支出負担行為担当官が講じようとする措置の概要

7 入札説明書に対する質問

(1) この入札説明書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出すること。

① 提出期間：令和6年4月5日から令和6年5月8日まで。

② 提出先：北海道森林管理局 経理課 専門官 電話：011－622－5214
メールアドレス：h_keiri@maff.go.jp

③ 提出方法：原則として電子メールによる。（提出期限必着）

(2) (1)の質問に対する回答は、書面（電子メール）により行う。

また、(1)の質問及び回答書の写しを次のとおり閲覧に供するとともに、北海道森林管

理局のホームページに掲載する方法により公表する。

- ① 閲覧期間：令和6年5月10日から令和6年5月14日までの休日を除く毎日、9時から17時まで。
- ② 閲覧場所：(1)の②に同じ。

8 入札及び開札の日時及び場所等

(1) 電子入札システムによる場合

入札開始日時 令和6年5月8日10時00分

入札締切日時 令和6年5月15日11時00分

- (2) 持参による入札の場合は、令和6年5月15日10時50分までに北海道森林管理局第2会議室（2F）へ持参すること。
- (3) 開札は、令和6年5月15日11時00分に北海道森林管理局第2会議室（2F）において行う。
- (4) 紙入札方式による競争入札の執行にあたっては、支出負担行為担当官等により競争参加資格があることが確認された旨の通知書の写しを持参すること。

9 入札方法等

- (1) 入札書は電子入札システムを用いて提出すること。ただし、発注者の承諾を得た場合は入札書を持参すること。郵送等による提出は認めない。
- (2) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

10 入札保証金及び契約保証金

- (1) 入札保証金： 免除
- (2) 契約保証金： 納付（保管金の取扱店 日本銀行札幌東代理店）。
ただし、以下の条件を満たすことにより契約保証金に代えることができる。
 - 1) 利付き国債の提供（保管有価証券の取扱店 日本銀行札幌東代理店）
 - 2) 金融機関若しくは保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証会社をいう。）の保証（取扱官庁：北海道森林管理局）

また、公共工事履行保証証券による保証を付した場合又は履行保証保険契約の締結を

行った場合には、契約保証金の納付を免除する。なお、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金額の10分の1以上とする。ただし、予決令第86条に規定する調査を受けた者に係る契約保証金の額は10分の3以上とする。

11 業務費内訳書の提出

- (1) 第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した業務費内訳書を電子入札システムにより提出すること。

なお、業務費内訳書の様式は自由であるが、数量、単価、金額等を必ず明記すること。

① 電子入札方式の場合

ア 提出方法

業務費内訳書をウに示すファイル形式にて作成し、業務費内訳書添付フィールドに業務費内訳書を添付し、入札書とともに送信すること。ただし、業務費内訳書のファイルの容量が10MBを超える場合には、次によること。

イ 電子メールについて

業務費内訳書が10MBを超える場合には、業務費内訳書についてのみ原則として電子メール（提出期限必着）で提出すること。この場合には、業務費内訳書の一式を郵送で送付するものとし、その他、入札書の添付書類として、下記の内容を記載した書面（自由様式）を作成し、内訳書フィールドに添付し電子入札システムにより送信すること。

- (ア) 電子メールで提出する旨の表示
- (イ) 書類の目録
- (ウ) 書類のページ数
- (エ) 送信年月日、会社名、担当者名及び電話番号

提出先は次のとおり。

北海道森林管理局 経理課 専門官 電話 011-622-5214

メールアドレス：h_keiri@maff.go.jp

- ウ ファイル形式：電子入札システムにより業務費内訳書を提出する場合のファイル形式については、以下のいずれかの形式で作成し、入札書添付欄に添付するものとする。

- ・ Microsoft Word
- ・ Microsoft Excel
- ・ その他のアプリケーションPDFファイル
- ・ 画像ファイルJPEG形式又はGIF形式
- ・ 圧縮ファイルZIP形式

② 紙入札方式での場合

入札書とともに業務費内訳書を提出すること。

- (2) 提出された業務費内訳書は返却しない。

- (3) 入札参加者は、商号又は名称並びに住所、あて名及び業務名を記載し、記名を行った

業務費内訳書を提出しなければならない。

また、提出された業務費内訳書について支出負担行為担当官から説明を求めることがある。

なお、当該業務費内訳書の提出のない者がした入札は無効とする。

12 開札

開札は、電子入札システムにより行うこととし、林野庁電子入札システム運用基準に定める立会官を立ち合わせて行う。

紙入札方式による場合にあっては、競争参加者又はその代理人が立ち会い、開札を行うものとする。なお、競争参加者又はその代理人が立ち会わないときは、入札執行事務に関係のない職員を立ち合わせ開札を行う。

13 入札の無効

- (1) 入札公告に示した競争参加資格のない者が行った入札、申請書等に虚偽の記載をした者が行った入札、暴力団排除に関する誓約事項について虚偽又はこれに反する行為が認められた入札並びに北海道森林管理局ホームページに掲示している北海道森林管理局競争契約入札心得において示した入札に関する条件に違反した入札は無効とし、無効の入札を行った者を落札者としていた場合には落札決定を取り消す。
- (2) (1)の無効の入札を行った者を落札したことが明らかとなった場合には落札決定を取り消す。
- (3) 支出負担行為担当官により競争参加資格のある旨確認された者であっても、開札の時ににおいて4に掲げる資格のない者は、競争参加資格のない者に該当する。

14 落札者の決定方法

- (1) 落札者は、競争参加資格の確認がなされた者の中で、予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者とする。
ただし、予定価格が1千万円を超える業務について、落札者となるべき者の入札価格によると当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不適當であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、最低の価格をもって入札した者を落札者とする可能性がある。
- (2) 履行確実性の審査・評価に関するヒアリングに応じない者（当該ヒアリングの日時、指定場所に来なかった場合を含む。）及び当該ヒアリングの実施にあたって、求められた追加資料の提出を期限までに行わない者が行った入札は、入札に関する条件に違反した入札として無効とする。
ただし、天災・事故・病気など特別な事情を理由に、ヒアリングに応じなかった場合又は追加資料を提出しなかった場合を除く。

15 調査基準価格を下回った場合の措置

調査基準価格を下回る価格による入札が行われた場合は、入札を「保留」とし、契約の内容が履行されないおそれがあると認めるか否かについて、入札者からの事情聴取、関係機関の意見照会等の調査（以下「低入札価格調査」という。）を行い、落札者を決定する。この調査期間に伴う当該業務の履行期間の延長は行わない。

16 低入札価格調査に該当した場合の受注者の義務

調査基準価格を下回る価格により契約を締結した業務の履行にあたり、受注者は、次の(1)から(5)について実施しなければならないものとする。

- (1) 業務成果の内容等について、受注者の照査を実施後に第三者による照査を受注者の負担において実施すること。また、受注者は、照査結果の報告時に第三者の照査者の同席を求めものとする。
- (2) 現地調査等の屋外で行う業務の実施に際しては、配置された予定管理技術者が現場に常駐すること。
- (3) 配置予定管理技術者とは別に、次に掲げるすべての要件を満たす技術者を1名配置することとし、その旨が確認できる書面として、任意様式に「増員配置予定技術者の経験及び能力」、「増員配置予定技術者の過去4年間の同種業務の実績一覧」（様式自由）及び「配置予定管理技術者が保有するすべての資格一覧とその資格証等の写し」を提出すること。
 - ① 管理技術者として従事した同種業務の件数について、配置予定管理技術者の有する従事件数以上の従事件数を有している者。
 - ② 配置予定管理技術者が保有しているすべての資格を有している者。すべての要件を満たす増員配置予定技術者を配置することができない場合には、入札に関する条件に違反した入札として、当該入札を無効とする。

なお、増員配置予定技術者は、測量調査設計業務実績情報システム（TECRIS）に登録すること。
- (4) 業務実施上、必要となる全ての打合せに管理技術者と上記(3)により増員配置する技術者を出席させること。
- (5) 当該業務の実績における不備により、北海道森林管理局に損害を与えた場合には、受注者の責任において損害補填する旨を明記した受注者の代表者の直筆署名による品質証明書を提出することとする。

また、損害補填の期間は、本業務に係る工事が完成するまでとする。

17 落札者とならなかった者に対する理由の説明

- (1) 落札者とならなかった者のうち、落札者の決定結果に対して不服のある者は、支出負担行為担当官に対して落札者とならなかった理由について、次に従い、書面（様式は自由）により説明を求めることができる。

- ① 提出期限 : 令和6年5月24日17時まで
- ② 提出先 : 北海道森林管理局 経理課 専門官 電話 011-622-5214
メールアドレス : h_keiri@maff.go.jp
- ③ 提出方法 : 原則として電子メールによる。(提出期限必着)

(2) 支出負担行為担当官は、説明を求められたときは、令和6年6月4日までに説明を求めた者に対し、書面により回答する。

(3) (1)の理由の説明を求める書面及び(2)の回答を行った書面は、次のとおり閲覧に供する方法により公表する。

- ① 閲覧期間 : 令和6年6月5日から令和8年3月31日まで
- ② 方法 : インターネットを利用して閲覧に供する方法により公表するものとする。

(<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/index.html>)

(4) (2)の回答書による説明に不服がある者は、支出負担行為担当官に対して、次に従い、書面(様式は自由)により再苦情を申し立てることができる。

- ① 提出期限 : (2)の回答書を受け取った日から7日(休日を除く。)以内
- ② 提出場所 : (1)②に同じ。
- ③ 提出方法 : 原則として電子メールによる。(提出期限必着)。

(5) 再苦情の申立については、北海道森林管理局入札監視委員会で審議する。

(6) 支出負担行為担当官は、再苦情の申立があった者に対し、(5)の入札監視委員会の審議結果を踏まえたうえで、審議結果の報告を受けた日の翌日から起算して7日(休日を除く。)以内に、次の内容を書面により回答する。

- ① 申立が認められないときは、苦情の申立に根拠が認められないと判断された理由
- ② 申立が認められると判断されたときは、支出負担行為担当官が講じようとする措置の概要

18 配置予定技術者の変更

落札者決定後、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合の他は、技術者の変更は認められない。

19 契約書作成の可否等

別添契約書案により作成するものとする。なお、国有林野事業業務請負契約約款及び北海道森林管理局競争契約入札心得については、本業務の公告日現在、北海道森林管理局ホームページ上 (<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>) に掲載しているものとする。

20 支払条件

- ① 前金払 (有・無)
- ② 中間前金払及び部分払 中間前金払 (有・無)
部分払い (有・無)

21 関連情報を入手するための照会窓口

〒064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目70番
北海道森林管理局 経理課 専門官 電話 011-622-5214

22 その他

- (1) 契約の手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 申請書等に虚偽の記載をした場合においては、指名停止措置要領に基づく指名停止を行うことがある。
- (3) 落札者は、5(1)の資料に記載した配置予定の技術者を当該業務に配置すること。
- (4) 電子入札システムは土曜日、日曜日、祝日除く、9時から17時まで稼働している。
- (5) システム操作上の手引き書としては、北海道森林管理局ホームページに掲載している「電子入札運用基準」及び農林水産省電子入札センターホームページに掲載しているマニュアルを参考とすること。
- (6) 障害発生時及び電子入札システム操作等の問い合わせ先は下記のとおりとする。
 - ・システム操作・接続確認等の問い合わせ先
農林水産省電子入札ヘルプデスク
受付時間：9時から16時まで
電話：048-254-6031
e-mail: help@maff-ebic.go.jp
- (7) 入札参加希望者が電子入札システムで書類を送信した場合には、通知、通知書及び受付票を送信者に発行するので、必ず確認を行うこと。
- (8) 第1回目の入札において落札者が決定しなかった場合、再度入札に移行する。再度入札の日時等については、発注者から指示する。この場合、発注者から再入札通知書を送信するので、パソコンの前で暫く待機すること。なお、開札処理に時間を要する場合は、発注者から開札状況を電話等により連絡する。
- (9) 本入札の開札までに、本件の工事監理業務の対象工事である「根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事」の契約ができなくなったことが明らかになった場合は、本入札を取り止めることとする。
- (10) 入札者は「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン（令和4年9月13日ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策 推進・連絡会議決定）を踏まえて人権尊重に取り組むよう努めること。

(別紙様式1)

競 争 参 加 資 格 確 認 申 請 書

令和 年 月 日

支出負担行為担当官
北海道森林管理局長 吉村 洋 殿

住 所
商号又は名称
代表者氏名

令和 年 月 日付けで入札公告のありました「根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事監理業務」に係る競争に参加する資格について、確認されたく、下記の書類を添えて申請します。

なお、入札公告及び入札説明書に規定する競争参加資格を有していること並びに添付書類の内容については事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 入札公告に定める業務実績を記載した書面（別紙様式2）
- 2 入札公告に定める配置予定の技術者の資格等を記載した書面（別紙様式3）
- 3 入札公告に定める2の内容を証明するための書面

(備考) 1 用紙の大きさは日本工業規格A列4とする。
2 電子入札システム以外の提出については、返信用封筒として、表に申請者の住所・氏名を記載し、簡易書留料金分を加えた郵送料金の切手を貼った長3号封筒を申請書と併せて提出して下さい。

(別紙様式2)

同種の業務の実績(例)

商号又は名称： ○○設計事務所

所在地： 北海道○○市○○条○○丁目

項目		番号	1		
業務名称等	業務名		○○○庁舎新築工事監理業務		
	発注機関名				
	履行場所		北海道○○市○○町字○○		
	契約金額				
	履行期限		平成 年 月～平成 年 月		
業務の概要等	業務の内容				
	業務の履行条件その他				

- (備考) 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とする。
2 公告において明示した参加資格が的確に判断できる具体的項目（(例)を参考として、当該業務に則した項目）を設定すること。
3 業務実績が複数以上を必要とする場合は、右欄を追加して記載すること。
4 公告において明示した資格が確認できる契約書等の写しを添付すること。

(別紙様式3)

配置予定の技術者の状況(例)

項目		名称	工事監理業務		
		会社名			
		技術者名			
		最終学歴			
		法令による資格	1級建築士等 (取得年月日、登録番号)		
業務 経 験 の 概 要	業務名	〇〇新築工事監理業務			
	発注機関名				
	業務場所				
	契約金額				
	履行期限				
	従事役職	工事監理者			
	業務内容	〇〇新築工事(延べ床面積〇〇㎡)の工 事監理			

- (備考) 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とする。
 2 公告において明示した参加資格が判断できる必要最小限の具体的項目((例)を参考として、当該業務に則した項目)を設定すること。
 3 公告において明示した資格が確認できる資格・受講証明、契約書及び設計図書等(建物の構造・面積の確認できるもの及び平面図・立面図・矩計図の写)の写しを添付すること。

業務請負契約書（案）

- 1 業務名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事監理業務
- 2 履行期間 令和 年 月 日から（契約日の翌日）
令和6年 10 月 31 日まで（ただし、根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事の完成検査終了の日までとする。）
- 3 請負代金額 金 円
（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 金 円）
- 4 契約保証金額 （請負代金額の 10 分の 1 以上）円
- 5 前金払 なし
- 6 調停人 選任しない。
- 7 選択条項 別冊約款中选择される条項は次のとおりであるが、そのうち適用されるものは（○印）、削除されるものは（×印）である。

適用 区分 削除	選 択 事 項	選 択 条 項
	契約保証金の納付	第4条第1項第1号
	契約保証金の納付に代わる担保となる 有価証券等の提供	第4条第1項第2号
	銀行、発注者が確実と認める金融機関又 は保証事業会社の保証	第4条第1項第3号
	公共工事履行保証証券による保証	第4条第1項第4号
	履行保証保険契約の締結	第4条第1項第5号
×	前金払	第35条～第37条
×	部分引渡し	第38条

- 8 特約条項
特になし

上記の業務について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び北海道森林管理局ホームページ上に掲載している国有林野事業業務請負契約約款（本業務の公告日現在）によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、受注者が共同体を結成している場合には、受注者は、別紙「共同体協定書」により契約書記載の業務を共同連帯して実施する。

本契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自1通を保有する。

令和6年 月 日

発注者 (住所) 北海道札幌市中央区宮の森3条7丁目70番
支出負担行為担当官
(氏名) 北海道森林管理局長 吉村 洋 ⑩

受注者 (住所)

(氏名)

⑩

[注] 受注者が共同体を結成している場合においては、受注者の住所及び氏名の欄には、共同体の名称並びに共同体の代表者及びその他の構成員の住所及び氏名を記入する。

根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事監理業務 内訳書

区 分	項 目	数量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
監理業務委託等	直接人件費	1	式			
	諸経費	1	式			
	技術料等経費	1	式			
	特別経費	1	式			
		計				
消費税相当額						
合 計						

工事監理業務仕様書

I 業務名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事監理業務

II 履行場所 阿寒郡鶴居村西4丁目76-1

III 総則

- 1 発注者及び受注者は、本業務請負契約の履行に当たり、国有林野事業業務請負約款によるほか、本工事監理仕様書に従いこれを履行しなければならない。
- 2 発注者は、目的とする建築工事（以下「対象工事」という。）の発注契約後に受注者の工事監理業務の履行について、指定職員を定め受注者に通知する。
なお、「指定職員」とは国有林野事業業務請負約款第9条の3に定める2名以上の監督職員の1に該当し、本契約のうち工事監理業務に対する監督を行う者とする。
- 3 指定職員は、次の各号に掲げる職務を行う。
 - (1) 対象工事の監督職員となる次号において定められる監理技術者に対する指示、承諾又は協議。
 - (2) 受注者の業務の履行のために必要な図書の作成若しくは交付又は受注者が作成したこれらの図書に対する承諾。
 - (3) 仕様書等に基づく業務の履行状況の確認。
- 4 受注者は、この仕様書に基づき監理業務を担当する職員（以下「監理担当職員」という。）を定め書面により氏名、経歴等を発注者に提出し、承諾を得なければならない。監理担当職員を変更する場合も同様とする。
- 5 監理担当職員の資格その他
 - (1) 監理担当職員は2級建築士又はこれと同等以上の資格を有し、かつ、工事の施工について高度の技術、経験能力を有する者とする。
 - (2) 監理担当職員は対象工事について、その設計意図を十分に理解し設計内容を掌握している者。
- 6 監理担当職員は指定職員の指示に従い、業務の経緯を明らかにし、かつ、業務の履行状況が確認できるように、必要な図書及び記録を整理し、請求があれば直ちに提出する。
- 7 監理担当職員は業務を処理した場合、その都度、その概要を指定職員に報告する。
- 8 発注者又は指定職員は、監理担当職員がその職務の執行につき著しく不相当と認められる時は、受注者に対して、その理由を明示した書面により必要な措置を取るべきことを求めることができる。
- 9 発注者は、対象工事請負契約の変更を行った場合、若しくは請負者に対してこの業務に関連する内容の指示を与えたときは、遅滞なく受注者にその内容を通知する。

- 10 この業務に関し、受注者から発注者に提出する書類は、発注者の指定するものを除き、指定職員を経由しなければならない。
- 11 この業務の実施に当たっては、工事監理仕様書のほか国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事監理業務委託共通仕様書」により実施する。

IV 業務内容

監理担当職員は、対象工事の工事請負契約書及び仕様書、設計図、その他の設計図書（以下「設計図書」という。）に示された設計意図を実現させ、かつ、設計図書に基づいた施工をするために指定職員に協力し、以下に掲げる業務を行う。

- 1 工程管理、品質管理及び出来形管理の事前検討
- 2 対象工事の請負者に対して行う必要な指示、承諾又は協議について事前の検討
- 3 工事に関する関係諸機関との連絡調整及び協議
- 4 関連する2以上の工事における工程等の検討
- 5 設計意図を請負者に正確に伝えるために必要な打ち合わせ及び図面等の作成
- 6 設計図書に基づいて請負者が作成する各種施工図、材料、仕上見本及び機械器具等に設計意図が正確に反映されているか否かの検討
- 7 工事の内容に変更等の必要があると認められる場合、その理由及び事項等の指定職員への報告
- 8 設計変更の必要が生じた場合は、指定職員及び設計業務担当者と協議し、設計変更図書の作成及び工事費の積算
- 9 契約図書に基づき請負者から指定職員に提出される書類等の整理、確認
- 10 関係官庁への手続きへの協力
- 11 対象工事の検査及び引き渡しに対する協力
- 12 各種統計資料の作成等、対象工事に関する照会に対する協力
- 13 監理対象工事の設計図の総括リストの作成及び、それに基づく設計原図の整理
なお、工事の概要等については、令和6年4月3日付けにて北海道森林管理局のホームページに掲載した「根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事」の入札公告において、設計図書等を掲載している。

V 貸与品

この業務を行うに必要な業務資料は、貸与又は閲覧することができる。貸与されたものは業務完了後、速やかに返却する。

監理業務の対象工事の概要

- I 対象工事名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
- II 敷地の概要
- 1 所在地 阿寒郡鶴居村西4丁目76-1
 - 2 敷地面積 636m²
 - 3 用途地域 指定なし
 - 4 防火地域 指定なし 法第22条区域：指定なし
- III 建築物の概要（工事内容）
- 1 事務所庁舎・車庫・倉庫の新築工事（木造〔CLT含む〕平屋建：床積48m²）
 - 2 現庁舎等解体（事務所・宿舍〔木造平屋建：面積65m²〕、車庫〔鉄骨平屋：面積13m²〕）

令和 6 年度

設 計 書

工 事 名 称 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事

課長	係長	担当者

北 海 道 森 林 管 理 局

令和 6年 4月 1日

工事内容説明書

1. 工事名称 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
2. 施工場所 北海道阿寒郡鶴居村鶴居西4丁目76-1の内
3. 工事請負費 金 円也
- 内 訳
- 工事価格 金 円也
- 消費税等相当額 金 円也
4. しゅん功期限 契約書に示す着手の日から 令和6年10月31日 まで
5. 工事規模
- ・事務所新築 木造平屋 47.93m²
 - ・事務所解体 木造平屋 65.00m²
 - ・車庫解体 S造平屋 13.00m²

直接工事費種目別内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
I 事務所新築工事 建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
小 計				
II 外構工事	1	式		
III 解体工事	1	式		
計				

直接工事費 科目別内訳

事務所 (建築工事)				
名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
仮設工事	1	式		
土工事	1	式		
地業工事	1	式		
鉄筋工事	1	式		
型枠工事	1	式		
コンクリート工事	1	式		
防水工事	1	式		
木工事	1	式		
屋根工事	1	式		
外壁工事	1	式		
金属工事	1	式		
左官工事	1	式		
建具工事	1	式		
塗装工事	1	式		
内装工事	1	式		
仕上エント工事	1	式		
計				

直接工事費 中科目別内訳

事務所					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事		1	式		
計					
土工事		1	式		
計					
地業工事		1	式		
計					
鉄筋工事		1	式		
計					
型枠工事		1	式		
計					
コンクリート工事		1	式		
計					
防水工事		1	式		
計					
木工事		1	式		
計					
屋根工事		1	式		
計					
外壁工事		1	式		
計					
金属工事		1	式		

直接工事費 細目別内訳

事務所		仮設工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣方	小規模	59.50	m ²			
墨出し	小規模 S造 地上階	47.90	m ²			
養生	小規模 S造 地上階	47.90	m ²			
整理清掃跡片付け	小規模 S造 地上階	47.90	m ²			
枠組本足場	手すり先行方式 高さ12m未満 建枠 900*1700 2ヶ月	174.00	m ²			
安全手摺	手すり先行方式 枠組本足場 2ヶ月	39.50	m			
内部足場	階高4.0m以下 脚立足場 1ヶ月	47.90	m ²			
仮設資材運搬	枠組本足場 手すり先行方式 建枠幅900 (二枚布)	174.00	m ²			
仮設資材運搬	安全手摺 手すり先行方式 枠組本足場用	39.50	m			
仮設資材運搬	内部仕上足場 脚立足場 平屋建	47.90	m ²			
計						

直接工事費細目別内訳

事務所		土工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
すきとり	積み込み共 H=300程度	4.20	m3			
根切り	小規模土工 つぼ堀・布堀	41.50	m3			
床付け	つぼ堀・布堀	34.60	m2			
埋戻し (B種)	小規模土工 発生土	19.30	m3			
盛土 (B種)	発生土	1.90	m3			
発生土積み込み		26.40	m3			
発生土運搬	BH0.45m3 10tDT DID区間なし 10km以下	26.40	m3			
捨土整理	機械 3tプロセッサ	26.40	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し 小規模土工	1.00	往復			
計						

直接工事費細目別内訳

事務所		地業工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
砂利地業	基礎下 再生グラッシャー	5.20	m3			
	土間下 再生グラッシャー	7.00	m3			
砂地業	人力 土間下 t=30	1.80	m3			
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム t=0.15	58.50	m2			
土間下断熱材敷き	ポリスチレンフォーム t=50 2種b	58.50	m2			
基礎断熱材打込	ポリスチレンフォーム t=50 JIS A9521 1号	50.30	m2			
軒下砂利敷	B種 t=60	42.00	m2			
計						

直接工事費 細目別内訳

事務所		鉄筋工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形鉄筋	SD 295 D10 鉋路 小口	1.50	t			
異形鉄筋	SD 295 D13 鉋路 小口	0.30	t			
鉄筋加工組立	小型構造物	1.70	t			
鉄筋運搬費	4ton車 30km程度	1.70	t			
計						

直接工事費 細目別内訳

事務所		コンクリート工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
普通コンクリート	FC=18N 呼び強度18 S=15 鶴居地区	1.70	m3			
普通コンクリート	FC=24N 呼び強度24 S=18 鶴居地区	27.60	m3			
冬期保温料	釧路	27.60	m3			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 S15～S18	1.70	m3			
	基礎部 ポンプ打設 S15～S18 50m ³ /回未満	18.10	m3			
	土間部 ポンプ打設 S15～S18 50m ³ /回程度	9.50	m3			
ポンプ圧送費 基本料金	50m ³ /回以下	3.00	回			
塩分測定費		3.00	回			
計						

直接工事費 細目別内訳

事務所		防水工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング	MS-2 変成シリコン(2成分型) 10x10	49.50	m			
シーリング	MS-2 変成シリコン(2成分型) 20x10	2.40	m			
	計					

直接工事費 細目別内訳

事務所		木工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
構造材 JAS製材	甲種2級 ひき角類 (正角) F地区	2.30	m3			
	乙種2級 ひき角類 (正角) F地区	2.50	m3			
	甲種2級 ひき角類 (平角) F地区	0.00	m3			
	甲種2級 ひき割り類 (正割) F地区	1.90	m3			
	甲種2級 ひき割り類 (平割) F地区	1.20	m3			
	甲種2級 ひき割り類 (板類) F地区	1.40	m3			
造作材 JAS製材	上小節 板類 (板) F地区	0.20	m3			
構造用集成材	105x300x3600 E105-F300 異等級対称構成	3.00	本			
	105x240x3150 E105-F300 異等級対称構成	5.00	本			
	105x210x2700 E105-F300 異等級対称構成	2.00	本			
木工事手間		1.00	式			
壁 CLT	カラマツ Mx60-5-5 150 x 1200 x 6200 1枚	1.1160	m3			
屋根 CLT	カラマツ Mx60-3-3 90 x 1200 x 6200 3枚	2.0088	m3			
CLT加工費	カラマツCLT 仕口・継手工場加工	3.1248	m3			
針葉樹合板	スプライン用 15 x 910 x 1820	2.00	枚			
タッピングねじ	STS6.5・F85	200.00	本			
タッピングねじ	STS6.5・F180	200.00	本			
CLT柱脚金物		2.00	組			
運賃	現場車上渡し	1.00	台			
CLT建方工事費	仮設足場 別途 クレーン 別途 吊り金物 含む	1.00	式			
法定福利費		1.00	式			
諸経費		1.00	式			
建方機械	ラフテッククレーン 4.9t吊り オペレーター付	2.00	日			

直接工事費細目別内訳

事務所		屋根工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルトルーフィング	940	108.00	m2			
屋根 長尺金属板葺き	カラーガルバリウム鋼板 t=0.40 蟻掛・立平葺き	108.00	m2			
淀・破風 長尺金属板葺き役物	カラーガルバリウム鋼板 t=0.40 糸尺300まで	43.80	m			
水切 長尺金属板葺き役物	カラーガルバリウム鋼板 t=0.40 糸尺150まで	35.30	m			
野地板	構造用合板 t=12 特類 F☆☆☆☆ 2級 1800x900	108.00	m2			
計						

直接工事費 細目別内訳

事務所		外壁工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外壁	不燃外装材 t=14~18 金具留め工法 塗装品	112.00	m2			
外壁	コーナー役物 アルミ製	23.40	m			
壁	透湿防風シート	112.00	m2			
壁	構造用合板 t=9 特類 F☆☆☆☆ 2級 2700x900	112.00	m2			
軒天	防火サイディング t=12 着色板(無孔板) 目透張	13.40	m2			
軒天	防火サイディング t=12 着色板(有孔板) 目透張	3.50	m2			
計						

直接工事費細目別内訳

事務所		金属工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
くつすり	ステンレス製 t=2 W=40	0.70	m			
ラインク	SUS304 t=1.2 W=100	1.20	m			
コーナーアングル	L-30×30×3 スチール製	10.80	m			
鋼製ラインク溝蓋	歩行用 枠付 W250	0.50	m			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 450角 内外枠共額縁	1.00	箇所			
計						

直接工事費細目別内訳

事務所		左官工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床コンクリート直均仕上	金ごて直均仕上	36.90	m2			
	金ごて厚張物仕上	21.60	m2			
基礎モルタル塗り	はけ引き外壁 t=25	36.40	m2			
基礎天端コンクリート直均仕上	金ごて幅150	52.10	m			
建具周囲モルタル充填	内部建具	3.40	m			
計						

直接工事費細目別内訳

事務所		建具工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(金属製建具)						
AD-1	W=785 H=2330 アルミ片開き玄関ドア ランマ付	1.00	箇所			
AD-2	W=1670 H=2000 アルミ引違い框戸 腰パネル	1.00	箇所			
SS-1	W=2975 H=2250 スチール 軽量パランスシャッター	1.00	箇所			
(樹脂製建具)						
PD-1	W=740 H=2000 樹脂製片開きドア	1.00	箇所			
PW-1	W=1650 H=1100 樹脂製引違い窓	1.00	箇所			
PW-2	W=1650 H=500 樹脂製引違い窓	1.00	箇所			
PW-3	W=740 H=500 樹脂製横入り出し窓	4.00	箇所			
PW-4	W=740 H=900 樹脂製横入り出し窓	1.00	箇所			
(木製建具)						
WD-1	W=700 H=2000 木製片開きドア	1.00	箇所			
WD-2	W=600 H=2000 木製片開きドア	1.00	箇所			
WD-3	W=600 H=2000 木製片開きドア	3.00	箇所			
木製建具ガラス	型板ガラス t=4 ガラス清掃共	0.80	m2			
計						

直接工事費 細目別内訳

事務所		塗装工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
木材保護塗装	木部 化粧柱 工程A種 素地A種	5.10	m ²			
	木部 天井 CLT 工程A種 素地A種	11.80	m ²			
	木部巾木 巾300以下 工程B種 素地B種	23.30	m			
	窓枠 巾300以下 工程B種 素地B種	23.00	m			
	WD枠 巾300以下 工程B種 素地B種	23.10	m			
	天井 CLT現し 工程B種 素地B種	16.50	m ²			
	計					

直接工事費 細目別内訳

事務所		内装工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床 複合フローリング	t=12 かば C種 下張り無	15.10	m2			
床 ビニル床シート	t=2.0 無地 一般床 熱溶接工法	6.50	m2			
壁 ビニルクロス	ボード面 素地B種 一般部 普及品 準不燃 F☆☆☆☆	81.40	m2			
壁 石膏ボード GB-R	t=12.5 不燃 木下地 継目処理共	81.40	m2			
壁 石膏ボード GB-R	t=12.5 不燃 木下地 突付け	59.20	m2			
壁 グラスウール	t=100 24kg/m ³ 裸ロール	52.20	m2			
天井 石膏ボード GB-R	t=9.5 準不燃 突付け	18.00	m2			
天井 化粧石膏ボード GB-D	t=9.5 準不燃 突付け トランプチン	6.50	m2			
天井 防湿フィルム	ポリエチレンフィルム t=0.15	6.50	m2			
天井 グラスファイバー	フローリング工法 18kg t=300	30.00	m2			
天井 廻縁	塩ビ製	73.20	m			
倉庫棚板	構造用合板 t=12 特類 F☆☆☆☆ 2級 1800x900	7.60	m2			
計						

直接工事費 細目別内訳

事務所		仕上ユニット工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
換気フード	樹脂製 自然換気用 角型 150×200 KS700P同等	12.00	箇所			
レジスター	樹脂製 角型 150×200 KS6010P同等	4.00	箇所			
流し台	BL型 W=1200	1.00	箇所			
吊り戸棚	BL型 W=1200 H=700	1.00	箇所			
フライト*	アルミ製 スラットW=25 横型操作棒式	3.30	m2			
下足箱	W760×D385×H820	1.00	箇所			
タオル掛け	ステンレス 16□ L=400	2.00	箇所			
計						

直接工事費細目別内訳

名称	摘要	電気設備工事		電灯幹線		備考
		数量	単位	単価	金額	
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	8.00	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	露出配管 16mm	2.00	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 28mm	12.00	m			
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	5.5mm ²	8.00	m			
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) (PF管内)	5.5mm ²	10.00	m			
EM-CETケーブル	14mm ² 木造ケーブル・木造ステップケーブル	15.00	m			
EM-CETケーブル	14mm ² FEP内 (PF・CD)	12.00	m			
引込開閉器箱	屋外型 MCB3P50AF	1.00	面			
電灯分電盤	屋内型 樹脂製 ELB3P50A 18回路 太陽光発電対応	1.00	面			
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	14φ×1.5m	1.00	か所			
接地極埋設標	黄銅製 管理者名刻印 (腐食加工)	1.00	枚			
防雨入線カバー		1.00	個			
腕金	75×75×3.2×1800	1.00	本			
計						

直接工事費細目別内訳

名称	摘要	電気設備工事			電灯分岐	
		数量	単位	単価	金額	備考
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	15.00	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	29.00	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	1. 6mm-2C 木造サドル・木造ステップル	14.00	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	1. 6mm-2C FEP内 (PF・CD)	15.00	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	1. 6mm-3C 木造サドル・木造ステップル	43.00	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	1. 6mm-3C FEP内 (PF・CD)	25.00	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	2. 0mm-3C 木造サドル・木造ステップル	15.00	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	2. 0mm-3C FEP内 (PF・CD)	4.00	m			
VVケーブル用 ジョイントボックス	大 透明カバー付	10.00	個			
合成樹脂製 スイッチボックス (カバー付)	埋込 1個用	8.00	個			
ワンタッチ (金属プレート付)	1P15A×1 ネーム無	2.00	個			
ワンタッチ (金属プレート付)	1P15A×3 ネーム付	1.00	個			
ワンタッチ (金属プレート付)	3W15A×1 ネーム無	1.00	個			
ワンタッチ (金属プレート付)	3W15A×2 ネーム無	1.00	個			
ワンタッチ (金属プレート付)	1P15A×1 PL×1 ネーム無	2.00	個			
人感センサー	親機 8A	2.00	個			
LED照明器具	A LSS9-4-23-LN	1.00	台			
LED照明器具	B LSS9-2-15-LN	3.00	台			
LED照明器具	C LSS1-4-30-LN	2.00	台			
LED照明器具	D LSS9-4-48-LN	4.00	台			
照明器具 SP-1	棚下灯 昼白色 FL15W×1灯相当	1.00	台			
照明器具 SP-2	ダウンライト 昼白色 SB型 1L60W×1灯相当	3.00	台			
照明器具 SP-3	ダウンライト 防雨型 昼白色 SB型 1L60W×1灯相当	3.00	台			

直接工事費細目別内訳

名称	摘要	電気設備工事		コンセント分岐		備考
		数量	単位	単価	金額	
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	42.00	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	41.00	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	2.0mm-2C 木造ナール・木造ステップル	28.00	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	2.0mm-2C FEP内 (PF・CD)	42.00	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	2.0mm-3C 木造ナール・木造ステップル	44.00	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平形 EM-EEF	2.0mm-3C FEP内 (PF・CD)	41.00	m			
VVケーブル用ジョイントボックス	大 透明カバー付	8.00	個			
合成樹脂製アウトレットボックス (カバー付)	中四角 浅型 D44	24.00	個			
合成樹脂製アウトレットボックス (カバー付)	中四角 深型 D54	1.00	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形 2P15Ax1 125V	1.00	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形 2P15Ax2 125V	9.00	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形 2P15Ax1 125V 接地極 接地端子付 一体形	1.00	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形 2P15Ax2 125V 接地極×2 接地端子×1 一体形	4.00	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形 2P15Ax1 125V 接地極付	1.00	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形 2P15Ax2 125V 接地極×2付 一体形	4.00	個			
防水コンセント	2P15A×2 125V 抜止 (JIS防水)	1.00	個			
アップコンセント	アルミダイキャスト製 2P15A×1 1コアース付 丸型 ボックス用	1.00	個			
計						

直接工事費 細目別内訳

名 称	摘 要	電気設備工事		構内交換設備		備 考
		数 量	単 位	単 価	金 額	
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	11.00	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 28mm	7.00	m			
導入線 (PF管内)	導入線 (PF管内)	18.00	m			
合成樹脂製アウトレットボックス (カバー付)	中四角 浅型 D44	1.00	個			
合成樹脂製アウトレットボックス (カバー付)	中四角 深型 D54	1.00	個			
フラッシュプレート (金属製)	角型 ハトメ	1.00	個			
ポテンションアウトレット	電話用	1.00	個			
防雨入線カバー		1.00	個			
機器収納箱	TV-T (露出形) 相当 4 (500×500×120)	1.00	個			
計						

直接工事費 細目別内訳

		電気設備工事		情報通信網設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
合成樹脂製可とう電線管(PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	11.00	m			
導入線(PF管内)	導入線(PF管内)	11.00	m			
合成樹脂製 アウトレットボックス (カバー付)	中四角 浅型 D44	1.00	個			
合成樹脂製 アウトレットボックス (カバー付)	中四角 深型 D54	1.00	個			
フレッシュプレート (金属製)	角型 ハトメ	1.00	個			
ローテンションアウトレット	電話用相当	1.00	個			
計						

直接工事費 細目別内訳

名 称	摘 要	電気設備工事		呼出設備		
		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	6.00	m			
合成樹脂製アウトレットボックス (カバー付)	中四角 浅型 D44	2.00	個			
EM-AEケーブル	0.9mm-2C 木造 ^ル ・木造 ^ル	3.00	m			
EM-AEケーブル	0.9mm-2C FEP内 (PF・CD)	6.00	m			
インターホン	親機 壁掛形 カメラモニター付	1.00	台			
ドアホン	玄関用 カメラ付	1.00	台			
計						

直接工事費細目別内訳

		電気設備工事		太陽光発電設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	41.00	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	露出配管 16mm	2.00	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 28mm	8.50	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	露出配管 28mm	7.00	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	露出配管 42mm	25.00	m			
ブルボックスSS形防水 (SUS)	200×200×100	1.00	個			
600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	2.0mm	10.00	m			
600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	5.5mm2	6.00	m			
600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) (PF管内)	5.5mm2	28.00	m			
EM-CEケーブル	5.5mm2-2C 木造サドル・木造ステップ	50.00	m			
EM-CEケーブル	8.0mm2-2C 木造サドル・木造ステップ	10.00	m			
EM-CEケーブル	8.0mm2-3C 木造サドル・木造ステップ	5.50	m			
EM-CEケーブル	8.0mm2-3C FEP内 (PF・CD)	8.50	m			
EM-CETケーブル	14mm2 木造サドル・木造ステップ	1.00	m			
EM-CETケーブル	14mm2 FEP内 (PF・CD)	6.00	m			
EM-CEE-Sケーブル	2.0mm2-2C 木造サドル・木造ステップ	8.00	m			
EM-CEE-Sケーブル	2.0mm2-2C FEP内 (PF・CD)	8.00	m			
EM-FCPEEケーブル	1.2mm-1P 木造サドル・木造ステップ	48.50	m			
EM-FCPEEケーブル	1.2mm-1P 木造サドル・木造ステップ	33.00	m			
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	14φ×1.5m	1.00	か所			
接地極埋設標	黄銅製 管理者名刻印 (腐食加工)	1.00	枚			
モジュール	VBM375EA01N 単結晶太陽電池モジュール (375W) 産業用	15.00	枚			
接続ケーブル	VB9CN50EM4H 接続ケーブル 50m (3.5sq 600V 375用)	5.00	組			

直接工事費細目別内訳

名称	摘要	電気設備工事		太陽光発電設備		備考
		数量	単位	単価	金額	
架台	ZAM鋼板 傾斜屋根置き架台5段3列	1	架			
接続箱	VBCD3005K 新接続箱 5回路マルチ 屋側用	1	台			
蓄電システム	XLJSK11BBK パワーステーションシングルタイプ 単相5.5kW 蓄電容量11.2kWh	1.0	式			
蓄電システム	LJ-MFP01 産業用パワーステーション用固定金具	1.0	台			
蓄電システム	LJ-MFPA01 産業用パワーステーション用耐震補強金具 50～120mm	1.0	台			
蓄電システム	LJ-MFB01 産業用バッテリーボックス用耐震補強金具 0～50mm	1.0	台			
計測機器	気象信号変換器箱 SUS製屋外用 RS485対応	1.0	台			
気温計	気温計 50mケーブル付	1.0	台			
日射計	日射計 50mケーブル付	1.0	台			
小型計測装置	DataCube4-2 データキューブ4 2入力・遠隔制御非対応	1.0	台			
継電器	逆電力継電器 電源・バックアップユニット付	2.0	式			
機器運搬・搬入費		1.0	式			
太陽光発電設備工事	パネル・架台取付	1.0	式			
新設機器取付・結線工事		1.0	式			
新設配線 配管及び敷設工事		1.0	式			
試験調整費		1.0	式			
安全対策費	仮設足場・養生等 作業日数10日間で想定	1.0	式			
北電申請書類費		1.0	式			
現場管理費		1.0	式			
安全衛生費		1.0	式			
諸経費		1.0	式			
労務法定福利費		1.0	式			
計						

直 接 工 事 費 細 目 別 内 訳

事務所		機械設備工事			冷暖房設備	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
寒冷地エアコン	寒冷地仕様 冷房2.8kw 暖房：4.0kw	1.00	台			
防雪フード	吹出側、吸込側左、吸込側後	1.00	組			
平地床置架台	800H コンクリート製架台600型共	1.00	組			
ドレンアップキット	壁掛エアコン用1.0m（低揚程用）	1.00	組			
スリムダクト	SD-77. SW-77. SK-77. SE-77. SP-77	1.00	組			
電気パネルヒーター	壁掛型 0.5kw	2.00	台			
冷媒用断熱材被覆銅管	液管6.35φ	5.00	m			
冷媒用断熱材被覆銅管	ガス管9.52φ	5.00	m			
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 20A	6.00	m			
計						

直接工事費細目別内訳

事務所		機械設備工事			換気設備	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天井換気扇	樹脂製 100φ × 80m ³ /h	2.00	台			
天井換気扇	金属製 150φ × 150m ³ /h	1.00	台			
空調換気扇	壁付 寒冷地仕様 70m ³ /h 専用フード共	1.00	台			
深型セルフフード	SUS製 100φ	2.00	個			
深型セルフフード	SUS製 150φ	1.00	個			
スパイラルダクト	100φ	1.60	m			
スパイラルダクト	150φ	0.80	m			
防露工事	GW25t+アルミガラスクロス 100φ	1.60	m			
防露工事	RW25t+アルミガラスクロス 150φ	0.80	m			
計						

直接工事費細目別内訳

事務所		機械設備工事			給水設備	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
隔測式量水器	13φ(検針盤共)	1.00	組			
止水弁	20A	1.00	個			
量水器用筐	MC-1(750H)	1.00	組			
水抜栓	20×1800H	1.00	本			
仕切弁	管端コア 15A 10K	2.00	個			
散水栓	F12-13	1.00	個			
不凍水栓柱	13×1800H	1.00	本			
ポリエチレン2層管	埋設 20φ	24.10	m			
埋設標示テープ	ダブル	24.10	m			
水道用塩ビライニング鋼管(VB)	屋内一般 20A	10.20	m			
防露工事	パイプガード(直管) 20φ	10.20	m			
防露工事	パイプガード(エルボ・チース) 20φ	12.00	個			
自動吸気弁	20A	1.00	個			
土工事	根切 BH0.28m³	15.70	m³			
土工事	埋戻 BH0.28m³	12.10	m³			
土工事	山砂	3.60	m³			
土工事	残土処分(場内敷均し)	3.60	m³			
配管洗浄費	20A	10.20	m			
水道申請料		1.00	式			
計						

直接工事費細目別内訳

事務所		機械設備工事			排水設備	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
排水金物	SNA-50	1.00	個			
プラスチック柵	150φ×100φ 塩ビ蓋 90L 501～800H	2.00	組			
プラスチック柵	150φ×100φ 塩ビ蓋 90L 801～1200H	2.00	組			
プラスチック柵	150φ×100φ 塩ビ蓋 90Y 501～800H	1.00	組			
プラスチック柵	150φ×100φ 塩ビ蓋 90Y 801～1200H	2.00	組			
プラスチック柵	150φ×100φ 塩ビ蓋 ST 801～1200H	1.00	組			
プラスチック柵	150φ×100φ 塩ビ蓋 ST 1201～1500H	2.00	組			
硬質塩化ビニール管 (VP)	地中埋設 50φ	8.60	m			
硬質塩化ビニール管 (VP)	地中埋設 75φ	3.80	m			
硬質塩化ビニール管 (VU)	地中埋設 100φ	27.40	m			
土工事	根切 BH0.28m³	35.60	m³			
土工事	山砂	6.90	m³			
土工事	埋戻 BH0.28m³	28.70	m³			
土工事	残土処分(場内敷均し)	6.90	m³			
スリーブ工事	紙スリーブ 100φ×150mm	3.00	か所			
スリーブ工事	紙スリーブ 125φ×150mm	2.00	か所			
計						

直接工事費 細目別内訳

事務所		機械設備工事			給湯設備	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電気温水器	壁掛型 貯湯量12L 付属品共 1.1kw	1.00	台			
混合栓	熱湯口付 13	1.00	個			
ステンレス管	屋内一般 20A	0.60	m			
保温工事	パイプガード (直管) 20φ	0.60	m			
保温工事	パイプガード (エルボ・チース) 20φ	2.00	個			
計						

直接工事費 細目別内訳

事務所		機械設備工事			衛生器具設備	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
洋風大便器	洗浄便座一体型 ｴﾀｰ付 紙巻器共	2.00	組			
	計					

直接工事費細目別内訳


外構工事		外構工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
構内舗装	車道用 再生クワッシュン 0-40 t=300	1.00	式			
国旗掲揚塔	アルミ製 L=7,000 埋込部黒ワニス塗装 基礎共	1.00	式			
雨水浸透柵	コンクリート製 840*840 1型A	1.00	式			
計						

直接工事費 細目別内訳

解体工事		解体工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
事務所解体	木造平屋建 床面積65m2 仮設・基礎・水道閉止共	1.00	式			
車庫解体	薄板軽量形鋼造 床面積13m2 束石共	1.00	式			
積込・運搬費		1.00	式			
雑工事		1.00	式			
諸経費		1.00	式			
小計						
産業廃棄物処理費		1.00	式			
循環税		1.00	式			
小計						
計						

根釧西部森林管理署 鶴居森林事務所新築工事

番号	名称	番号	名称	番号	名称	番号	名称
意匠 - 1	特記仕様書-1	構造 - 1	構造仕様書	電気 - 1	電気特記仕様書	機械 - 1	機械特記仕様書-1
- 2	特記仕様書-2	- 2	土質調査位置図・換算N値断面図	- 2	配置図・電力電話引込図	- 2	機械特記仕様書-2
- 3	特記仕様書-3	- 3	地業・基礎・土台・小屋梁伏図	- 3	分電盤結線図・機器姿図	- 3	衛生設備・屋外配管図
- 4	特記仕様書-4	- 4	小屋・床板・基礎・1階断熱伏図	- 4	電灯設備図	- 4	衛生設備図
- 5	付近見取図・配置図・計画概要・面積表	- 5	見付面積求積図・軸組計算図	- 5	幹線・コンセント設備図	- 5	換気設備図
- 6	仕上表・使用材料表	- 6	軸組計算表	- 6	弱電設備配線図	- 6	機器表・衛生器具表
- 7	平面図	- 7	耐力壁標準図	- 7	太陽光発電設備 特記仕様書		
- 8	立面図・断面図			- 8	太陽光発電設備 システム系統図		
- 9	天井伏図・屋根伏図			- 9	太陽光発電設備 機器姿図		
- 10	矩計図-1			- 10	太陽光発電設備 パネル・単線結線図・機器配置図		
- 11	矩計図-2			- 11	太陽光発電設備 傾斜屋根架台図		
- 12	矩計図-3			- 12	太陽光発電設備 傾斜屋根架台部分詳細図		
- 13	展開図-1						
- 14	展開図-2						
- 15	展開図-3						
- 16	建具表						
- 17	部分詳細図						
		解体 - 1	解体配置図				
外構 - 1	外構図-1	- 2	解体庁舎				
- 2	外構図-2	- 3	解体車庫				

備考	 1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号 チカラ総合設計株式会社	1級建築士 建設大臣登録 177664号 若本 隆志	工事名	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事設計業務	図番	TU-TTL	承認	共通
			図面名	表紙・図面リスト	縮尺	図示	担当	
					年月日	R04.09.30		

建築工事特記仕様書	
I 工事名称	根創西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
II 工事概要	1 工事場所 阿寒郡鶴居村鶴居西4丁目76-1の内 2 敷地面積 635.99 m ² 3 工事種目 新築 4 構造・規模 庁舎：木造軸組在来工法 平屋 ・ (建築面積) 59.54 m ² / (延床面積) 47.93 m ²
III 建築工事仕様	1 共通仕様 本工事は設計図書及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官庁官庁管理署監修「木造建築工事標準仕様書(最新版)」(以下「木標仕」という。)による。なお、木標仕に記載されていない事項については、同じく国土交通大臣官庁官庁管理署監修の各標準仕様書による。 2 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○の付いたものを適用する。 ○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※のついた場合は、ともに適用する。 (3) 特記事項欄の行末に記載の()内表示番号は、木標仕の該当項目又は該当表を示す。
項目	特記事項
① 適用基準等	○公共建築工事標準仕様書 国土交通大臣官庁官庁管理署監修(最新版) ○工書写真の撮り方 国土交通大臣官庁官庁管理署監修
② 工事実績情報の登録	○適用する。 (1.1.4)
③ 既成工期	・(平成 年 月 日) (1.2.1(e))
④ 電気保安技術者	・適用する。 (1.3.3)
⑤ 施工条件	・() (1.3.5(b))
⑥ 発生材の処理等	・引渡しを要するもの() ・特別管理産業廃棄物() 処理方法 ・現場において再利用を図るもの ・再資源化を図るもの(・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材) 受入れ施設名() 受入れ場所() 仮置き場所()
⑦ 材料の品質等	・本工事における使用木材は原則、国産材とし、支給材及び市販材とする。また、木工事、木製建具工事及び内・外装工事に使用する木材は、開伐材、合法性・持続可能性が証明されたものとする。なお、数量・材質については、数量調査書を作成し監督員に提出する。 (1.4.2(c)) 数量調査書を作成し監督員に提出する。
⑧ 特別な材料	・木標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。
⑨ 技能士	・適用する技能士の職種とその作業の種類は次による。 (1.5.2)
	技能検定の種類 作業の種類 ○建築大工 大工工事作業 ○とび とび作業 ○鉄筋施工 鉄筋組立作業 ○型枠施工 型枠工事作業
	・かわらぶき かわらぶき作業 ○建築板金 内外装板金作業 ○スレート施工 石積スレート工事作業 ○左官 左官作業 ○塗装 建築塗装作業 ○塗膜 塗膜作業 ○内装仕上げ施工 カーペット系床仕上げ工事施工 ○内装仕上げ施工 プラスチック系床仕上げ工事施工 ○内装仕上げ施工 天井ボード仕上げ工事施工
⑩ 完成時の提出図書	○完成図 (1.7.1(a)(1)) ○施工図施工計画書 (1.7.2(1),(7,3)) ○安全に関する資料の提出部数(※1部・()部) (1.7.1(a)(2)) ○使用した木材・木製製品において、開伐材、合法性・持続可能性を証明する書類 (1.4.2(c)) ・()
⑪ 完成図	・種類、記入内容 (1.7.2)(表1.7.1) ※不標仕表1.7.1による。 ・次による 種類 記入内容 () () () () () () () () () () 完成図の作成方法及び原図のサイズ (1.7.2) ※不標仕1.7.2(b)(1)による。 ・()

⑫ 完成写真	・次のものを原稿とともに監督職員に提出する。 分類 規格 撮影箇所数 部数 原板の大きさ(mm) ・モノクローム ・キャビネ版 ()箇所 ()部 ・100×125以上 ・全紙ハネル ()箇所 ()部 ・() ・() ()箇所 ()部 ・() ○カラー ○キャビネ版 ()箇所 ()部 ・100×125以上 ・全紙ハネル ()箇所 ()部 ・() ・() ()箇所 ()部 ・() ・カラーライド () ()箇所 ()部 ・24×36以上
⑬ 設備工事との取合い	・施工範囲 ○図示された貫通孔、開口部の型枠及び補強筋 ○図示された壁・天井の仕上げ材及び下地材の切込み並びに下地材の補強 ・駆動装置が電動による建具等の虹配線及びスイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・()
⑭ 設計G.L	・設計G.L ○図示 ()
① 監督職員事務所(仮森林事務所)	○設ける (2.3.1(a)(b)) 規模(20) m ² 仕上げの程度(WC等給排水衛生設備、電気設備(LANルーター含)) () ()
② 仮設工事	・監督職員事務所の備品等は、次のによる。 備品の種類 机、椅子 書棚 黒板 製図板 掛時計 数量 ()組 ()台 ()個 ()台 ()個 備品の種類 温度計 ゴム長靴 雨合羽 保護帽 懐中時計 数量 ()個 ()足 ()着 ()個 ()個 備品の種類 加入電話の付属電話機 衣料カ 冷暖房機器 消火器 数量 ()台 ()人用 ()台 ()個 備品の種類 湯沸し器 掃除機 数量 ()台 ()個
③ 工事用水	・構内既存の施設 ・利用できる(・有償・無償) ○利用できない
④ 工事用電力	・構内既存の施設 ・利用できる(・有償・無償) ○利用できない
⑤ PR用看板設置	○工書看板等に、開伐材、合法性・持続可能性の証明された木材・木材製品を用いた工事であることを明記する。
① 埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土の種類(・A種 ○B種 ・C種 ・D種) (表2.1.1) C種の場合(建設発生土の受入量() m ³ 発生場所())
③ 建設発生土の処理	・場外搬出適切な処理 ※構内指定場所に数均し ・構内指定場所に堆積 ・構内指定場所に処分(搬出調査書等を提出する。) 受入れ施設名() 受入れ場所() 仮置き場所()
③ 山留めの撤去	・存置する() (3.1.11)
④ 既成コンクリート杭地業	・既成コンクリート杭地業の工法 (3.2.7(a)(2)) ・圧入工法 (3.2.7(d)) 設計支持力() kN 支持力の算定方法(※国土交通省告示第11号による。()) プレボーリングの掘削深さ及び掘削径(深さ() m 径() mm) ・セメントミルク工法 (3.2.7(e)) 支持地盤の深さ() m 支持地盤の土質() ・特定埋込み杭工法 (3.2.7(f)) () () ・柱の寸法(※図示・()) (3.2.7(b)(2)) ・継手の箇所数(・0・1・2・()) (3.2.7(b)(2)) ・杭先端部の形状(・閉そく平たん形・開放形・ペンシル形) (3.2.7(b)(2)) ・試験杭(※最初の1本・図示) (3.2.7(c)(1)) ・継手の工法(※溶接継手 ()) (3.2.7(g)(1)) ・杭頭の処理(※木標仕3.2.5(g)による。()) (3.2.7(h)(1))
⑤ 砂利及び砂地業	・砂及び砂利地業の厚さ(※60mm ○(120-150)mm) (3.2.8(b)(1))
⑥ 捨てコンクリート地業	・捨てコンクリートの厚さ(※60mm ○(50)mm) (3.2.9(b))
⑦ 床下防湿層	・防湿層を設ける範囲(※図示・()) (3.2.10(a))
⑧ 鉄筋	・鉄筋の種類(※SD295A・SD295B・SD345 ()) (3.3.3(b)(1)) (表3.3.1) ・鉄筋の継手(※重ね継手・オI圧接継手 ()) (3.3.3(c)(9)) ・重ね継手長さ及び定着長さ(・重ね継手(L1)) (・定着長さ(L2)) (3.3.3(c)(10)) ・基礎及び基礎梁の配筋(・図示) (3.3.3(e))

⑨ コンクリート	・設計基準強度(※21N/mm ² ()) (3.3.4(c)) ・レディーミクストコンクリートの種類(※I類 ・II類) (3.3.4(d))(表3.3.5) ・コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容差(※木標仕表3.3.7による。()) (3.3.4(h)(1)(i)) ・普通コンクリートの材料 (3.3.4(i)(1)) (※表3.3.7による。()) ・混和材料(・(O) AE減水剤 標準型I種 ()) (3.3.4(i)(5)) ・圧縮強度試験 JISA1118 ○4週 (3.3.4(k)(5)) ・スリーブ材料(・()) (3.3.5(c)(6))
⑩ 型枠	・適用箇所(※捨コンクリート・図示) (3.3.6(e)) ・設計基準強度及びスランプ(・木標仕3.3.6(f)による。○(18N/mm ²)) (3.3.6(f)(1))
⑪ 無筋コンクリート	・適用箇所(・土工事 ・地業工事 ・基礎工事) (3.4.1) ・砂利地業等(・(i) ・(ii) ・(iii)) (3.4.4(a)) ・床下防湿(・ベタ基礎・(i) ・(ii)) (3.4.4(c)) ・基礎工事 (3.4.5(a)(1)) ・基礎の位置(・() ・図示) (3.4.5(a)(1)) ・基礎の構造(・(i) ・(ii) ・(iii)) (3.4.5(a)(2)) ・基礎の地盤からの立上り(・() mm) (3.4.5(b)(ii)) ・布基礎の立上り厚さ、底盤の厚さ及び幅 (3.4.5(b)(iii)) (・() mm) ・図示 ・布基礎の根入れの深さ(・() mm) ・図示 (3.4.5(b)(iii)) ・ベタ基礎の根入れの深さ、底盤の厚さ(・() mm) ・() mm) ・図示 (3.4.5(c)) ・底盤の補強筋(・() ・図示) (3.4.5(d)) ・杭基礎構造(・() ・図示) (3.4.5(d)) ・隠壁(・() ・図示) (3.4.5(e)(1)) ・鉄筋コンクリート隠壁(・() ・図示) (3.4.5(e)(2)) ・コンクリートブロックの厚さ(・() ・図示) (3.4.5(e)(2)(ii)) ・鉄筋かぶり厚さ(・()) (3.4.5(f)(3)) ・コンクリート設計基準(呼び)強度(・21N/mm ² ()) (3.4.5(j)(1)(ii)) ・土間コンクリート床、結露防止の施工(・() ・図示) (3.4.5(i)(i)) ・床下地面の防湿処理、適用及び範囲(・適用 ・不適用) ・範囲() (3.4.5(o))
① 総則	木標仕で規定する材料は、JAS又はJIS等の材料規格でホルムアルデヒドの放散量規定されている場合(※(4.1.1(b)(i)又は(ii)) ()) (4.1.1(b))
④ 木工事	使用する材料は、図示及び特記による指定並びに木標仕各々の規程による。 (4.1.2(a)) (a) 丸太 使用箇所(※図示・() () () ()) () () 樹種名(・()) 径(・()) 等級(・1等 ・2等 ()) (b) 製材 (4.1.2(b)) (1) 製材 (4.1.2(b)(1)) (i) 樹構造用製材 (4.1.2(b)(1)(i)) 使用箇所(※図示・() () () ()) () () 樹種名(・()) 構造材の種類(・()) 等級(・1等 ・2等 ()) 寸法(※図示・()) (ii) 造作用製材 (4.1.2(b)(1)(ii)) 使用箇所(※図示・() () () ()) () () 樹種名(・()) 等級(・1等 ・2等 ()) 寸法(※図示・()) (iii) 下地用製材 (4.1.2(b)(1)(iii)) 使用箇所(※図示・() () () ()) () () 樹種名(・()) 等級(・1等 ・2等 ()) 寸法(※図示・()) (iv) 産業用製材 (4.1.2(b)(1)(iv)) 使用箇所(・() () () ()) () () 樹種名(・()) 等級(・1等 ・2等 ()) 寸法(※図示・()) (2) 枠組工法構造用製材 (4.1.2(b)(2)) 種類(・(i) (ii) (iii)) (4.1.2(b)(2)(i)) (i) 甲種枠組材 (4.1.2(b)(2)(i)) 使用箇所(※図示・() () () ()) () () 樹種名(・()) 寸法形式(※図示・()) 乾燥処理(・乾燥・未乾燥) 等級(・1等 ・2等 ()) (ii) 乙種枠組材 (4.1.2(b)(2)(ii)) 使用箇所(※図示・() () () ()) () () 樹種名(・()) 寸法形式(※図示・())

備考	乾燥剤（・乾燥 ・未乾燥） 等級（・1等 ・2等 ・〈 〉） (iii)機械による曲げ応力等級区分を行う枠組壁工法構造用製材 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 樹種名（・〈 〉） 寸法形式（※図示 ・〈 〉） 乾燥剤（・乾燥 ・未乾燥） 曲げ応力等級等（・〈 〉 ・〈 〉） (3)枠組壁工法構造用たて組材 種類（・(i) ・(ii) ・(iii)） (i)たて枠用たて組材 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 樹種名（・〈 〉） 寸法形式（※図示 ・〈 〉） 等級等（・〈 〉 ・〈 〉） (ii)甲種たて組材 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 樹種名（・〈 〉） 寸法形式（※図示 ・〈 〉） 等級等（・〈 〉 ・〈 〉） (iii)乙種たて組材 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 樹種名（・〈 〉） 寸法形式（※図示 ・〈 〉） 等級等（・〈 〉 ・〈 〉） (c)集成材 種類（・(i) ・(ii) ・(iii)） (i)造作用集成材 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 樹種名（・〈 〉） 見付け材面の品質、寸法（・〈 〉） (ii)化粧ばり造作用集成材 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 樹種名（心材、化粧薄板）（・〈 〉） 化粧薄板の厚さ（・〈 〉） 見付け材面の品質、寸法（・〈 〉） (iii)構造用集成材 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 強度等級（・〈 〉 ・〈 〉） 材面の品質（・〈 〉） 接着性能（・〈 〉） 樹種名（・〈 〉） (iv)化粧ばり構造用集成材 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 樹種名（心材、化粧薄板）（・〈 〉） 化粧薄板の厚さ（・〈 〉） 寸法（・〈 〉） (d)単板積層材 (i)造作用単板積層材 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） 表面の品質（等級又は化粧加工の方法）（・〈 〉） 防虫処理（・〈 〉） (ii)構造用単板積層材 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 接着性能（・〈 〉） 樹種名（・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） 曲げ性能（・〈 〉） (e)構造用パネル 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） (f)合板 種類（・(i) ・(ii) ・(iii) ・(iv)） (i)普通合板 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） 接着の程度（・〈 〉） 板面の品質（・〈 〉） 合板の処理（・防虫 ・難燃） 表板の樹種（・〈 〉） (ii)構造用合板 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） 接着程度（・〈 〉） 等級（・〈 〉） 板面の品質（・〈 〉） 防虫処理（・〈 〉） 表板の樹種（・〈 〉） (iii)天然木化粧合板 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） 接着程度（・〈 〉） 合板の処理（・防虫 ・難燃） 化粧板の樹種（・〈 〉） (iv)特殊加工化粧合板 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉）	(4.1.2(b)(2)(iii))	(4.1.2(b)(3))	(4.1.2(b)(3)(i))	(4.1.2(b)(3)(ii))	(4.1.2(b)(3)(iii))	(4.1.2(c))	(4.1.2(c)(i))	(4.1.2(c)(ii))	(4.1.2(c)(iii))	(4.1.2(c)(iv))	(4.1.2(d)(i))	(4.1.2(d)(ii))	(4.1.2(e))	(4.1.2(f))	(4.1.2(f)(i))	(4.1.2(f)(ii))	(4.1.2(f)(iii))	(4.1.2(f)(iv))	
	厚さ（・〈 〉） 接着程度（・〈 〉） 表面性能（・〈 〉） 合板の処理（・防虫 ・難燃） 化粧加工の方法（・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・〈 〉） (g)フローリング (i)単層フローリング 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） ひき板の樹種名（・〈 〉） 寸法（・〈 〉） 用途（・根太張用 ・直張用 ・〈 〉） 防虫処理（・〈 〉） (ii)複層フローリング 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 品名（・複合1種 ・複合2種 ・複合3種） 用途（・根太張用 ・直張用 ・〈 〉） 材料名（・〈 〉） 寸法（・〈 〉） 化粧加工の方法（・〈 〉） 化粧板の樹種名・厚さ（・〈 〉） 防虫処理（・〈 〉） (h)各種ボード類 種類（・(i) ・(ii) ・(iii) ・(iv) ・(v) ・(vi) ・(vii) ・(viii) ・(ix) ・(x) ・(xi)） (i)硬質木片セメント板 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） (ii)ラスシート 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 材質（・〈 〉） (iii)ハードファイバーボード 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 曲げ強さ（・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） (iv)ミディアムデンシティファイバーボード 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 曲げ強さ（・〈 〉） 接着程度（・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） (v)シーシングボード 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） (vi)パーテクルボード 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 曲げ強さ（・〈 〉） 接着程度（・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） (vii)(viii)構造用せつこうボード 種類（・(A種) ・(B種)） 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） (ix)せつこうボード 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） (x)強化せつこうボード 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 厚さ（・〈 〉） (i)接合具及び接合金物 (1)コンクリート釘及びその他特殊釘 材質（・〈 〉） 寸法（・〈 〉） 形状（・〈 〉） (2)接合具及び接合金物（・(i) ・(ii) ・(iii) ・(iv)） (3)(2)以外の接合具及び接合金物（・(v)） 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 種類（・〈 〉） 記号（・〈 〉） (j)接着剤 使用箇所（※図示 ・〈 〉 ・〈 〉 ・〈 〉） 種類（・〈 〉） 主成分及び用途等による区分（・〈 〉） (k)防菌・防蟻・防虫 処理 ・防菌・防蟻に有効な薬剤が混入された接着剤を使用（・〈 〉） ・防菌・防蟻及び防蟻処理を行う場合に使用する薬剤（◎（抄）付同等） ・床下の防蟻処理（・〈 〉） ・土壌の防蟻処理に使用する薬剤（・〈 〉）	(4.1.2(g))	(4.1.2(g)(i))	(4.1.2(g)(ii))	(4.1.2(h)(i))	(4.1.2(h)(ii))	(4.1.2(h)(iii))	(4.1.2(h)(iv))	(4.1.2(h)(v))	(4.1.2(h)(vi))	(4.1.2(h)(vii)(viii))	(4.1.2(h)(ix))	(4.1.2(h)(x))	(4.1.2(i))	(4.1.2(i)(4))	(4.1.2(i)(5))	(4.1.2(j))	(4.1.5(2)(iii))	(4.1.5(3)(i))	(4.1.5(5))

屋根及び とい工事	① 適用範囲	・適用する節 (○1節 ○2節 ○3節 ○4節 ○5節 ○6節 ○7節) ・建築基準法に定められた構造計算規程に基づき安全性が確認された工法 (※図示)	(9.1.1(a)) (9.1.1(b))	10 階段	・適用範囲 (・ささら階段 ・力軒階段) ・製材の寸法 (・) ・工法 (・) ・表10.7.1標準とする。)	(10.7.1(b)) (10.7.2) (10.7.3)	12 器具工事	① 適用範囲	・適用する節 (○1節 ○2節 ○3節 ○4節 ○5節 ○6節 ○7節 ○8節 ○9節 ○10節 ○11節 ○12節)	(12.1.1)
	② 下葺材料	・材料 (※アスファルトルーフィング940)	(9.2.1(b))	11 押入	・製材の寸法 (・) ・押入床板、中継板及び天袋棚板 (・(1) ・(2)) ・10.1.3(b) (3)による普通合板接着の程度、厚さ (・) ・I類、9mm) ・10.1.3(b) (4)によるパーテクルボード強度及び接着材による区分、厚さ (・) ・U13タイプ以上、厚さ20mm) ・工法 (・) ・表10.8.1標準とする。)	(10.8.2(a)) (10.8.2(b)) (10.8.2(b) (1)) (10.8.2(b) (2)) (10.8.3)		② 2 防火戸	・防火戸の指定 (※図示)	(12.1.3) (a)
	③ 金属板葺材料	・屋根金属板の種類及び厚さ (※OGCOR-20-225、厚さ0.4mm ○JIS G 3332 塗装溶融55%Zn-ニッケル合金めっき鋼板) ・特殊釘の種類、形状、寸法等 ()	(9.3.2(a)) (表9.3.1) (9.3.2(b)) (2)	12 ひさし	・製材の寸法 (・) ・10.1.3(b) (3)による普通合板の接着の程度、厚さ (・) ・I類、9mm) ・化粧化粧板に用いる合板 (・(1) ・(2)) ・工法 (・) ・表10.9.1標準とする。)	(10.9.2(a)) (10.9.2(b)) (10.9.2(a)) (10.9.3)		③ 見本の製作	・建具見本の製作 (※製作しない ・製作する)	(12.1.4)
	4 平葺 (一文字葺)	・葺き板の裁ち寸法 (・A種 ・B種)	(9.3.3(b)) (表9.3.5)	13 戸袋	・戸袋 (・) ・12章2節 [アルミニウム製建具] ・製材の寸法 (・) ・工法 (・) ・表10.10.1標準とする。)	(10.10.1(b)) (10.10.2) (10.10.3)		④ アルミニウム製建具	・アルミニウム製建具の耐風圧性、気密性、水密等の等級 (・外部に面するアルミニウム建具の性能等級 (※A種 ・B種 ・C種) ・防音サッシの適用 (・ドアセット ・サッシ) ・防音ドアセットの遮音性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・防音サッシの遮音性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・断熱サッシの適用 (・ドアセット ・サッシ) ・断熱ドアセットの断熱性の等級 (K2) 。ただし、箇所は図示 ・断熱サッシの断熱性の等級 (H5) 。ただし、箇所は図示 ・耐震ドアセットの適用及び面内変形追随性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ○網戸の防虫網の材料 (※合成樹脂製、線径0.25mm、編目16~18メッシュ) ○形状及び仕上げ ・建具の枠の見込み寸法 (※表12.2.1による) ・アルミニウム材表面処理の種類 (・透明系 (・標準色 ・注文色) ○着色系 (・色)) ○工法 ・水切り、ぜん版 (・) ○図示)	(12.2.2(b) (1)) (表12.2.1) (12.2.2(b) (2)) (12.2.2(b) (2)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.3(a) (2)) (12.2.4(b)) (12.2.4(d)) (12.2.4(a) (3))
	5 心木なし瓦葺葺	・瓦葺の軸き幅 (・450mm ・418mm ・364mm ・321mm)	(9.3.5(b)) (表9.3.6)	14 床の間及び床脇廊	・製材の樹種及び寸法 (・) ・既成部品の材質・形状・寸法 (・) ・工法 (床の間) (・) (床脇廊) (・)	(10.11.2) (10.11.2) (10.11.3) (10.11.3)		5 鋼製建具	・鋼製建具の性能値 ・簡易気密型ドアセットを適用する。ただし、箇所は図示。 ・外部に面する鋼製建具の耐風圧性 (・S-2 ・S-4 ・S-5) ・防音サッシの適用 (・ドアセット ・サッシ) ・防音サッシの遮音性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・防音サッシの遮音性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・断熱サッシの適用 (・ドアセット ・サッシ) ・断熱ドアセットの断熱性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・断熱サッシの断熱性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・耐震ドアセットの適用及び面内変形追随性の等級 () 。ただし、箇所は図示	(12.3.1(b) (1)) (表12.3.1) (12.3.1(b) (1)) (表12.2.1) (12.2.2(b) (2)) (12.2.2(b) (2)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.2(b) (4))
	6 粘土瓦葺	・材料 ・粘土瓦の種類、大きさ、産地等 (※J形、S3A) ・役物瓦の種類 (※図示) ・瓦棟木 (材質)、寸法 (幅 ×高さ mm以上) ・補強用心材 (材質)、寸法 (幅 ×高さ mm以上) ・工法 ・野地板が木材以外の場合の枝木の留付け工法等 (※図示) ・瓦の取付け (・) ・粘土瓦葺の棟の工法 (・7号丸伏せ棟 ・のし一様棟 ・のし積棟)	(9.4.2(a) (1)) (9.4.2(a) (2)) (9.4.2(b) (1)) (9.4.2(c)) (9.4.3(c) (2)) (9.4.3(d)) (9.4.3(e))	① 適用範囲	・適用する節 (○1節 ○2節 ○3節 ○4節 ○5節 ○6節 ○7節 ○8節 ○9節) (11.1.1)	(11.1.1)		6 鋼製軽量建具	・性能及び構造 ・簡易気密型ドアセットの気密性 (A-2) (・適用する ・適用しない) ・防音サッシの適用 (・ドアセット ・サッシ) ・防音ドアセットの遮音性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・防音サッシの遮音性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・断熱サッシの適用 (・ドアセット ・サッシ) ・断熱ドアセットの断熱性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・断熱サッシの断熱性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・耐震ドアセットの適用及び面内変形追随性の等級 () 。ただし、箇所は図示	(12.4.2(b) (1)) (12.2.2(b) (2)) (12.2.2(b) (2)) (12.2.2(b) (2)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.2(b) (4))
	7 住宅用屋根スレート葺	・種類、寸法及び形状、色等 ・役物スレートの種類 (※図示) ・強度地域又は高所に使用する場合での使用 ・接着剤による補強 (※図示) ・増層による補強 (※図示)	(9.5.3(d) (2)) (9.5.3(d) (2))	② ラス系下地	・適用範囲 (・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシート下地 ・通気工法単層下地 ・通気工法二層下地)	(11.2.3(a) (2))		6 鋼製軽量建具	・材料 ・鋼板の垂れつき付着量 (※Z12又はF12) ・形状及び仕上げ ・鋼板の厚さ (・)	(12.3.3(a) (1)) (12.3.4(a))
	8 アスファルトシングル葺	・材料 (※図示) ・軒及びけらば等に曲面を設ける場合の半径 (※50mm)	(9.6.1(a)) (9.6.2(d))	3 直張りラスモルタル下地	・ラス (・2種波形ラス700) ・ステープル (・1019) (s))	(11.2.3(b) (i) (3)) (11.2.3(b) (i) (4))		6 鋼製軽量建具	・性能及び構造 ・簡易気密型ドアセットの気密性 (A-2) (・適用する ・適用しない) ・防音サッシの適用 (・ドアセット ・サッシ) ・防音ドアセットの遮音性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・防音サッシの遮音性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・断熱サッシの適用 (・ドアセット ・サッシ) ・断熱ドアセットの断熱性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・断熱サッシの断熱性の等級 () 。ただし、箇所は図示 ・耐震ドアセットの適用及び面内変形追随性の等級 () 。ただし、箇所は図示	(12.4.2(b) (1)) (12.2.2(b) (2)) (12.2.2(b) (2)) (12.2.2(b) (2)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.2(b) (3)) (12.2.2(b) (4))
	9 といの材料	・材料の種類及び板厚等 () ・谷といの板厚 () ・鋼板厚 (・谷といは0.4mm ・その他のとい0.35mm) ・硬質塩化ビニル樹脂製とい材の種類、外径、厚さ及び厚さ ()	(9.7.2(a) (1)) (表9.7.1) (9.7.2(a) (2)) (9.7.2(a) (3))	4 直張りラスシート下地	・ラスシート (・LS4以上) ・LS2) ・LS1)	(11.2.3(c) (i) (3))		7 ステンレス製建具	・材料 ・ステンレス鋼板 (※SUS304) ・形状及び仕上げ ・表面仕上げ (・HL仕上げ) ・工法 ・ステンレス鋼板の曲げ加工 (・普通曲げ ・角出し曲げ)	(12.5.3(a)) (12.5.4(d)) (12.5.5(a) (1))
	10 といの加工及び取付け	・硬質塩化ビニル製集水器及びあんこうの形等の指定 ()	(9.7.3(c) (3))	5 通気工法単層下地	・ラス (・2種リラス800) ・ステープル (・925) (s))	(11.2.3(d) (i) (3)) (11.2.3(d) (i) (4))		⑧ 木製建具	・材料 ・建具材の加工、組立時の含水率の種別 (・A種 ※B種 ・C種) ○フラッシュ戸の表面材の合板の種類 (※普通合板2等) ・かまち及び鏡板の樹種 ・ふすまの上張りの種類 ・形状及び仕上げ ○フラッシュ戸表面材の厚さ (※表12.6.6) ○かまち戸の見込み寸法 (※36mm) ○ふすまの見込み寸法 (※21mm) ○戸ふすまの見込み寸法 (※30mm) ○縦張り障子のかまち見込み寸法 (※30mm) ・ふすまの工法 (※表12.6.9) ・縁の仕上げ (・)	(12.6.2(a)) (表12.6.1) (12.6.2(b) (1)) (12.6.2(a) (1)) (12.6.3(a)) (12.6.3(a)) (12.6.3(a)) (12.6.3(a)) (12.6.4(c)) (12.6.4(c))

10	ガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・鏡の数(※3本・()) (12.7.4(c)) ・板ガラス (12.8.2(a)(1)~(9)) ○フロート板ガラスの厚さによる種類等(※図示・()) ○型板ガラスの品種及び厚さによる種類等(※図示・()) ・納入及び納入板ガラスの品種及び厚さによる種類等(※図示・()) ・合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合並びに並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類等(※図示・()) ・強化ガラスの材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類等(※図示・()) ・熱吸収板ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類、及び性能による種類等(※図示・()) ○複層ガラスの材料板ガラスの種類、厚さの組合並びに複層ガラスの厚さ及び断熱性・日射熱達へい性による区分。(※図示・()) ・熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類並びに日射熱達へい性及び耐久性による区分。(※図示・()) ・倍強度ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類。(※図示・()) ・() ・() ・ガラス製め材 ○ガラスの製め材の種類、・〈・ビード〉 (12.8.2(b)(i)) ○アルミニウム製建具のガラスはめ込み用いるガスケットの種類、〈メー仕様〉 (12.8.2(b)(ii)) ・ガラスの寸法、形状等 ○板ガラスをはめ込む溝の大きさ、〈メー仕様〉 (12.8.3(a)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイルカーベットの種別、パイルの形状等は、次による。 (14.3.3(d)) 種別 パイルの形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 電気抵抗(Ω) A種 ※ループパイル ※500×500 ※6.5 ※適用しない B種 ※カットパイル ・〈・〉 ・〈・〉 ・〈・〉 ・下敷き材(※反毛フェルト/第2種2号、呼び厚さ8mm・()) (14.3.3(e)) ・見切り、押え金物の材質、種類及び形状 (14.3.3(f)(3)) ・(材質〈 〉)・種類〈 〉)・形状〈 〉 ・工法 ・タフテッドカーベットのクリッパー工法の適用 (14.3.4(a)) (表14.3.2) (※クリッパー工法・全面接着工法) ・タイルカーベットの敷き方 (14.3.4(a)(1)) (※平場・市松敷き・())、(※階段：模様流し・()) 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用収納新仕切ユニットの製造所等 (15.3.6(b)(1)) 〈 〉 ・住宅用収納新仕切ユニットの部材及び部品の材質・形状並びに寸法等 (15.3.6(b)(2)) 〈 〉 ・洗面化粧ユニットの製造所等 (15.3.7(b)(1)) 〈 〉 ・洗面化粧ユニット等の種類 (15.3.7(b)(2)) 〈 〉 ・天板、洗面器等の材質及び寸法等 (15.3.7(b)(3)) 〈 〉 ・システムキッチンの製造所等 (15.3.8(b)(1)) 〈 〉 ○システムキッチンの部材及び部品並びに寸法等 (15.3.8(b)(2)) 〈 SUS 1200 〉 ・階段滑り止めの材種、形状、寸法等 (15.3.9(a)) 〈 〉 ・階段滑り止めの取付工法・(・(a)・(b)) (15.3.9(b)) ・踏の厚さ(※5mm・〈 〉) (15.3.10(a)) ・衝突防止表示形状、寸法、材質等 (15.3.11(a)) 〈 〉 ・法合に基づく非常用進入口等の製造所等 (15.3.11(b)) 〈 〉 ○室名札、ビクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種類、取付形式 (15.3.11(c)) 〈 (室名札：ABS樹脂 135x270 〉 ・ブラインドの形式・〈(横型)〉 (15.3.12(a)(1)) 〈 〉 ・縦型ブラインドの開閉方式及び操作方法・() (15.3.12(a)(3)) ・縦型ブラインドの操作方法(※2本操作コード方式・〈 〉) (15.3.12(a)(4)) ・ロールスクリーン操作方式、幅及び高さ (15.3.13(a)) 〈 〉 ・スクリーンの材質、品質等 (15.3.13(b)) 〈 〉 ・巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 (15.3.13(d)) ○カーテンのシングル・ダブルの別、片引き・引分け等の形式、開閉操作方式 (15.3.14(a)(1)) 〈 (タム) 引分け 〉 ・きれ地の種別、品質、特殊加工等 (15.3.14(b)(1)(i)) 〈 〉 ○レール及びブラケットの強さによる区分並びにレールの仕上げ及び形状 (15.3.14(b)(2)(i)) ・強さによる区分(※10~90・〈 〉) (15.3.14(b)(2)(ii)) ・材料による区分(※アルミ及びアルミ合金の押出し成型材・〈 〉) (15.3.14(b)(2)(iii)) ・仕上げ並びに形状(※アルミト並びに角形・〈 〉) (15.3.14(b)(2)(iv)) ・ひだの種類(・フランスひだ・羅ひだ、つまひだ・ブレンンひだ、片ひだ) (15.3.14(c)) (表15.3.1) ・暗幕用カーテンの両端、上部及び引き合せの重なり(※300mm以上・〈 〉) (15.3.14(c)(1)(i)(3))
		<ul style="list-style-type: none"> ① 適用範囲 ○2節 ○3節 ○4節 ○5節 ○6節 ○7節 ○8節 ○9節 ○10節 ○11節 ○12節 ○13節 ○14節 	<ul style="list-style-type: none"> ② 材料 ・屋内で使用する場合はホルムアルデヒド放散量(※4.1.1【総則】(b)(ii)・〈 〉) (13.1.3(a)) 	<ul style="list-style-type: none"> ③ セッコウボード、その他のボード及び合板張り ・セッコウボード、その他のボード類の種類、厚さ等は、次による。 (14.6.2(a)) (表14.6.1) 名称 種類等 厚さ(mm) 品質等 ・木質系セメント板 () () () () ・繊維強化セメント板 () () () () ・火山性ガラス質複層板 () () () () ・繊維板 () () () () ・パネテルボード () () () () ・吸音材料 () () () () ○セッコウボード製品(GB-R、F) 9.5, 12.5, 15 () () ・パネテルボード及び繊維板MDFのホルムアルデヒド放散量 (14.6.2(a)) (※4.11【総則】(b)(ii)・〈 〉) ・合板の適用種類(○普通合板・天然普通合板・特殊加工化合板・〈 〉) () () ・接着剤のホルムアルデヒド放散量(※4.11【総則】(b)(ii)・〈 〉) (14.6.2(a)) ・合板類の貼付種別(・A種 ※B種) (14.6.3(a)(4)) (表14.6.3) ・セッコウボードの目地工法の種類(○縦目処理 ○突付け・目透し) (14.6.3(f)(1)) (表14.6.4)
<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 素地こしらえ ・木部の素地こしらえの種別(○A種・B種) (13.2.2(a)) (表13.2.1) ・鉄鋼面の素地こしらえの種別(・A種・B種 ※C種) (13.2.3) (表13.2.2) ・垂れめっき鋼面の素地こしらえの種別(・A種・B種・C種) (13.2.4) (表13.2.3) ・モルタル及びプラスター面の素地こしらえの種別(・A種 ※B種) (13.2.5) (表13.2.4) ・セッコウボード及びその他ボード面の素地こしらえの種別(・A種・B種) (13.2.6) (表13.2.5) 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 壁紙張り ・壁紙の品質及び防火性能(○品質〈 図示 〉 ○防火性能〈 準不燃 〉) (14.7.2(a)) ・壁紙のホルムアルデヒド放散量(※4.11【総則】(b)(ii)・〈 〉) (14.7.2(a)) ・モルタル及びプラスター面の素地こしらえの種別(・A種 ※B種) (14.7.3(a)) (13.2.5) ・セッコウボード面の素地こしらえの種別(・A種 ※B種) (14.7.3(b)) (表13.2.5) 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 1 タイル工事 ・伸縮目地の位置及び寸法(・図示・〈 〉) (15.1.1(a)(1)(2)) ・タイルの形状、寸法、きじの色及び標準色・特注色の別等 (15.1.2(a)(1)) ・(図示・〈 〉)・〈 〉)・〈 〉 ・役物の適用(・〈 〉) (15.1.2(a)(2)) ・タイルの試験張り、見本焼き等 (15.1.2(a)(3)) ・壁タイル張り工法の適用 (15.1.3(c)(3)(i)) ・内装タイル(・改良種上げ張り・壁タイル接着剤張り) ・外装タイル(・密着張り・改良種上げ張り・改良接着張り) ・内装タイル以外のユニットタイル(・マスク張り・モザイクタイル張り) 		
<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 4 内装工事 ① 適用範囲 ○2節 ○3節 ② ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り ・ビニル床シートの種類の記号、色柄、厚さ等は、次による。 (14.2.2(a)) ○種類の記号(※NC・〈 〉) ・色柄(・〈 〉) ・厚さ等(※2.5mm・〈 〉) (14.2.2(b)) ・ビニル床タイルの種類、厚さ等は、次による。 (14.2.2(c)) ・種類(・〈 〉) ・厚さ等(※2.0mm・〈 〉) ・ゴム床タイルの種類、厚さ等は、次による。 (14.2.2(c)) ・種類(・〈 〉) ・厚さ等(・〈 〉) ・接着剤のホルムアルデヒド放散量(※4.1.1【総則】(b)(ii)・〈 〉) (14.2.2(d)) ・熱溶接工法の適用(・(i)・(ii)・(iii)・(iv)) (14.2.3(b)(3)) ③ カーペット敷き ・雑じゅうたんの種別、織り方は、次による。 (14.3.3(a)(1)) (表14.3.1) 種別 織り方 パイルの形状 帯電性 A種 〈 〉 〈 〉 ※人体帯電圧3kV以下 B種 〈 〉 〈 〉 〈 〉 C種 〈 〉 〈 〉 〈 〉 ・タフテッドカーベットの形状、パイル長等は、次による。 (14.3.3(b)) パイルの形状 パイル長(mm) 帯電性 工法の種類 ・カットパイル 〈 〉 〈 〉 ※人体帯電圧3kV以下 ・ループパイル 〈 〉 〈 〉 ※全面接着工法 ・ニードルパンチカーベットの厚さ(厚さ〈 〉) (14.3.3(c)) 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 5 畳敷き(5節) ・畳の種別(・A種・B種・C種・D種) (14.4.52(a)) (表14.5.1) 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 2 セッコウボード、その他のボード及び合板張り ・セッコウボード、その他のボード類の種類、厚さ等は、次による。 (14.6.2(a)) (表14.6.1) 名称 種類等 厚さ(mm) 品質等 ・木質系セメント板 () () () () ・繊維強化セメント板 () () () () ・火山性ガラス質複層板 () () () () ・繊維板 () () () () ・パネテルボード () () () () ・吸音材料 () () () () ○セッコウボード製品(GB-R、F) 9.5, 12.5, 15 () () ・パネテルボード及び繊維板MDFのホルムアルデヒド放散量 (14.6.2(a)) (※4.11【総則】(b)(ii)・〈 〉) ・合板の適用種類(○普通合板・天然普通合板・特殊加工化合板・〈 〉) () () ・接着剤のホルムアルデヒド放散量(※4.11【総則】(b)(ii)・〈 〉) (14.6.2(a)) ・合板類の貼付種別(・A種 ※B種) (14.6.3(a)(4)) (表14.6.3) ・セッコウボードの目地工法の種類(○縦目処理 ○突付け・目透し) (14.6.3(f)(1)) (表14.6.4) 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 3 ユニット及びその他の工事 ・住宅用複合サニタリーユニットの製造所等 (15.3.2(b)(1)) 〈 〉 ・住宅用複合サニタリーユニットの部材及び部品の材質・形状並びに寸法等 (15.3.2(b)(2)) 〈 〉 ・住宅用浴室ユニットの製造所等 (15.3.3(b)(1)) 〈 〉 ・住宅用浴室ユニットの部材及び部品の材質・形状並びに寸法等 (15.3.3(b)(2)) 〈 〉 ・住宅用便所ユニットの製造所等 (15.3.4(b)(1)) 〈 〉 ・住宅用便所ユニットの部材及び部品の材質・形状並びに寸法等 (15.3.4(b)(2)) 〈 〉 ・トイレブースの構成材 (15.3.5(a)(1)) 〈 〉 ・トイレブースの形状、材質・取付方法等 (15.3.5(a)(2)) 〈 〉 	

■計画概要

工事名称	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事		
建築主	住所 庁064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目70番地 氏名 北海道森林管理局長		
敷地概要	地名地番 阿寒郡鶴居村鶴居西4丁目76-1の内 住居表示 敷地面積 635.99 m ² 都市計画区域 外 用途地域等 指定なし 防火地域 指定なし 法第22条区域：指定なし 指定建蔽率 指定なし 指定容積率 指定なし 高さ制限 指定なし 高度地区他 指定なし 日影規制 指定なし 道路 前面道路幅員 約18.00 m 接道長さ 15.879 m		

気象	積雪 1.00 m	凍結 1.0 m	基準風速V0: 30 m
地震	地震地域係数Z= 1.0	地震種別: II	
地盤	基礎形式: ベタ基礎	基礎底N値: 3	
	杭種:	先端N値:	

建築概要	建物用途	事務所	詰所	車庫1	車庫2
	工事の種類	新築	既存	既存	既存
	構造	木造	木造	LGS造	LGS造
	階数	平屋	平屋	平屋	平屋
	地盤面	BM+300			
	最高高さ (m)	7.20	2.70	2.70	2.70
	最高軒高さ (m)	3.25	2.70	2.70	2.70
	建築面積 (m ²)	59.54	13.74	18.08	12.00
	1階床面積 (m ²)	47.93	13.74	18.08	12.00
	2階床面積 (m ²)	47.93	13.74	18.08	12.00
	延べ面積 (m ²)	47.93	13.74	18.08	12.00

設備概要	給水	給水本管より	電気	北電・太陽光
	給温水	電気温水器より	暖房	電気 (エアコン)
	排水	公共下水道へ		
	ガス	なし		
	換気	第3種機械換気		
	防災	消火器		

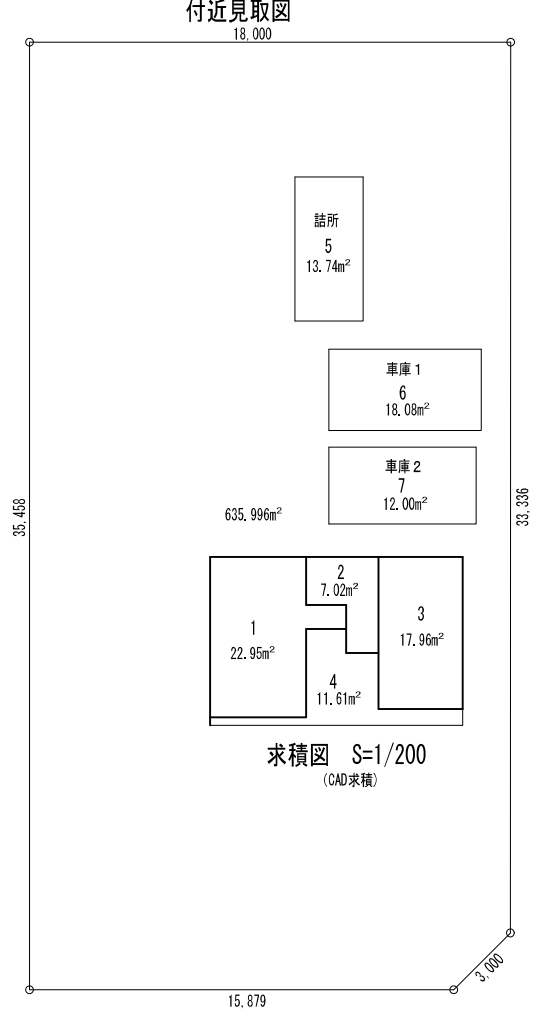
■面積表	用途地域	指定無し
	工種	新築
	棟	事務所
	敷地面積	1 635.99

建築面積	合計	635.99 m ²
	1	22.95 事務室
	2	7.02 倉庫
	3	17.96 車庫
	4	11.61 ポーチ
	5	13.74 詰所
	6	18.08 車庫1
	7	12.00 車庫2
	合計	103.36 m ²

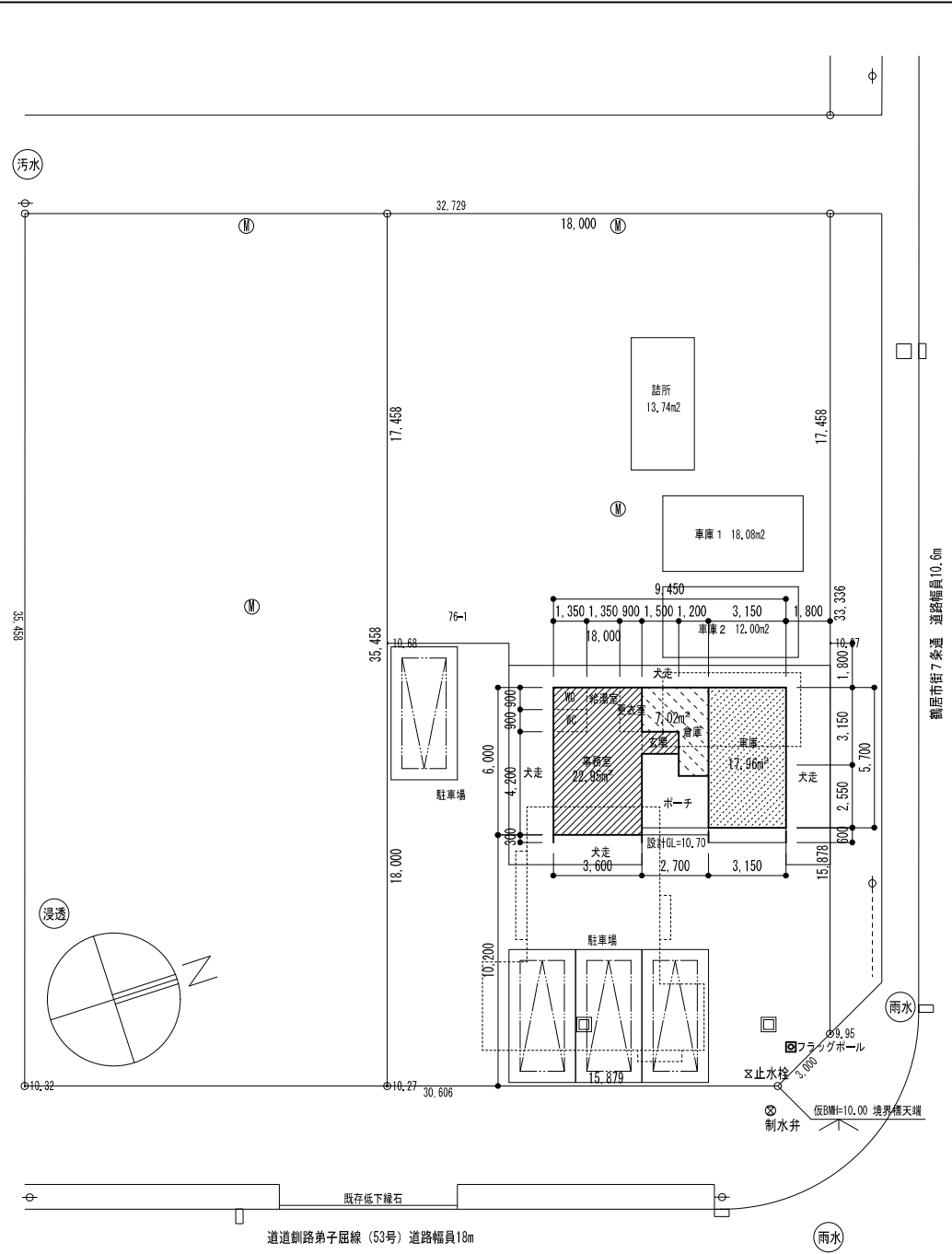
建蔽率	103.36 ÷ 635.99	16.25 %	≤ 指定なし %
1F床面積	1	22.95 事務室	
	2	7.02 倉庫	
	3	17.96 車庫	
	小計	47.93	
	5	13.74 詰所	
	6	18.08 車庫1	
	7	12.00 車庫2	
	小計	43.82	
2F床面積	計	91.75 m ²	

延床面積	合計	86.93 m ²	
容積対象面積	91.75 - 91.75 ÷ 5	73.40 m ²	
容積率	73.40 ÷ 635.99	11.54 %	≤ 指定なし %

備考	
----	--



敷地求積図 S=1/200 (CAD求積)



配置図 S=1/200

■外部仕上げ表

屋根	亜鉛アルミメッキカラー鋼板 t=0.4 長尺蟻掛葺 アスファルトルーフィング940 野地板CSP t=12
軒天	窯業系サイディング t=12 (有孔板共) 外部天井:CLT(カラマツ3層パネル) t=24 GS塗装(下張:CSP t=12)
外壁	窯業系サイディング t=16 (モエンエクセラード16 キャスティングウッド EPC246NK相当) (化粧柱:CLT現し GS塗装)
基礎	モルタル塗(刷毛引) t=2.5 ポーチ・エプロン:コンクリートコテ仕上
外部建具	断熱アルミ玄関扉 高断熱樹脂サッシ(複層ガラス) スチールシャッター
断熱材	基礎外周:FP(B-Ⅲ種) t=50 土間下:FP(B-Ⅱ種) t=50 外壁:壁GW(24K) t=100 天井GWブローイング(18K) t=300
外構	犬走り:化粧砂利 B種 t=60 駐車場:再生砕石路盤 t=300

■内部仕上げ表

階	室名	下地 RC:コンクリート S:鉄 W:木										備考
		床		巾木		壁		廻縁		天井		
		仕上	厚	仕上	高	仕上	厚	仕上	厚	仕上	厚	
	(事務所)	LC	20	WS/W	75	VC/PBJ	12.5	PVC	CLT	24		ポストロ、下駄箱
	玄関	RC		W		W		W				SUS上框
	事務所	FL	12	WS/W	75	VC/PBJ	12.5	PVC	CLT	90		
		RC		W		W		—				ブラインド
	給湯室	VSF	2	WS/W	75	VC/PBJ	12.5	PVC	SPB	9.5		キッチンセット、電気温水器、天井扇
		RC		W		W		W				
	更衣室	VSF	2	WS/W	75	VC/PBJ	12.5	PVC	SPB	9.5		
		RC		W		W		W				
	便所	VSF	2	WS/W	75	VC/PBJ	12.5	PVC	SPB	9.5		男女別
		RC		W		W		W				水洗、温水洗浄便座
	倉庫	LC	20	CM	150	PB	12.5	PVC	PB	9.5		天井点検口
		RC		RC		W		W				
	車庫	LC	20	—	250	PB	12.5	PVC	PB	9.5		
		RC		RC		W		W				

■設備概要

種類	設置場所	種別	検定番号等

■使用建築材料表

記号	建築材料	ホルムアルデヒド発散等級区分	不燃材等認定番号・その他
BSC	窯業系サイディング(軒裏)	規制対象外	45分準耐火構造QF045RS-9122 不燃MN-0523
BSP	窯業系サイディング(軒裏有孔)	規制対象外	30分準耐火構造QF030RS-0011
BSW	窯業系サイディング(壁)	規制対象外	防火構造PC030BE-9201 不燃QM-9049

SLM	セルフレベリングモルタル	規制対象外	
CM	モルタル(金コテ)	規制対象外	
LC	コンクリート直均し(金コテ)	規制対象外	
FL	複合フローリング(直貼)	(F☆☆☆☆)接着剤共	
TM	タタミ	規制対象外	
VSF	長尺塩ビシート	規制対象外	
VC	ビニルクロス	(F☆☆☆☆)接着剤共	準不燃QM-9440 防火種別2-2
PB	石膏ボード(平)	規制対象外	準不燃QM-9828 不燃 NM-8619 GB-R
PBJ	石膏ボード(テーパ)	規制対象外	不燃 NM-8619 GB-R
SPB	化粧石膏ボード(トラバーチン・木目)	規制対象外	準不燃QM-9824 GB-D
PVC	塩ビ巾木・廻縁	規制対象外	
SB	合板(シナ)	(F☆☆☆☆)	
IB	インシュレーションボード	(F☆☆☆☆)	
CSP	針葉樹構造用合板	(F☆☆☆☆)	
FB	フレキシブルボード(カラー)	規制対象外	不燃NM-8577

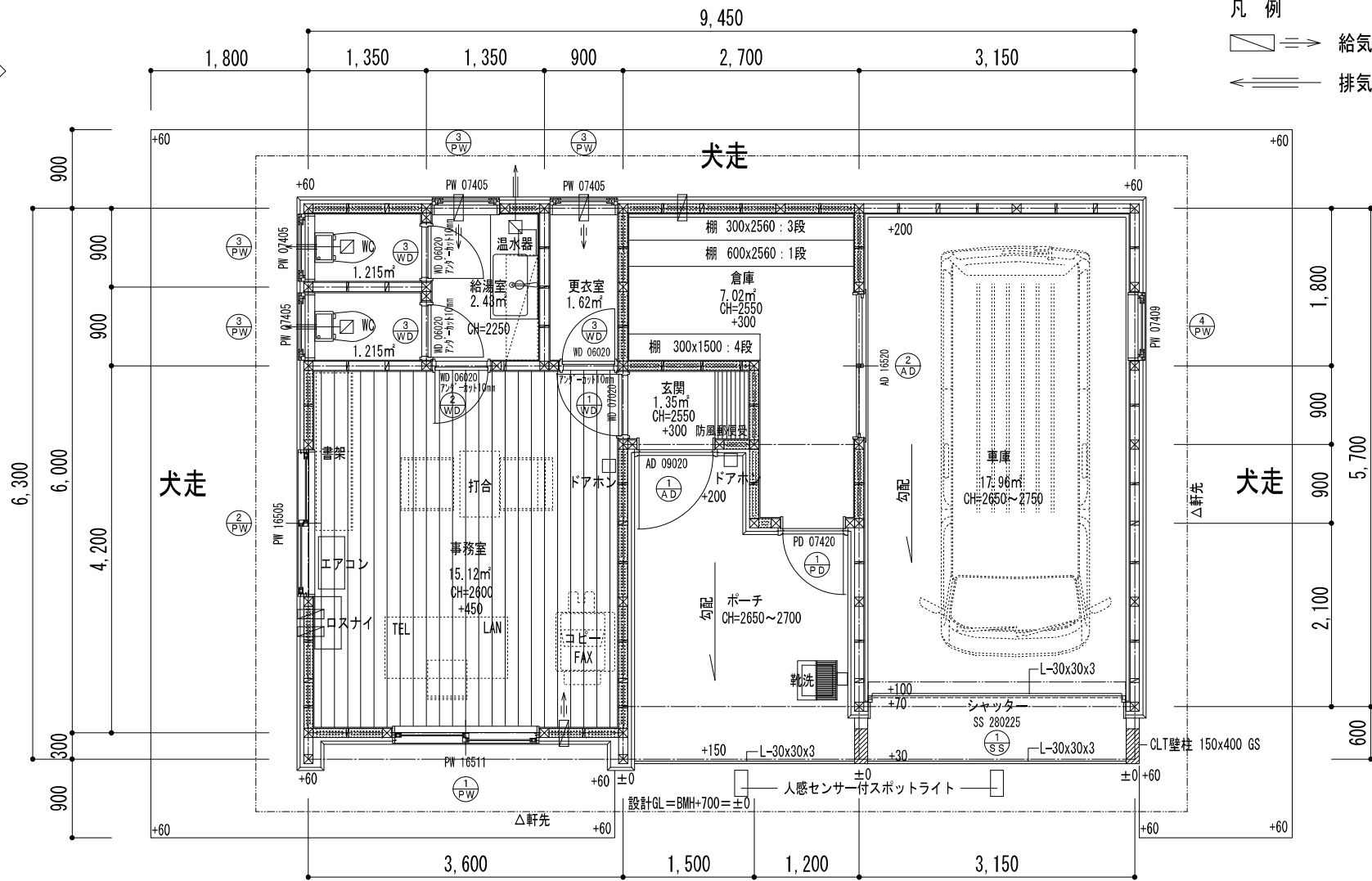
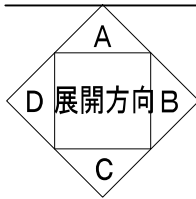
GW	ガラスウール	(F☆☆☆☆)	
FP	押出法ポリスチレンフォーム	規制対象外	

SOP	合成樹脂調合ペイント	(F☆☆☆☆)	
WEP	水系合成樹脂エマルジョンペイント	(F☆☆☆☆)	
OS	オイルステイン	(F☆☆☆☆)	
WS	ワックス	(F☆☆☆☆)	
GS	木材保護着色剤	(F☆☆☆☆)	

CLT	直交集成板	(F☆☆☆☆)接着剤共	
GLT	集成材	(F☆☆☆☆)接着剤共	
	内部建具	(F☆☆☆☆)接着剤共	
	什器	(F☆☆☆☆)接着剤共	キッチン、下駄箱

■ホルムアルデヒドの発散による衛生上の支障がないようにするための構造

換気設備	機械換気設備(第3種換気)
換気回数	その他の居室:0.3回/時以上
居室出入口の通気措置	ドアのアンダーカット1cm、引戸
機械換気最終設置場所	事務所:給湯室・便所



凡例
 給気口：レジスター KS-V20R
 排気機

1 F 平面図 S=1/50

事務所 22.950m²
 倉庫 7.020m²
 車庫 17.955m²
 計 47.925m²

法定算定表

階	室名	寸法 (m)	床面積 合計 (m ²)	サッシ番号	窓面積		窓面積 (m ²)	採光				換気			排煙			
					W 1	H 1		補正 係数	採光 面積 (m ²)	必要採光面積		判定	有効 開口 (m ²)	床面積 × 1/20 (m ²)	判定	有効 開口 (m ²)	床面積 × 1/50 (m ²)	判定
										床面積 × 1/7 (m ²)	床面積 × 1/20 (m ²)							
1階	事務室	3.600 × 4.200 =	15.12	PW-1	1.650	1.100	1.81	1.00	1.81	-	0.76	OK	H1. 10 × W0. 825 = 0. 91	0. 76	OK	H0. 40 × W0. 825 = 0. 33	0. 30	OK
				PW-2	1.650	500	0. 82	1.00	0. 82						H0. 50 × W0. 825 = 0. 41			H0. 20 × W0. 825 = 0. 17

備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

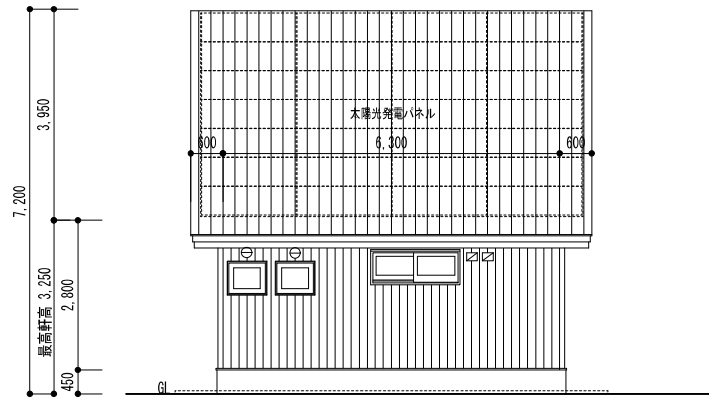
1級建築士
 建設大臣登録 177664号
 若本 隆志

工事名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
 図面名 平面図

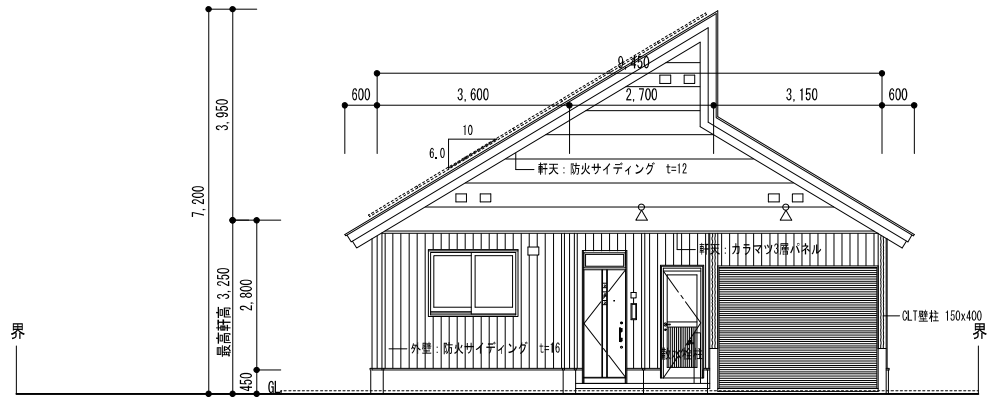
図番 TU-PLN1
 縮尺 1/50
 年月日 R04.09.30

承認
 担当

意匠
 07

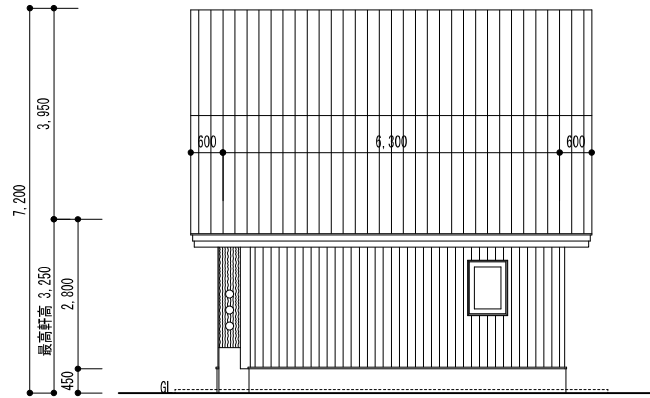


南立面図 S=1/100

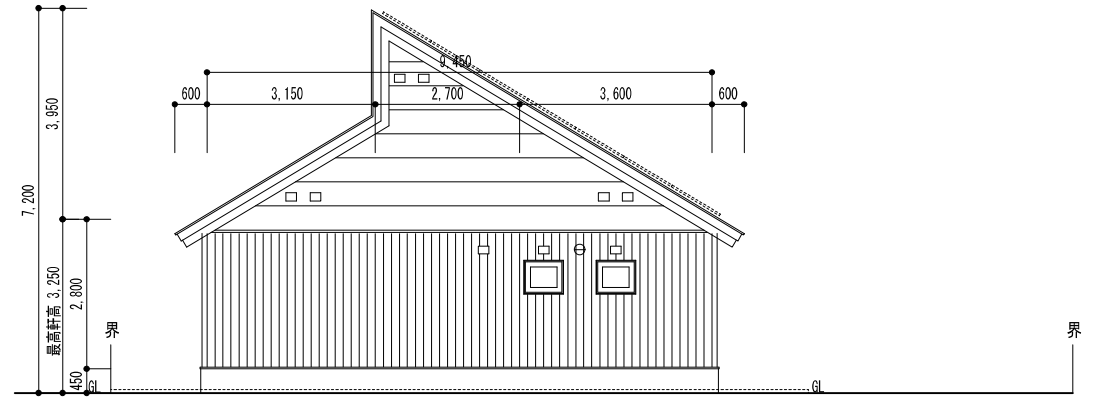


東立面図 S=1/100

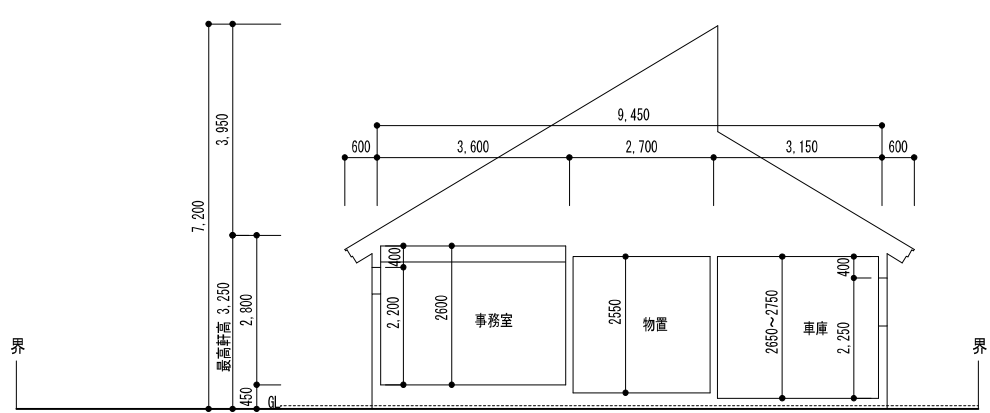
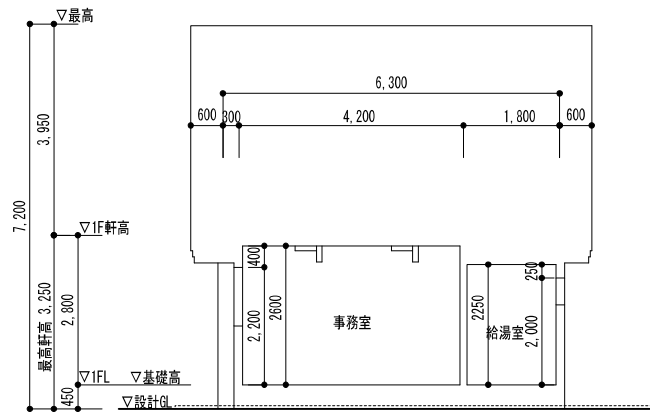
- 換気シャワーフード
- ⊖ 排気フード
- ☒ 空調換気扇吸排気フード
- 小屋裏換気フード



北立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100



備考



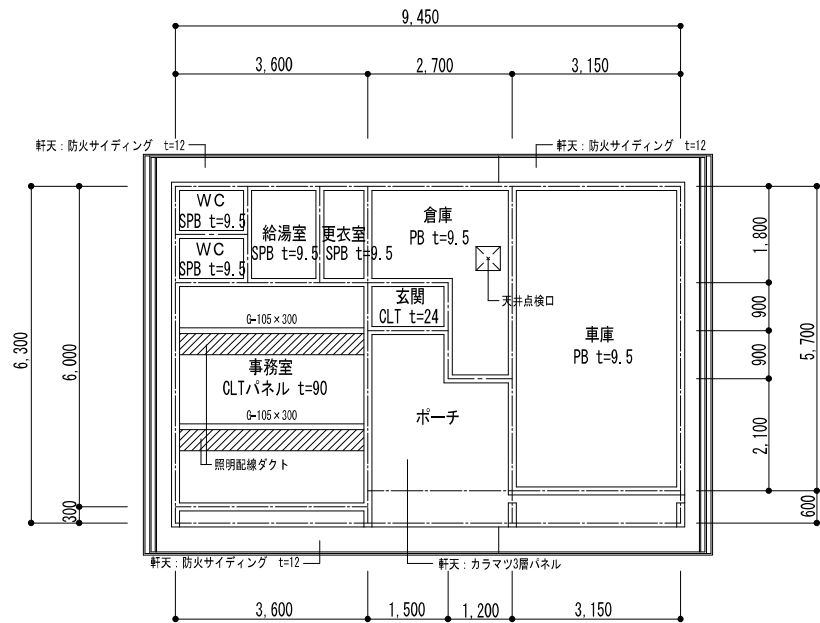
1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

1級建築士
建設大臣登録 177664号
若本 隆志

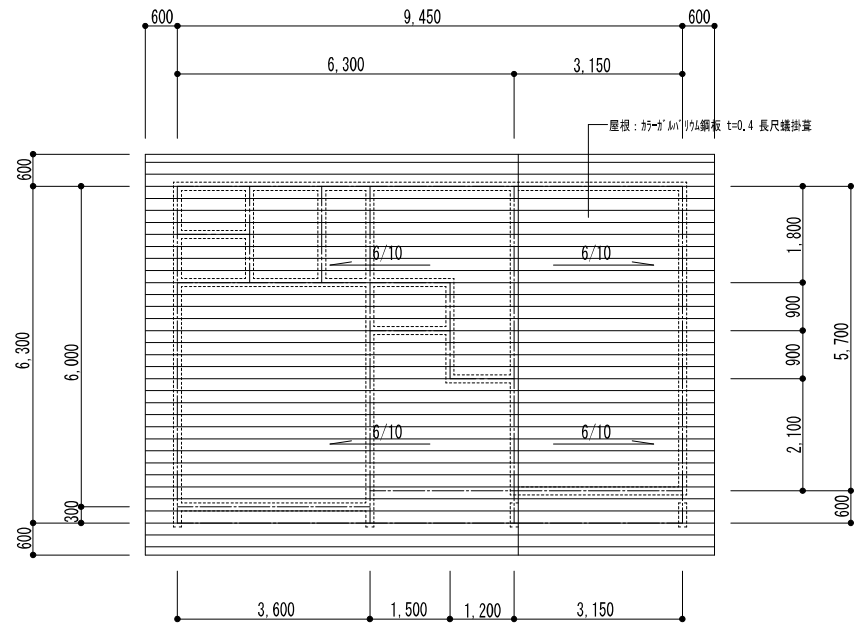
工事名	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
図面名	立面図・断面図

図番	TU-ELV
縮尺	1/100
年月日	R04.09.30

承認	担当	意匠
		08



天井伏図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100

備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

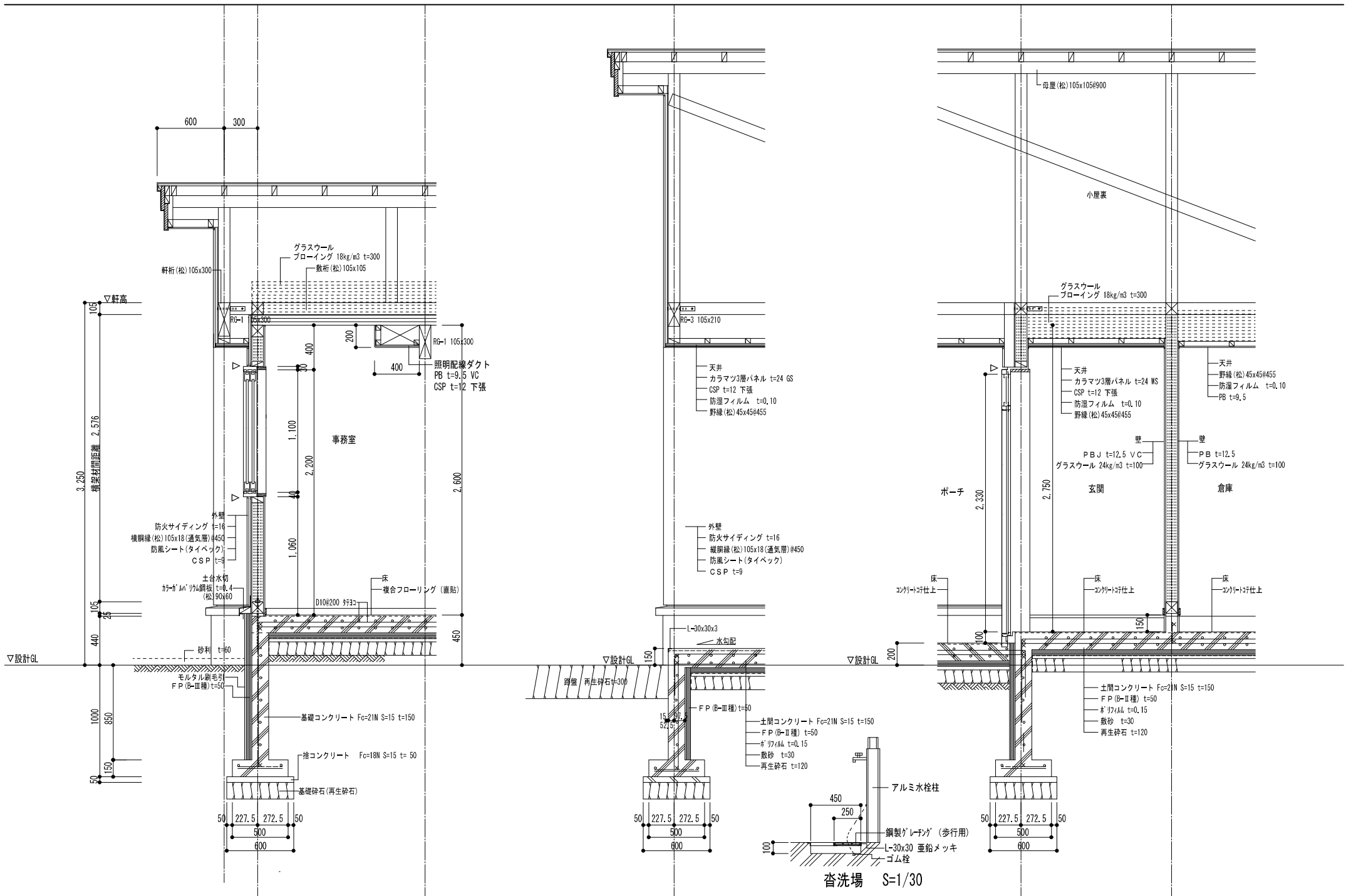
1級建築士
建設大臣登録 177664号
若本 隆志

工事名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
図面名 天井伏図・屋根伏図

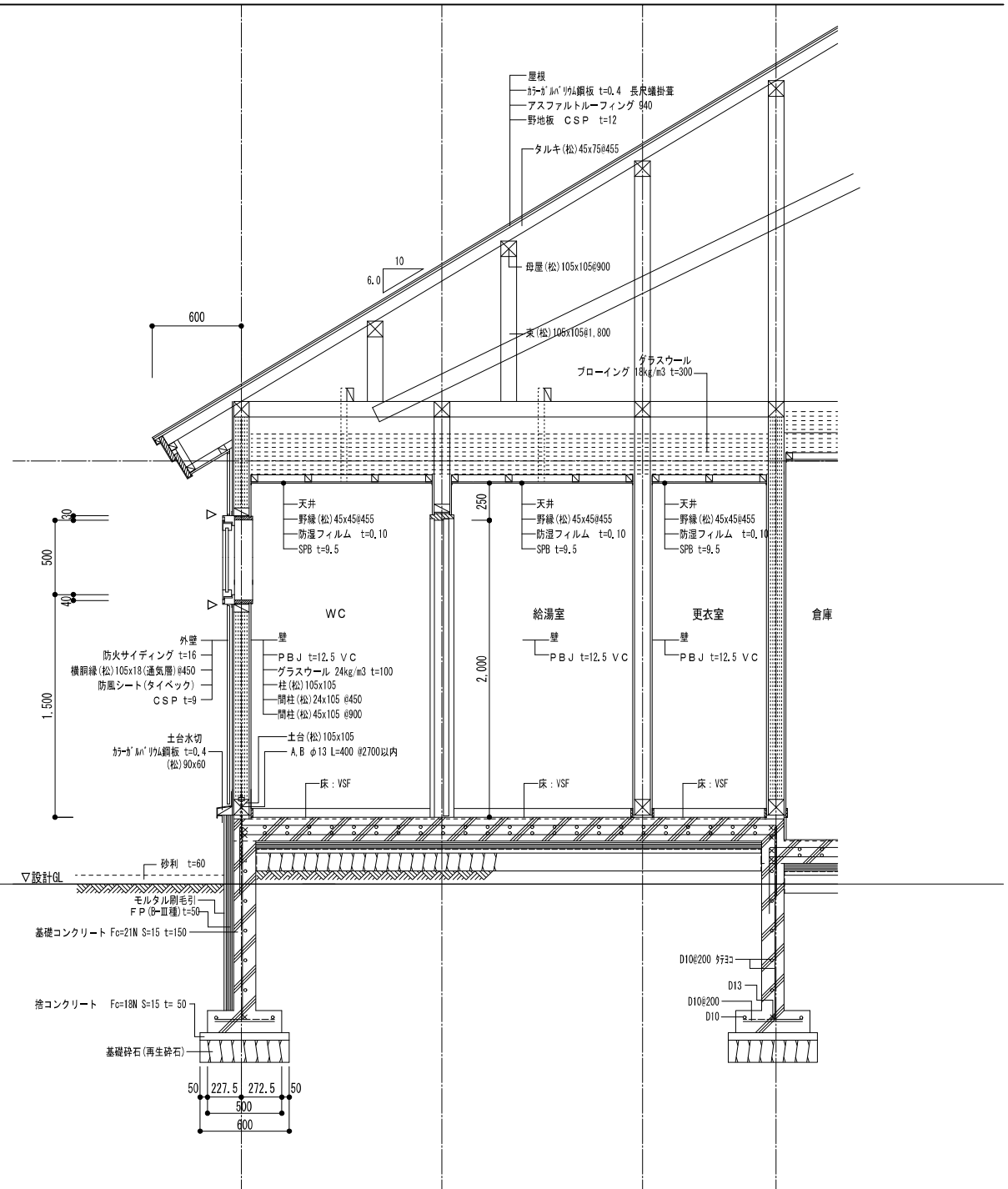
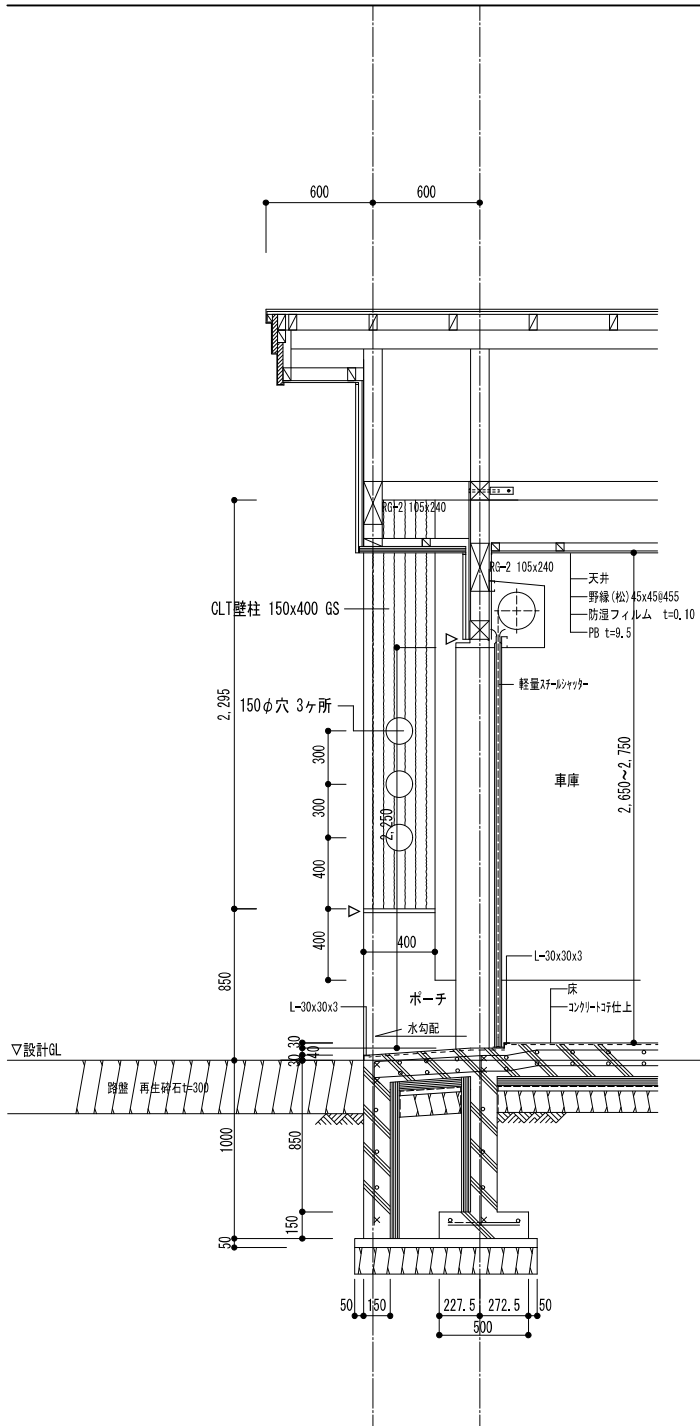
図番 TU-FUS
縮尺 1/50
年月日 R04.09.30

承認
担当

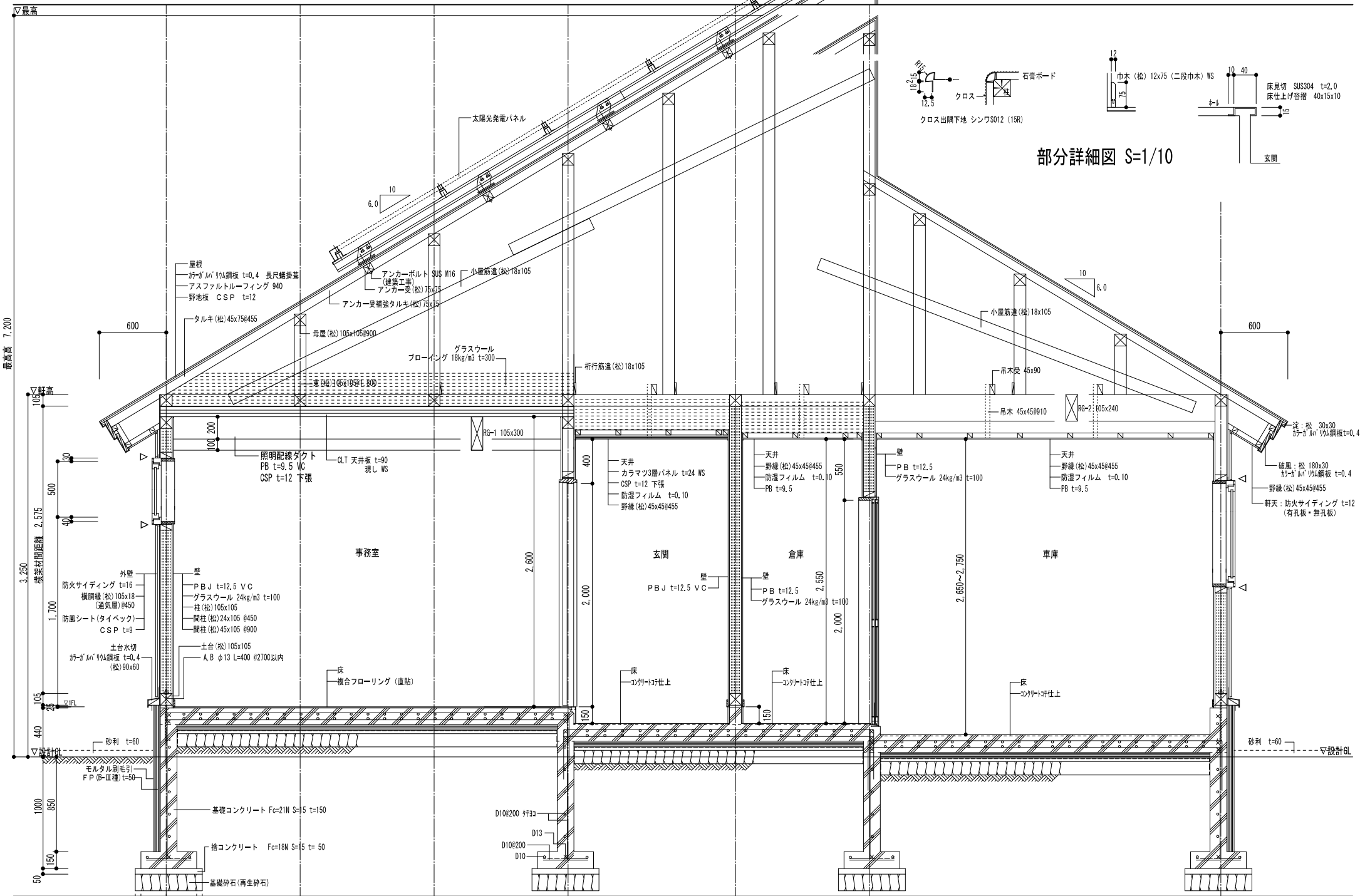
意匠
09



備考	 1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号 チカラ総合設計株式会社	1級建築士 建設大臣登録 177664号 若本 隆志	工事名	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事設計業務	図番	TU-K1A1	承認	意匠
			図面名	矩計図-1	縮尺	1/30	担当	
			年月日	R04.09.30				



備考	 1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号 チカラ総合設計株式会社	1級建築士 建設大臣登録 177664号 若本 隆志	工事名	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事設計業務	図番	TU-KNA2	承認	意匠
			図面名	矩計図-2	縮尺	1/30	年月日	



部分詳細図 S=1/10

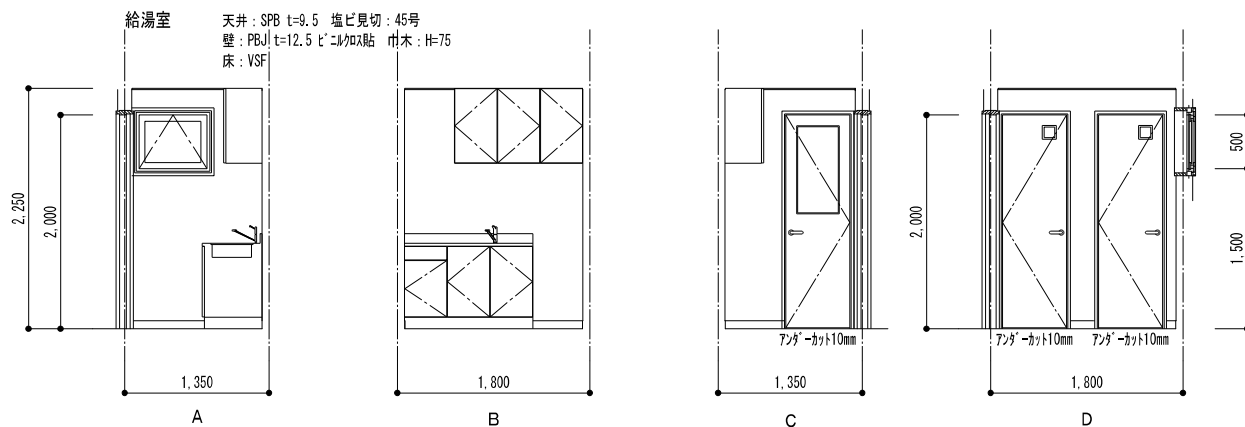
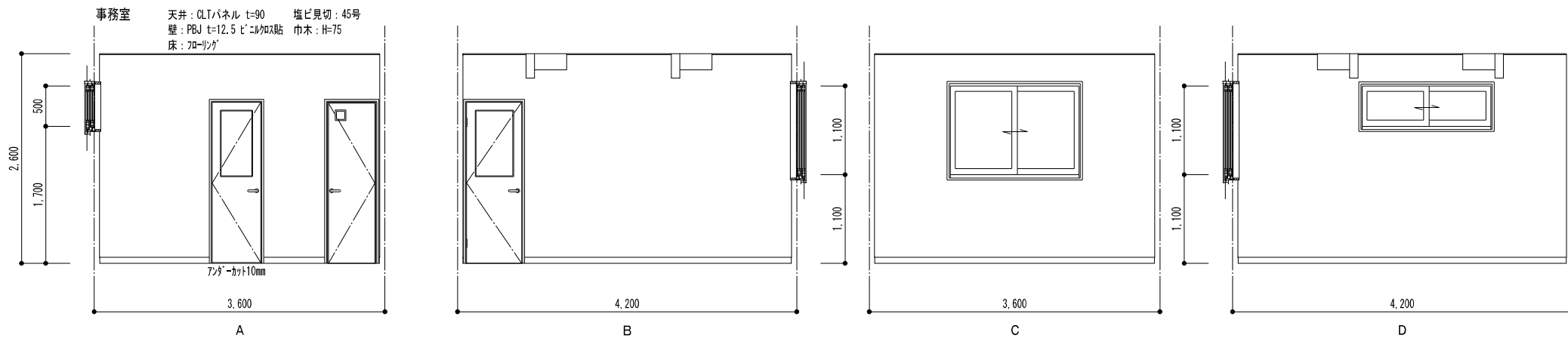
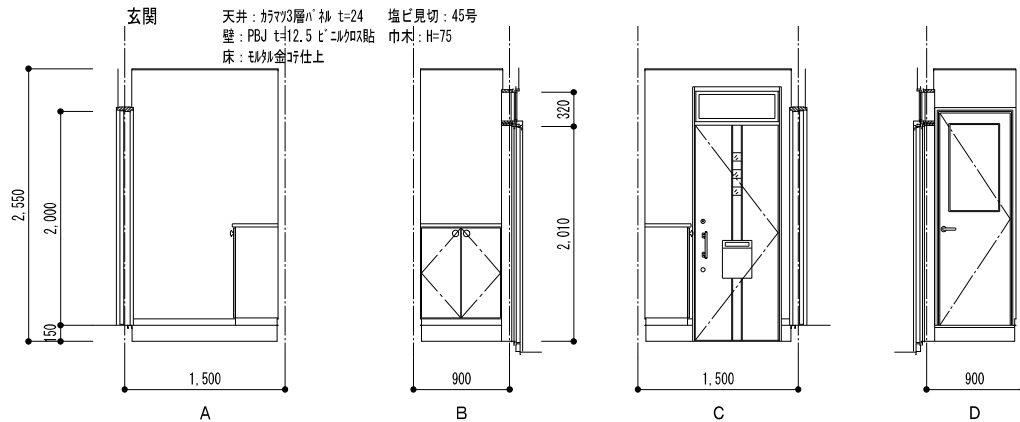
備考	50	227.5	272.5	150
		500		600

1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

1級建築士
 建設大臣登録 177664号
 若本 隆志

工事名	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事設計業務
図面名	矩計図-3

図番	TU-KMA3	承認	
縮尺	1/30	担当	
年月日	R04.09.30		
			意匠 12



機器の取付高さは図示のほか下記を標準とする。

記号	名称	取付高(mm)
●	スイッチ	1,150
Ⓧ	コンセント	300
Ⓧ	TV用ジャック	300
●	TEL用パネル	300

☑ リモコンローラー 1,350
 ※取付高は、FL~中心までの距離

備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

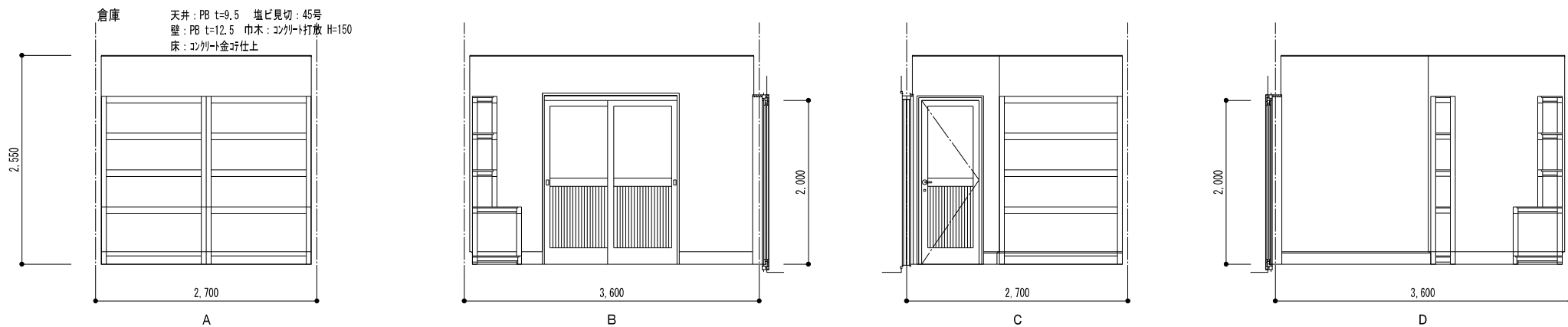
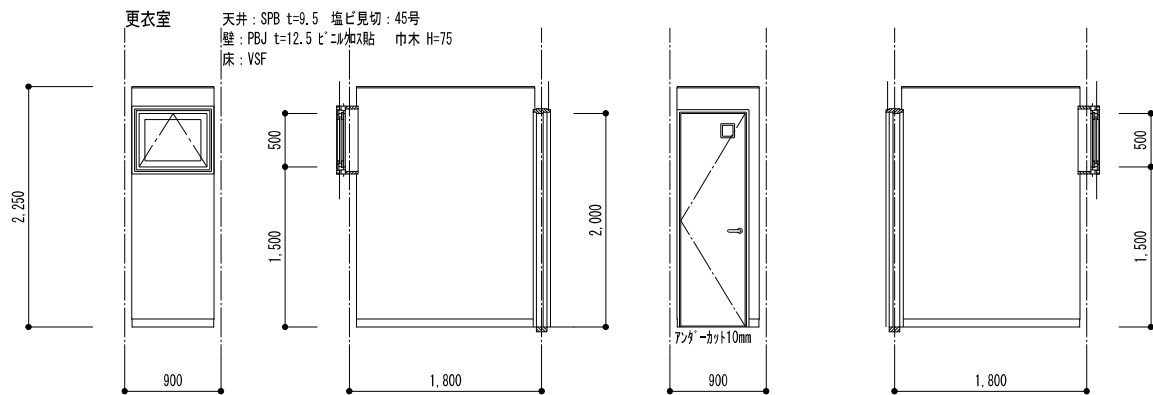
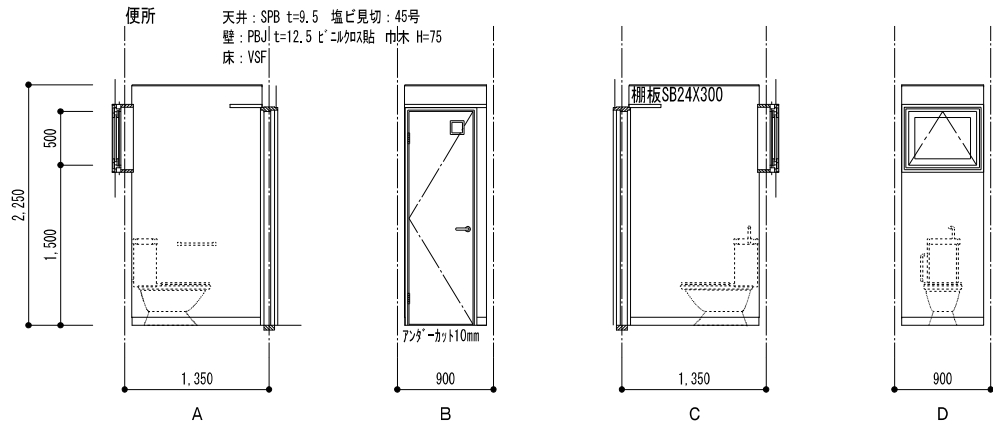
1級建築士
 建設大臣登録 177664号
 若本 隆志


工事名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
 図面名 展開図-1

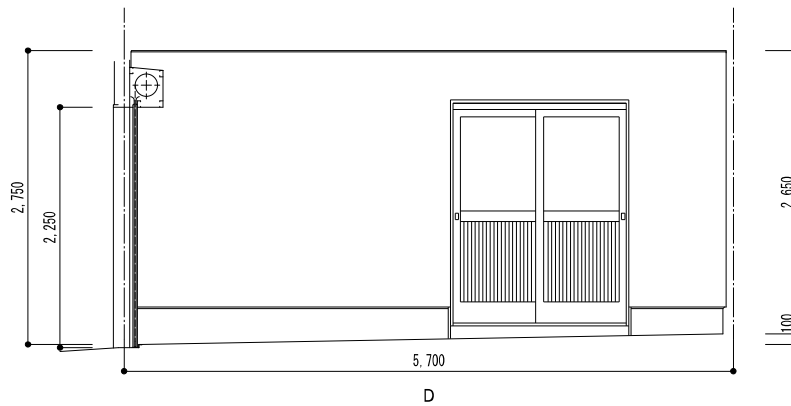
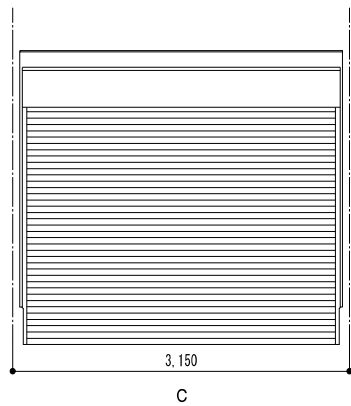
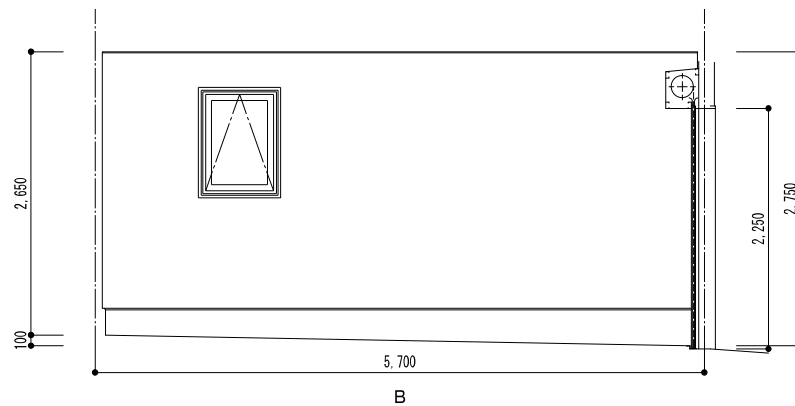
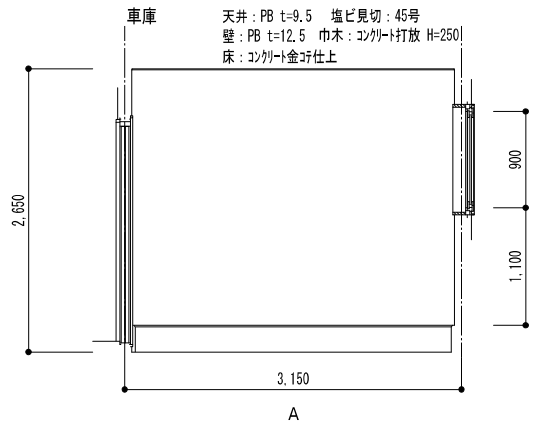
図番 TU-DEV1
 縮尺 1/50
 年月日 R04.09.30

承認
 担当

意匠
 13



備考	 1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号 チカラ総合設計株式会社	1級建築士 建設大臣登録 177664号 若本 隆志	工事名	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事	図番	TU-DEV2	承認	意匠	
			図面名	展開図一2	縮尺	1/50	担当		14
			年月日	RC4.09.30					



備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

1級建築士
 建設大臣登録 177664号
 若本 隆志

工事名	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
図面名	展開図-3

図番	TU-DEV3
縮尺	1/50
年月日	R04.09.30

承認	
担当	

意匠	15
----	----

記号・室名・数量	PW-1 事務室 1ヶ所	PW-2 事務室 1ヶ所	PW-3 更衣室・便所・給湯室 4ヶ所	PW-4 車庫 1ヶ所	PD-1 倉庫 1ヶ所
図					
形式・見込	引違い樹脂製窓 (半外付)	引違い樹脂製窓 (半外付)	横じり出し樹脂製窓	横じり出し樹脂製窓	片開戸
材質・仕上	プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチック
ガラス	PG P3+A12+P3 Low-e	PG P3+A12+P3 Low-e	PG F4+A12+P3 Low-e	PG F4+A12+P3 Low-e	PG F4+A12+P3 Low-e
金物	レバーハンドル他一式	レバーハンドル他一式	レバーハンドル他一式	レバーハンドル他一式	レバーハンドル他一式 本錠錠付
備考	16511 網戸	16509 網戸	07405 網戸	07409 網戸	07420

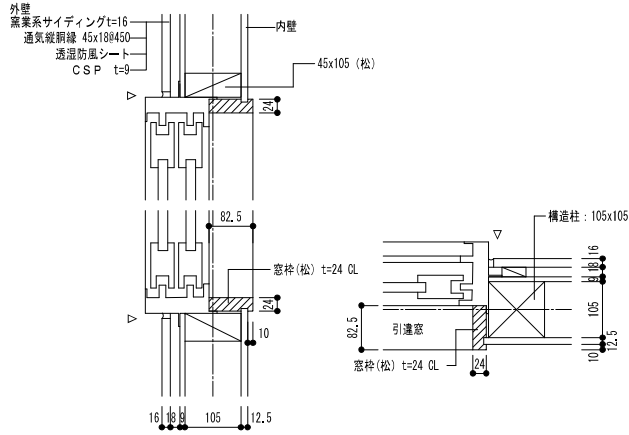
記号・室名・数量	MD-1 事務室 1ヶ所	MD-2 給湯室 1ヶ所	MD-3 便所・更衣室 3ヶ所
図			
形式・見込	片開フラッシュ戸	片開フラッシュ戸	片開フラッシュ戸
材質・仕上	プリント合板 t=4	プリント合板 t=4	プリント合板 t=4
ガラス	P3	F4	F4
金物	丁番: SUS レバーハンドル空錠	丁番: SUS レバーハンドル空錠	丁番: SUS 表示付きレバーハンドル 小窓付
備考			

記号・室名・数量	AD-1 玄関 1ヶ所	AD-2 倉庫 1ヶ所	SS-1 車庫 1ヶ所	
図				<p>ガラス</p> <ul style="list-style-type: none"> P : フロート板ガラス F : 型板ガラス PS : スリ板ガラス N : 網入型板ガラス W : 網入型板ガラス NP : 網入磨板ガラス WP : 網入磨板ガラス L : 合わせガラス T : 強化ガラス <p>塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> OP : 合成樹脂調合ペイント EP : 合成樹脂エマルジョンペイント VE : 塩化ビニル樹脂エマルペイント OS : オイルステン塗 CL : クリアラッカー塗 UC : ウレタン樹脂ニス塗 GS : 木材保護着色剤塗 <p>PG : 複層 A : 空気層 AR : アルゴンガス</p> <p>特記以外の金物はステンレスとする。</p>
形式・見込	片開ド7	引違いフラッシュ戸	軽量バランスシャッター	
材質・仕上	7&S	アルミパネル	スチール	
ガラス	PG F4+A12+M6.8 Low-e	F4		
金物	付属品1式	引手: SUS 錠錠: SUS	錠 その他付属品	
備考	1574 7&S用断熱玄関ド7-VX2-72型(k2) 同等品	※ポスト付		

樹脂製建具詳細図 (PW-1・PW-2) S=1/10

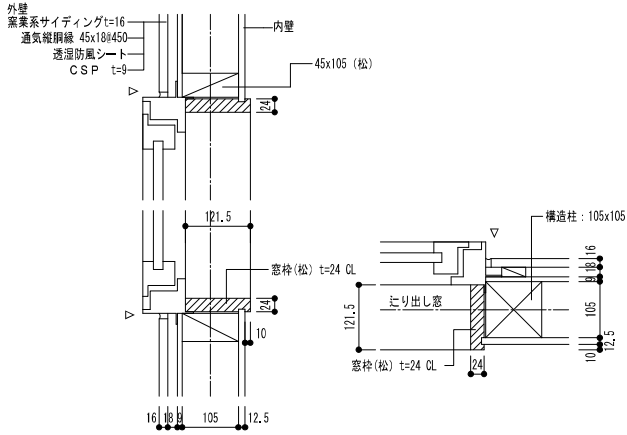
樹脂製建具詳細図 (PW-3・PW-4) S=1/10

倉庫造作タル木棚 (300-600×2560) S=1/50



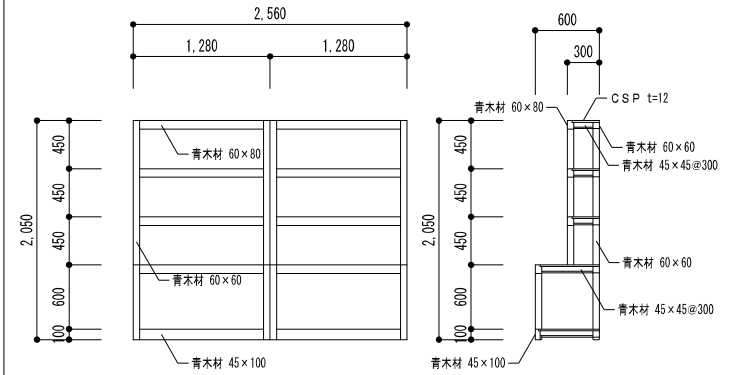
断面図

平面図



断面図

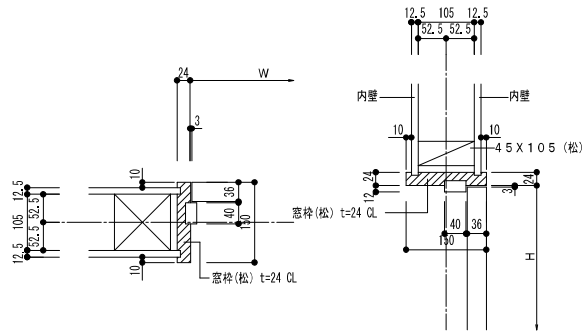
平面図



木製建具枠詳細図 (開き戸) S=1/10

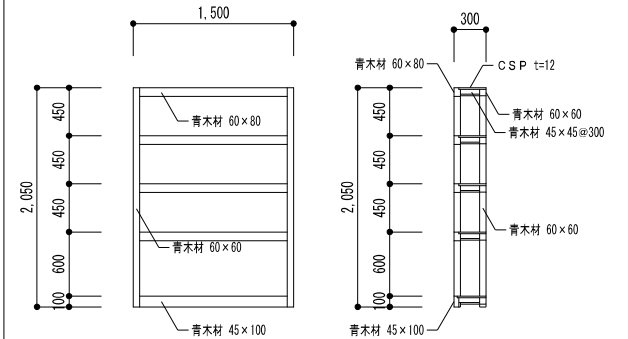
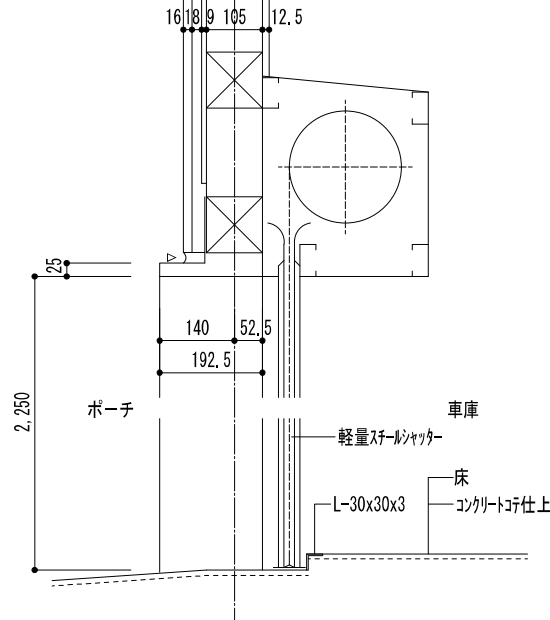
シャッター詳細図 (SS-1) S=1/10

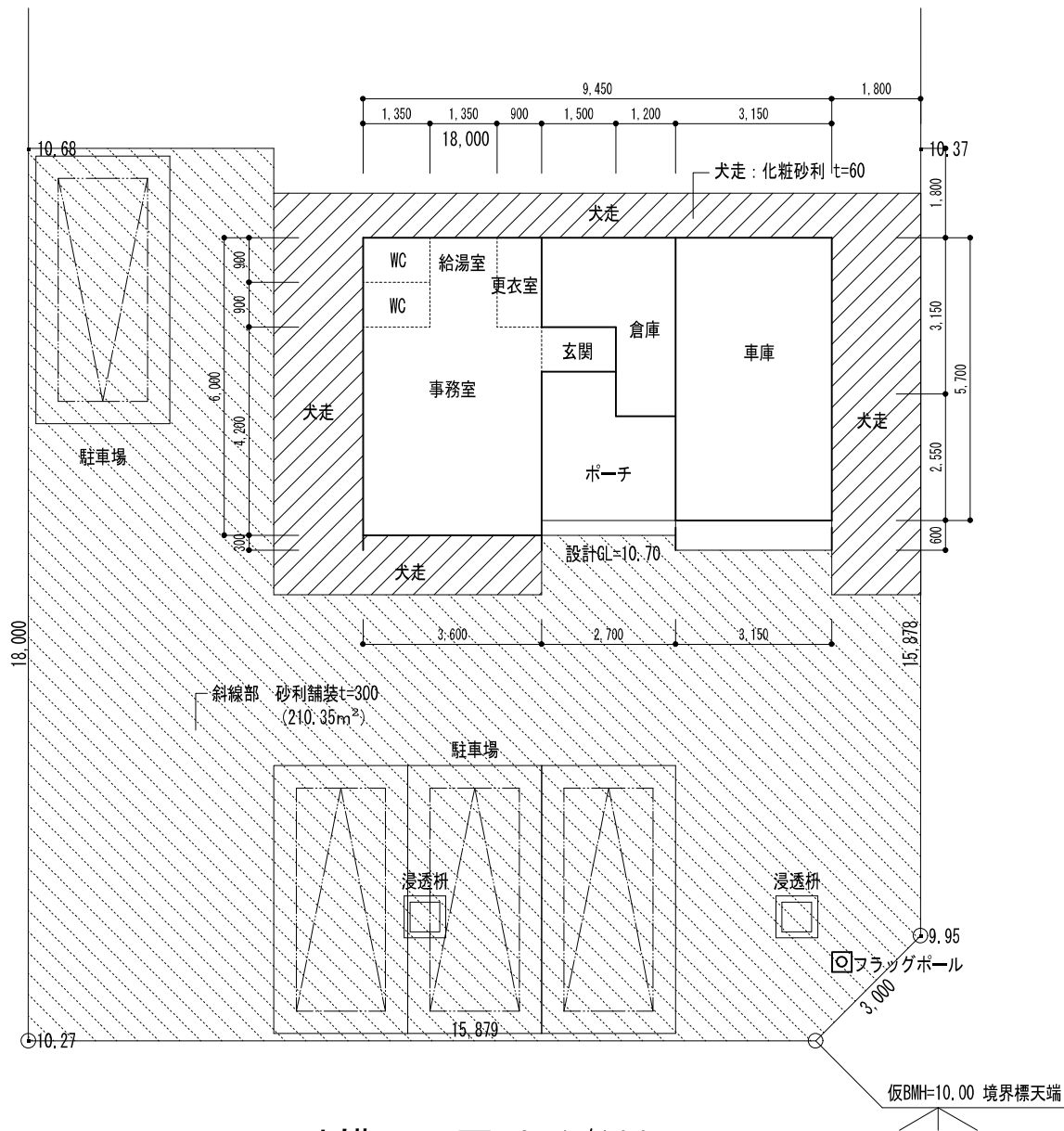
倉庫造作タル木棚 (300×1500) S=1/50



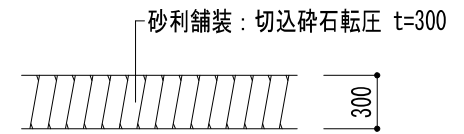
平面図

断面図

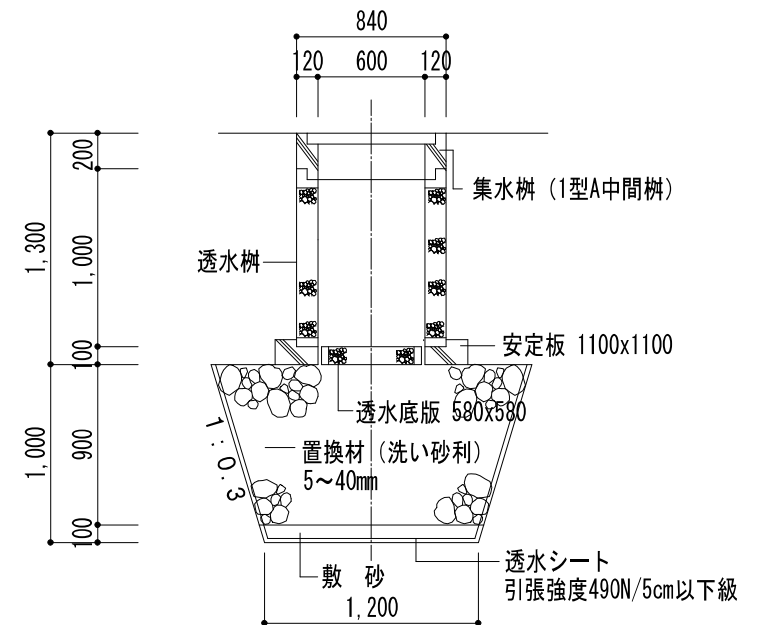




外構平面図 S=1/100



砂利舗装詳細図 S=1/30



雨水浸透枮詳細図 S=1/30

備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

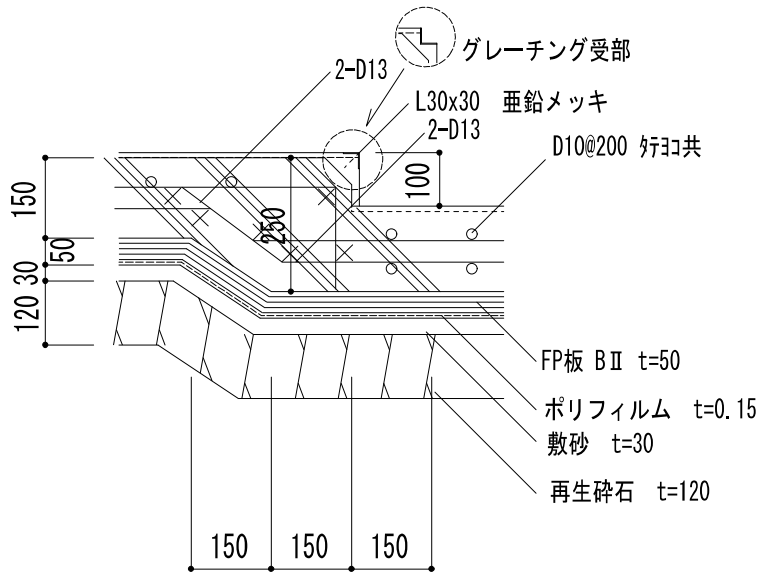
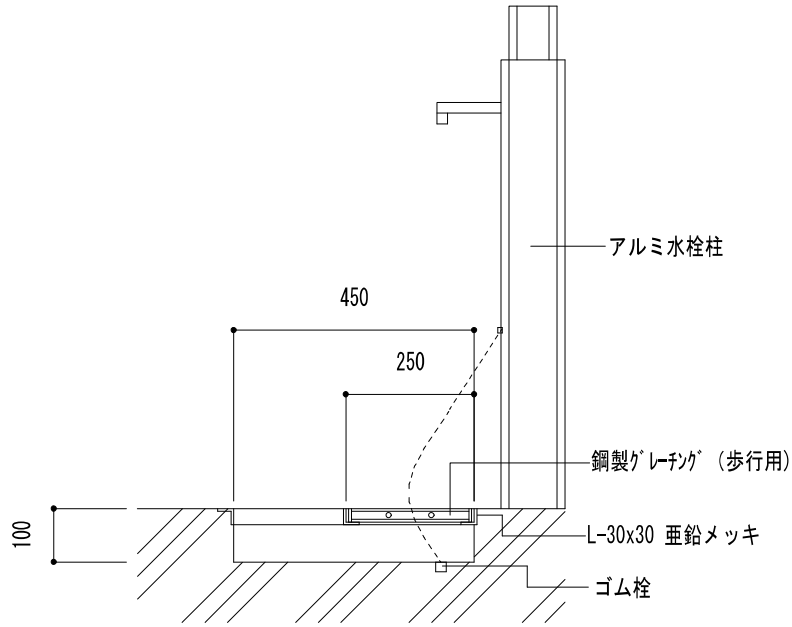
1級建築士
建設大臣登録 177664号
若本 隆志

工事名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事設計業務
図面名 外構図-1

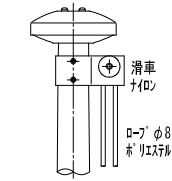
図番 TU-GPLN1
縮尺 図示
年月日 R04.09.30

承認
担当

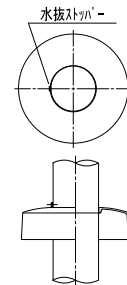
外構
01



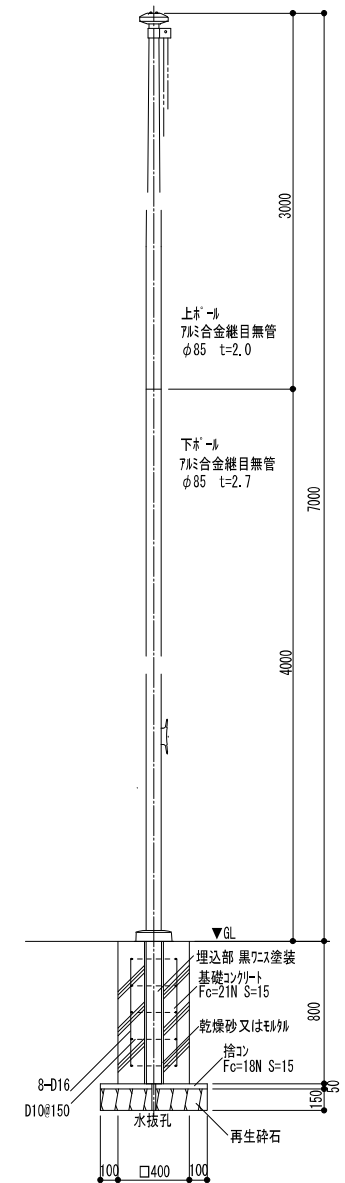
※アングルは使用グレーチングの形状に合わせる。



冠頭部詳細図
S=1/10



グラウンドセット詳細図
S=1/10



5.1 一般事項

1.1 適用範囲

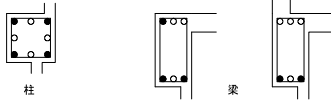
- a) 本規準は木造建築物の基礎に適用する。
- b) 本規準は一般的な事例について記載してあるもので特殊な場合は設計図及び監督員の指示による。

1.2 鉄筋の表示記号

異型鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	●	×	◇	●	○	◎	⊗	⊙
	SD295A				SD345			

1.3 鉄筋の加工、組立

- a) 鉄筋は設計図書に指定された寸法及び形状に合わせて常温で切断、加工する。
- b) 鉄筋の径 (d) は、呼び名に用いた数値 (mm) とする。
- c) 有害な曲がり、あるいは損傷のある鉄筋は使用しない。
- d) 切断は、シアカッター又は電動切断砥石を使用する。
- e) 柱、大梁の主筋 (D19以上) は、ガス圧接とする。
- f) 鉄筋の溶接は、アーク溶接とし、有資格者が行うとする。
- g) 異型鉄筋の末端部には下記の場合フックをつける。
 - 1) 柱の四隅の主筋 (●印) で最上階の柱頭にある場合。
 - 2) 梁主筋の重ね継手や梁の出隅及び下側にある場合 (●印) 但し、地中梁は除く。



- h) 加工形状 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事標準仕様書 最新版による。
- i) 加工寸法の許容差 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事標準仕様書 最新版による。

1.4 鉄筋のかぶり厚さ、間隔

a) 鉄筋のかぶり厚さ

部分	部位	かぶり厚さ (mm)	
		屋内	屋外
土に接しない	屋根、床スラブ	30	40
	非耐力壁	30	40
	柱、梁	40	40
土に接する部分	耐力壁	40	40
	擁壁	40	40
	床スラブ、耐力壁、柱、梁	40	40
	基礎、擁壁、耐力版	60	60
	煙突	60	60

- 1) かぶり厚さには、捨てコンクリートは含まない。
- 2) 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。

b) 鉄筋の間隔、あき

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事標準仕様書 最新版による

1.5 定着及び継手

a) 定着及び継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリート設計基準強度 N/mm ²	重ね継手の長さ (L1)	定着の長さ (L3)		
			一般 (L2)	小梁	屋根、床スラブ
SD 295A	18 以下	45d (35d)	40d (30d)	25d	10d かつ 150mm
SD 345	21~27	40d (30d)	35d (25d)	(15d)	
	30 以上	35d (25d)	30d (20d)		

- 1) () 内の数値はフック付の場合。
- 2) 重ね・定着長さは直線とする。
- 3) 末端のフックは定着長さに含まない。
- 4) 径の異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い方の d を使用する。
- 5) 耐力版の下端筋の定着長さは L2 とする。
- 6) 大梁及び柱主筋は圧接とする。

b) 隣り合う継手の位置及び鉄筋の間隔

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事標準仕様書最新版による。

c) 溶接金網の継手長さ ひび割れ防止 (後打ちコンクリート)



1.6 スペースー

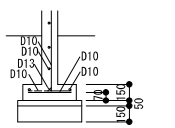
部位	スラブ	梁	柱
種類	鋼製、コンクリート製		
数量配置	上端筋、下端筋 1.3 個 / m ²	間隔 1.5m 程度 端部 1.5m 以内	上段は梁下より 0.5m程度 中段は柱の中間 柱巾方向 1mまで2個 1m以上3個
備考	側梁以外の梁は上又は下に配置。側梁は側面にも配置。		
部位	基礎	地中梁	壁、地下外壁
種類	鋼製、コンクリート製		
数量配置	面積 4m ² 程度 1.6m ² 程度 2.0 個	間隔 1.5m 程度 端部 1.5m 以内	上段梁下より 0.5m程度 中段上段より 1.5m間隔 横間隔は 1.5m程度 端部は 1.5m以内
備考	上又は下と側面に設置		

梁、柱、地中梁、壁、地下外壁のスペースーはプラスチック製でもよい。

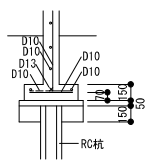
5.2 基礎

2.1 布基礎

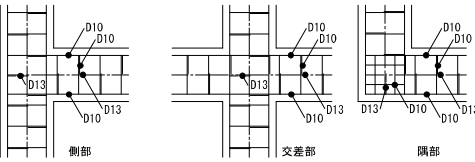
a) 直接基礎



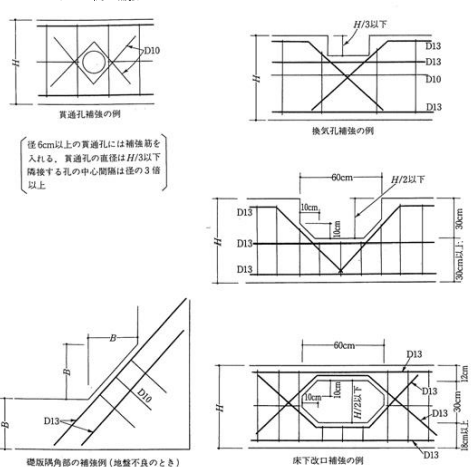
b) 杭基礎 (杭状地盤補強)



2.2 基礎底版 ベース筋の配筋



2.3 スラブ・開口補強



鉄筋工事

鉄筋 ○SD295A SD345 SD390 SR235 ○JIS G 3112

溶接金網

○JIS G 3551

ガス圧接試験

引張り試験 ・D19以上の主筋 ・JIS Z 3062

超音波探傷試験

・D19以上の主筋 ・JIS Z 3120

梁貫通補強

- ・I・II型ウエブレング
- ・MAXウエブレング
- ・新SGリング
- ・新型ダイヤレンNS
- ・BCJ-C1533(変1)
- ・BCJ評定-R00097-03
- ・BCJ-C1612
- ・BCJ評定-R00124-02

コンクリート工事

- レディーミックスコンクリート ○JIS A 5308
- ポルトランドセメント ○JIS R 5210
- 砂利、砂 ○JIS A 5308 砂利25mm以下
- 水 ○JIS A 5308に合格した地下水
- 混和材 AE剤、AE減水剤 ○JIS A 6204

調合

- 単位水量の最大値 185kg/m³
- 単位セメント量の最小値 270kg/m³
- 水セメント比の最大値 65%
- 混和剤を用いた場合の所要空気量 4.5%
- 塩化物量 0.30kg/m³以下

供試体

- 採取方法 ○JIS A 1115
- 供試体の作成方法 ○JIS A 1132
- 養生方法 ○JIS A 1132

試験

- スラブ ○JIS A 1101
- 空気量 ○JIS A 1128
- 塩化物量 ○(財) 国土開発技術研究中心の技術評価による
- 圧縮試験 ○JIS A 1108

養生

- 打込み後5日間以上、コンクリート温度を2℃以上とする
- 打込み後5日間以上、湿潤を保つ

型枠の存置期間

- 普通ポルトランドセメントの場合 最小日数
- せき板 15℃以上 3日 圧縮強度 5N/mm²以上
- 5日 "
- 0℃以上 8日 "
- 支柱 (スラブ下) 15℃以上 17日
- 5℃以上 25日
- 0℃以上 28日
- 圧縮強度 12N/mm²以上且つ0.85Fc(設計基準強度)以上
- 支柱 (梁下) 28日 圧縮強度 設計基準強度以上

取外し方法

- 存置期間を過ぎた後、静かに取り外す。
- 取り外し後、検査・補修を行なう。 工事監督者の承認
- 仕上げがない箇所は錆止め塗料を塗付する。 ○JIS K 5621 B種

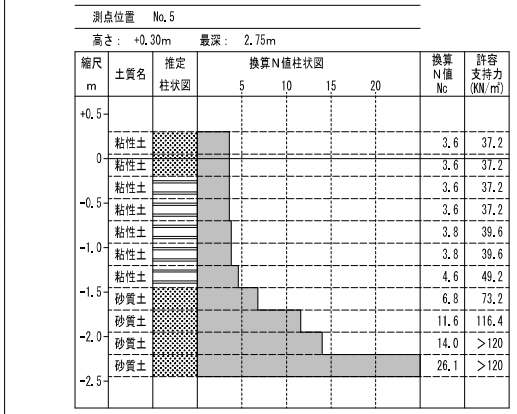
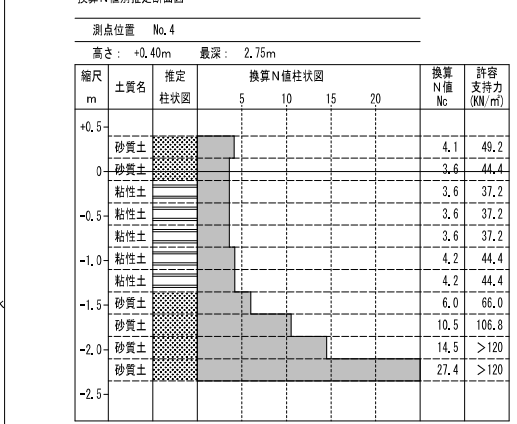
地業工事

杭工事

- 杭 材 ・
- 打設工法 ・

カ-メ-ン式カ-ゲ-ン試験

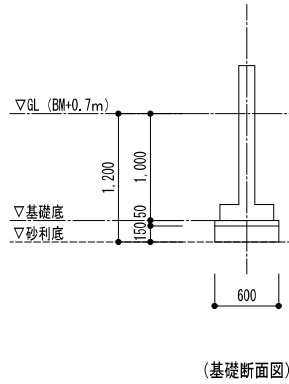
換算N値別推定断面図



鉄骨工事

- 材料 ・SS400 ・JIS G 3101
- ・軽量形鋼 ・JIS G 3350
- ・角パイプ ・JIS G 3466
- ・形パイプ高力ボルト ・国土交通大臣認定・MBLT-9007
- ・国土交通大臣認定・MBLT-0052
- ・ターンバックル ・JIS A 5540
- ・ターンバックル鋼 割替式 ・JIS A 5541
- ・ターンバックルボルト 羽子板ボルト ・JIS A 5542
- ・デッキプレート ・ALB12 ・JIS G 3352

換算N値別推定断面図

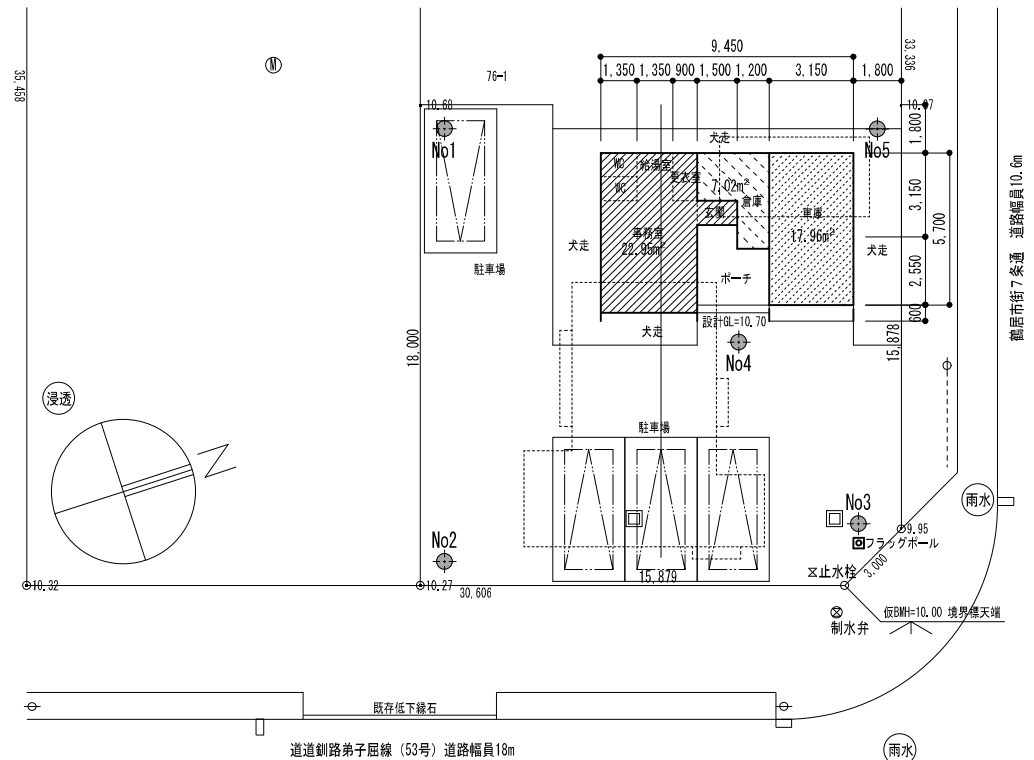


(基礎断面図)

測点位置 No.4								
高さ: +0.40m 最深: 2.75m								
縮尺 m	土質名	推定 柱状図	換算N値柱状図				換算 N値 Nc	許容 支持力 (KN/m ²)
			5	10	15	20		
+0.5	砂質土						4.1	49.2
	砂質土						3.6	44.4
0	粘性土						3.6	37.2
	粘性土						3.6	37.2
-0.5	粘性土						3.6	37.2
	粘性土						3.6	37.2
-1.0	粘性土						4.2	44.4
	粘性土						4.2	44.4
-1.5	砂質土						6.0	66.0
	砂質土						10.5	106.8
-2.0	砂質土						14.5	>120
	砂質土						27.4	>120
-2.5								

測点位置 No.5								
高さ: +0.30m 最深: 2.75m								
縮尺 m	土質名	推定 柱状図	換算N値柱状図				換算 N値 Nc	許容 支持力 (KN/m ²)
			5	10	15	20		
+0.5	粘性土						3.6	37.2
	粘性土						3.6	37.2
0	粘性土						3.6	37.2
	粘性土						3.6	37.2
-0.5	粘性土						3.8	39.6
	粘性土						3.8	39.6
-1.0	粘性土						4.6	49.2
	粘性土						6.8	73.2
-1.5	砂質土						11.6	116.4
	砂質土						14.0	>120
-2.0	砂質土						26.1	>120
	砂質土							
-2.5								

サウンディング試験調査位置 (5側点)



配置図 S=1/200

新設浸透枳

備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

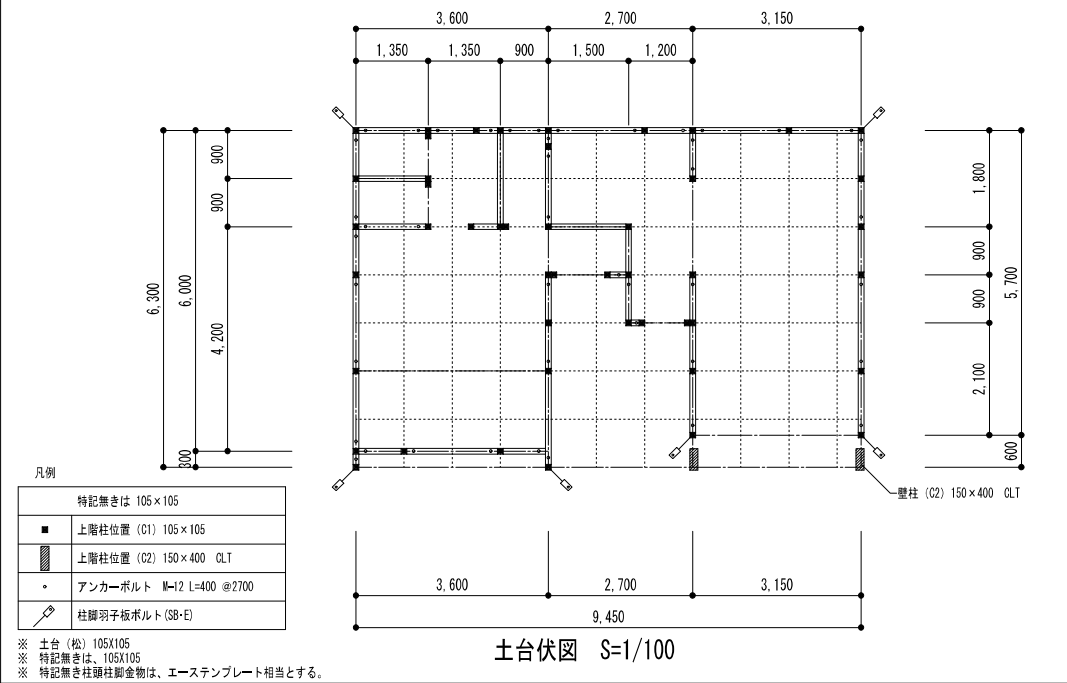
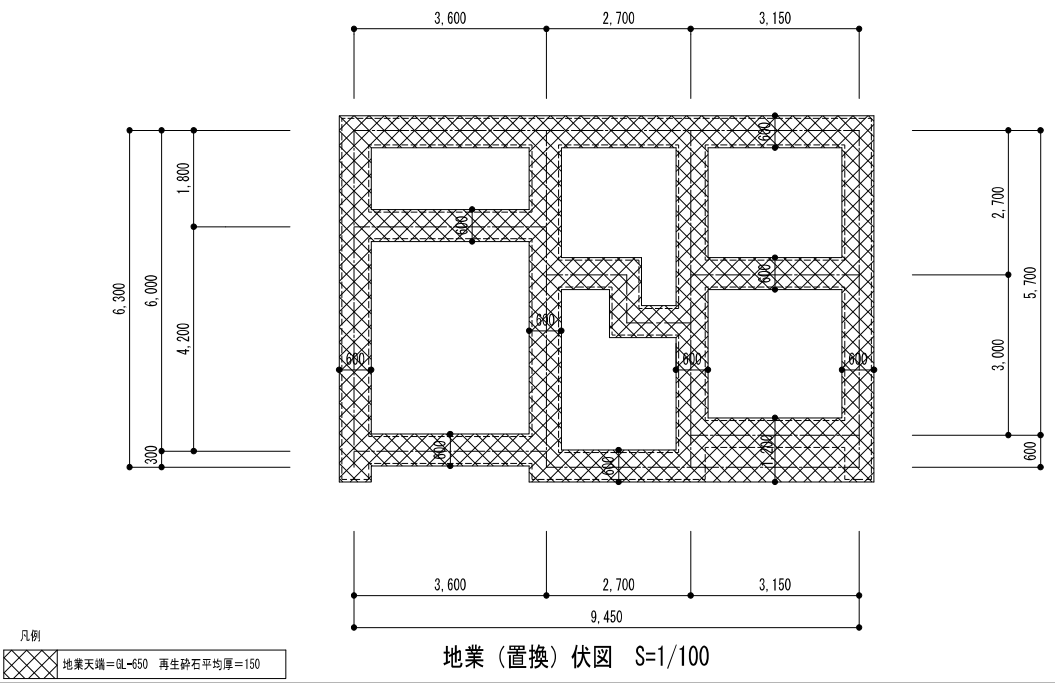
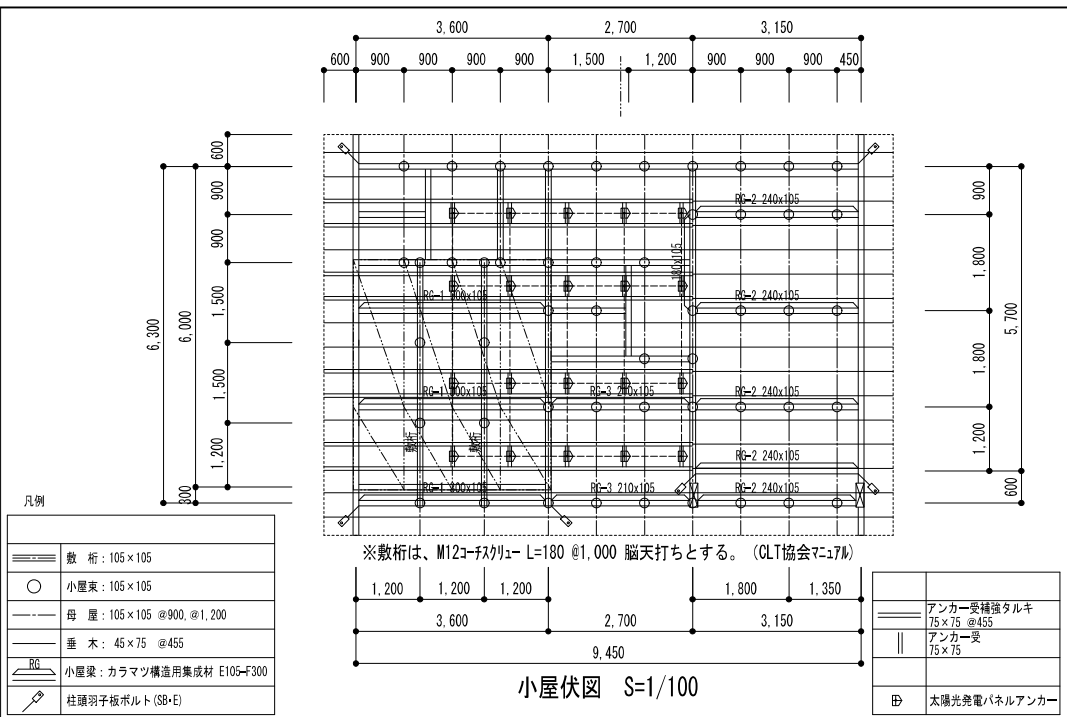
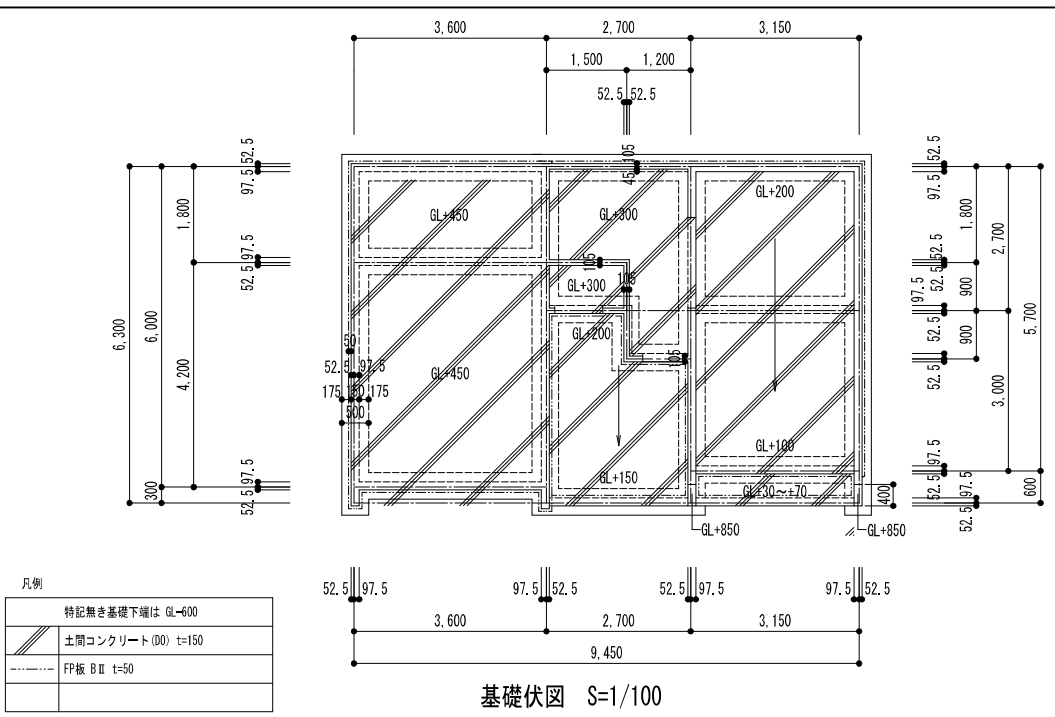
1級建築士
建設大臣登録 177664号
若本 隆志

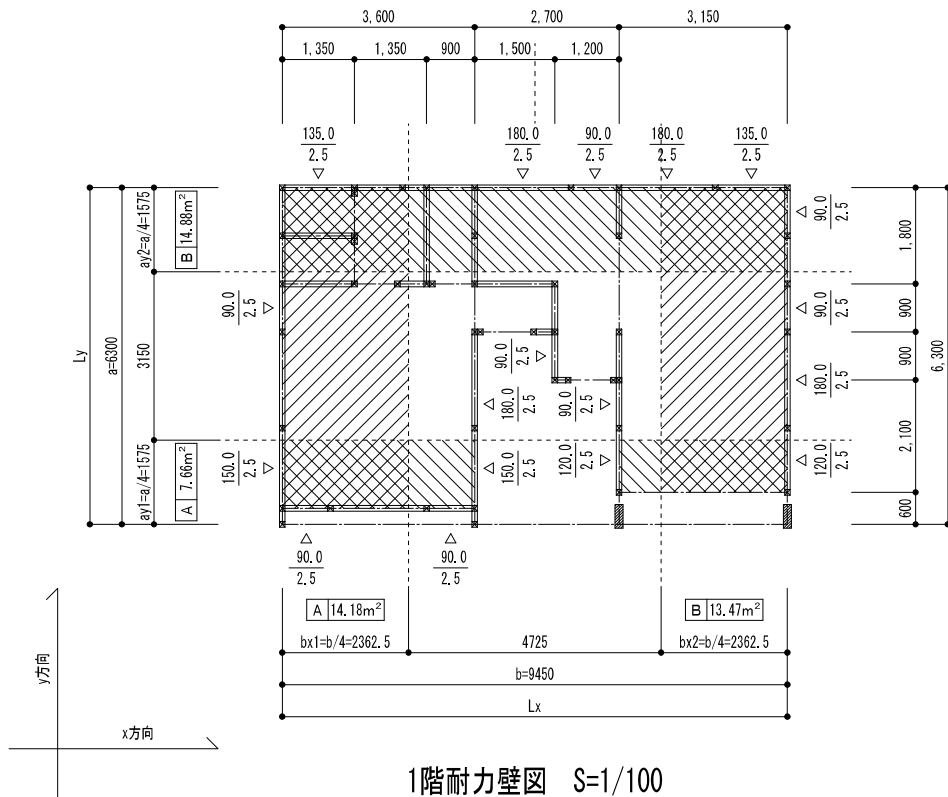
工事名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事設計業務
図面名 土質調査位置図・換算N値断面図

図番 TU S 02
縮尺 図示
年月日 R04.09.30

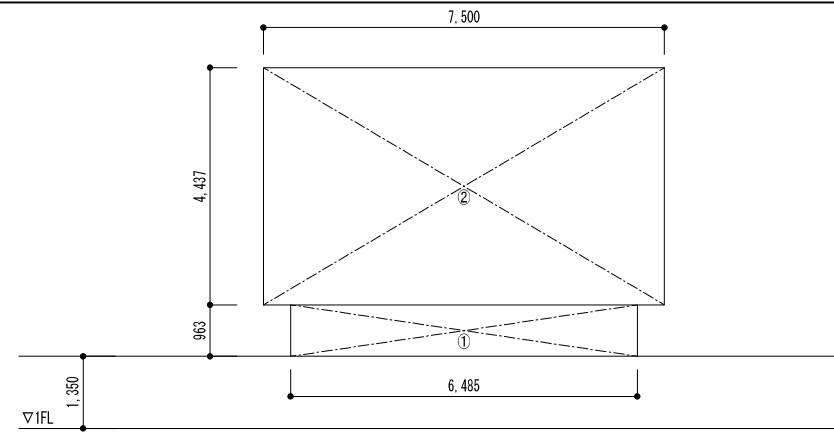
承認
担当

構造
02



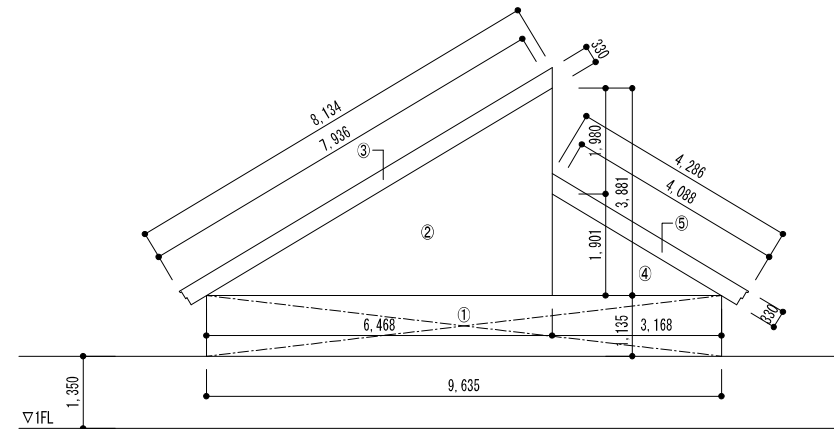


1階耐力壁図 S=1/100



x方向見付面積求積図 S=1/100

x方向見付面積	
計算式	① 6,485 × 0,963 = 6,25
	② 7,500 × 4,437 = 33,28
1階見付面積	①+② 39,53



y方向見付面積求積図 S=1/100

y方向見付面積	
計算式	① 9,635 × 1,135 = 10,94
	② 6,468 × 3,881 × 0,5 = 12,55
	③ (8,134 + 7,936) × 0,33 × 0,5 = 2,65
	④ 3,168 × 1,901 × 0,5 = 3,01
	⑤ (4,286 + 4,088) × 0,33 × 0,5 = 1,38
1階見付面積	①+②+③+④+⑤ 30,53

備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

1級建築士
建設大臣登録 177664号
若本 隆志

工事名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事設計業務
図面名 見付面積求積図・軸組計算図

図番 TU S 05
縮尺 図示
年月日 R04.09.30

承認
担当

構造
05

軸組の長さ

軸組の種類	軸組の長さ	倍率	図面記号	当該軸組長さ				倍率×当該軸組長さ=軸組長さ			
				1階		2階		1階		2階	
				X	Y	X	Y	X	Y	X	Y
1	構造用合板 厚9mm	2.5		9.00	13.50			22.50	33.75		
合計								22.50	33.75		

必要軸組の長さ及び判定

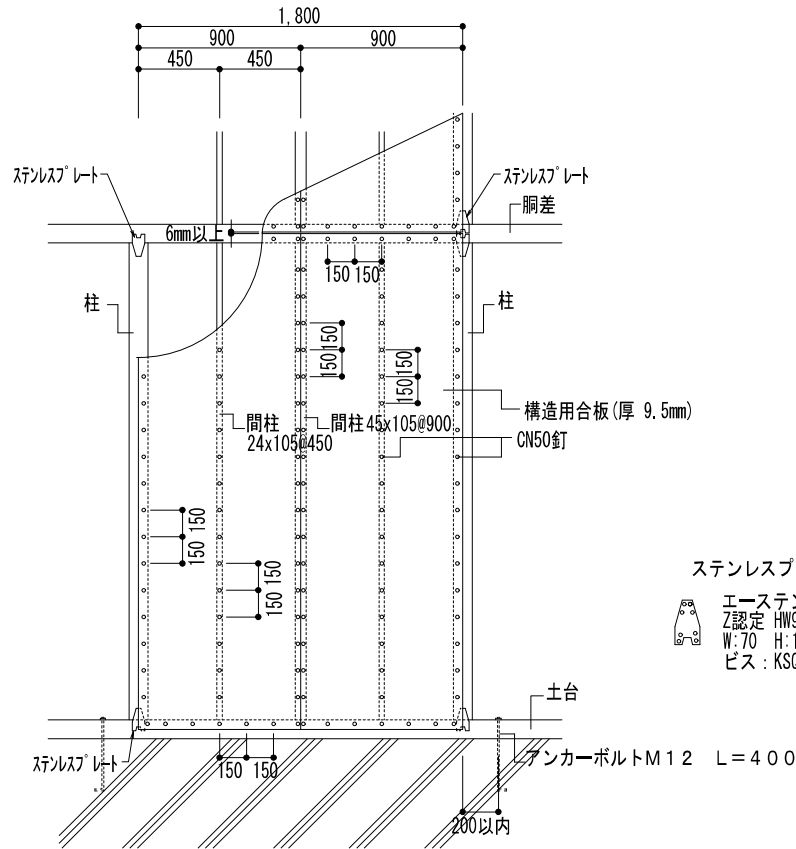
必要軸組 長さ 階	地震力に対して			風圧力に対して					地震力と風圧力大きい方		X方向の検討		Y方向の検討					
	床面積	係数	床面積×係数 軸組長さ	壁見付面積		軸組長さ			必要軸組長さ		存在軸組	必要軸組	存在軸組	必要軸組				
				X	Y	係数	X	Y	X	Y								
平家建	47.93	0.15	7.19	39.53	30.53	0.50	19.77	15.27	19.77	15.27	22.50	>	19.77	OK	33.75	>	15.27	OK
2階建	2階																	
	1階																	

令46条4項に基づく軸組計算

計算方向	X方向				Y方向					
	軸組長さ	軸組種類	倍率	存在壁量	軸組長さ	軸組種類	倍率	存在壁量		
2階建 1階及び 平屋部分	側端部分A	1.80	1	2.5	4.50	2.40	1	2.5	6.00	
	側端部分B	7.20	1	2.5	18.00	4.80	1	2.5	12.00	
必要壁量	床面積㎡		倍率 (m/㎡)		必要壁量	床面積㎡		倍率 (m/㎡)		必要壁量
	側端部分A	7.66	0.15		1.15	14.18	0.15		2.13	
	側端部分B	14.88			2.23	13.47			2.02	
偏心の検討	壁量充足率	側端部分A	3.91	OK	壁量充足率	側端部分A	2.81	OK		
		側端部分B	8.07	OK		側端部分B	5.94	OK		
壁率比		(≥0.5or≤2.0)			壁率比		(≥0.5or≤2.0)			

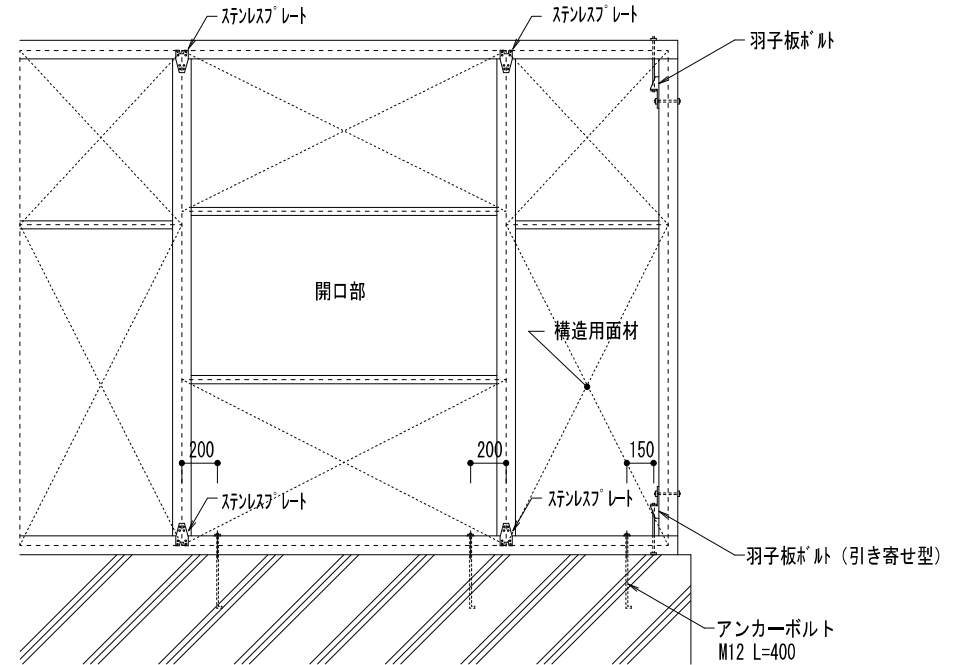
※壁率比の判定がNGでも充足率が共に1以上であればOKとする。

※柱の継手、仕口については国土交通省告示第1460号の構造方法の基準による。
 ※ステンスプレート 〈Zマーク CP-T同等認定品〉



ステンスプレート 参考図


エーステンプレート
 Z認定 HW98-12-38
 W:70 H:125 t:0.6
 ビス: KSO-45



耐力壁標準図 S=1/30

耐力壁金物配置標準図 S=1/30

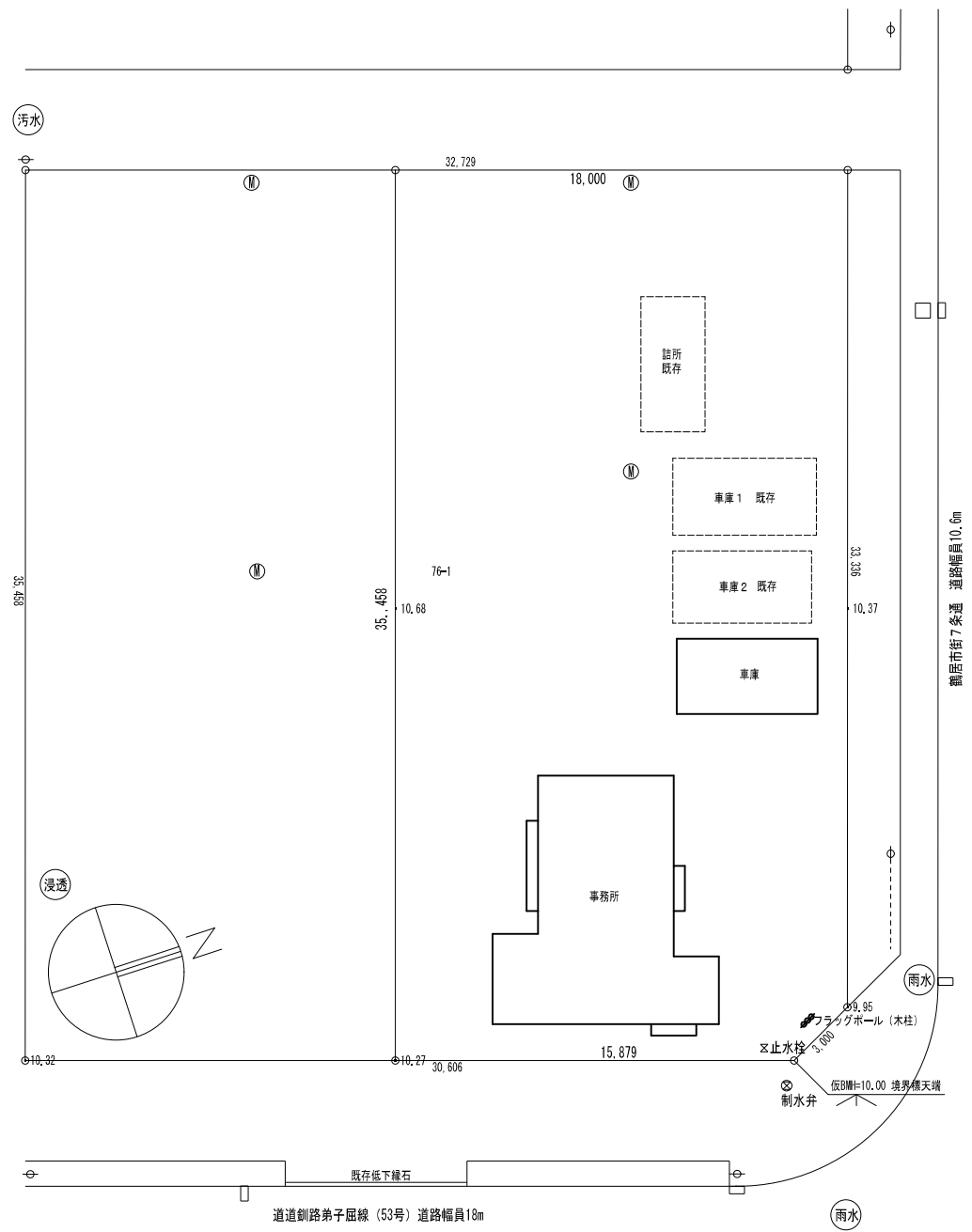
※釘はN50 (径2.68mm) 又は、エアネイルCN50 (径2.9mm) とし、釘頭をめり込ませてはならない。
 ※断熱材の性能確保のため外壁の屋内側をPBt=12.5 (3"x9"版) とし、屋内側壁下地横胴縁を設けない。
 ※アンカーボルトの位置は柱心より200mm以内とし、耐力壁の外側に設ける。

備考	 1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号 チカラ総合設計株式会社	1級建築士 建設大臣登録 177664号 若本 隆志	工事名	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事設計業務	図番	TU S 07	承認	構造
			図面名	耐力壁標準図	縮尺	図示	年月日	

■計画概要				
工事名称	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事（解体工事）			
建築主	住所 〒064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目7〇番地 氏名 北海道森林管理局長			
敷地概要	地名地番 阿寒郡鶴居村鶴居西4丁目76-1の内 住居表示 敷地面積 635.99 m ² 都市計画区域 外 用途地域等 指定なし 防火地域 指定なし 法第22条区域：指定なし 指定建蔽率 指定なし 指定容積率 指定なし 高さ制限 指定なし 高度地区他 指定なし 日影規制 指定なし 道路 前面道路幅員 約18.00 m 接道長さ 15.879 m			
	気象	積雪 1.00 m	凍結 1.0 m 基準風速V0: 30 m	
	地震	地震地域係数Z= 1.0 地盤種別: II		
	地業	基礎形式: 布基礎	基礎底N値: 杭種: 先端N値:	
建築概要	建物用途	事務所	車庫	
	工事の種類	解体	解体	
	構造	木造	LGS造	
	階数	平屋	平屋	
	地盤面			
	最高高さ (m)	4	2.7	
	最高軒高さ (m)	3	2.7	
	建築面積 (m ²)	65	13	合計 78
	1階床面積 (m ²)	65	13	78
	2階床面積 (m ²)			
延べ面積 (m ²)	65	13	78	
設備概要	給水	給水本管より	電気 北電	
	給湯水	ガス湯沸器	暖房 灯油・電気	
	排水	公共下水道へ		
	ガス	LPG		
	換気	第3種機械換気		
	防災	消火器		




付近見取図



配置図 S=1/200

備考	
----	--

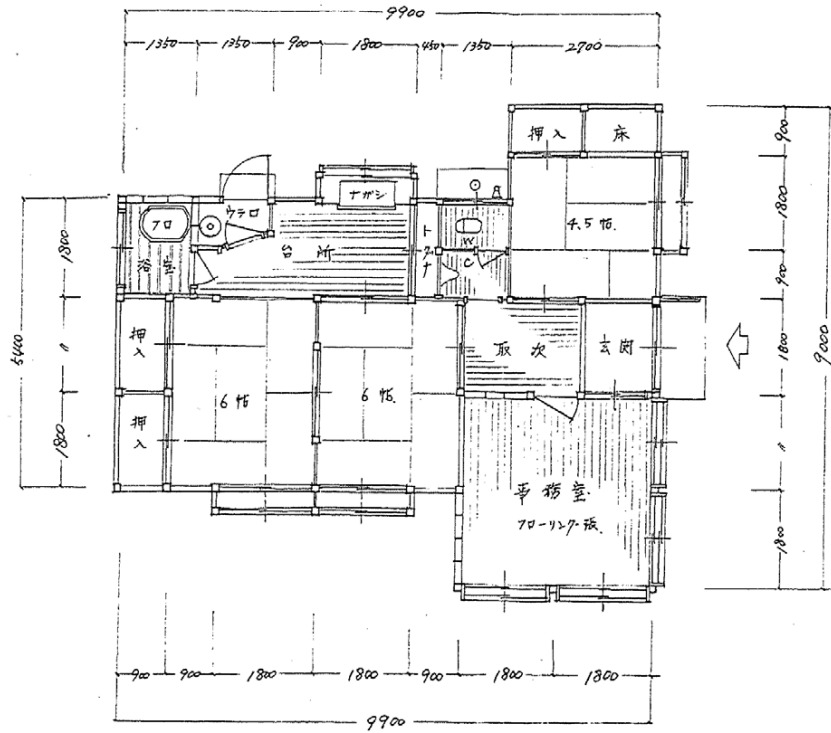
1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
 **チカラ総合設計株式会社**

1級建築士
 建設大臣登録 177664号
 若本 隆志

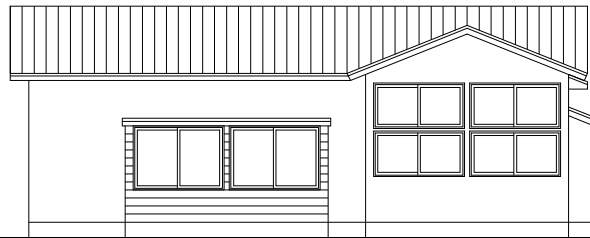
工事名	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事設計業務
図番	TU-BHT
縮尺	図示
年月日	R04.09.30

承認	担当	解体
		01

□ 新設浸透枳



平面図



南 立面図



東 立面図

備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

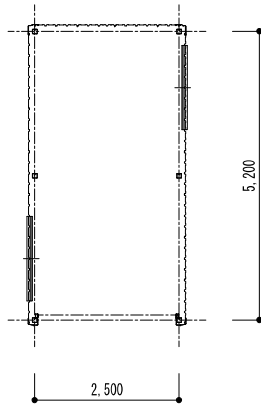
1級建築士
建設大臣登録 177664号
若本 隆志

工事名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
図面名 解体庁舎

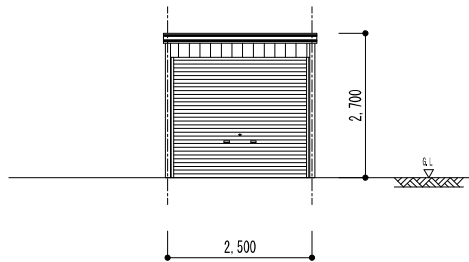
図番 TU-BSRC4
縮尺 S=1/100
年月日 RC4.07.06

承認
担当

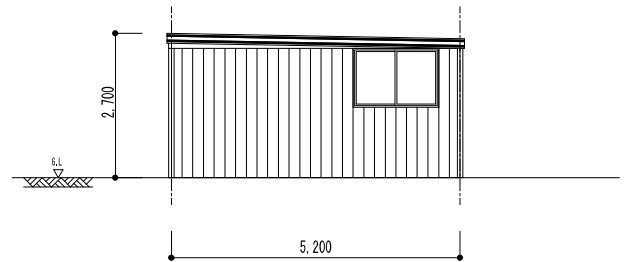
解体
02



平面図



正面立面図



側面立面図

備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

1級建築士
建設大臣登録 177664号
若本 隆志

工事名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
図面名 解体車庫

図番 TU-BSRG4
縮尺 S=1/100
年月日 R04.07.06

承認
担当

解体
03

根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事

特記仕様書

I 工事概要及び範囲

1. 工事場所				
阿寒郡鶴居村鶴居西4丁目76-1の内				
2. 建物概要				
名	称	構造種別・階数	数	量
○	事務所	木造	1	棟
○				
○				
○				

※上記●印は、建設リサイクル法の対象範囲を示す。

3. 工事種目		*該当は●印とする。	
名称	新設	改修	備考
電灯設備	●一式	○一式	
動力設備	○一式	○一式	
電熱設備	●一式	○一式	電気バナルヒーター
避雷設備	○一式	○一式	
受変電設備	○一式	○一式	
静止形電源設備	○一式	○一式	
発電設備	●一式	○一式	太陽光発電設備
構内情報通信網設備	●一式	○一式	
構内交換設備	●一式	○一式	
情報表示設備	○一式	○一式	
映像・音響設備	○一式	○一式	
拡声設備	○一式	○一式	
誘導支援設備	○一式	○一式	
呼出設備	●一式	○一式	
テレビ共同受信設備	○一式	○一式	
監視カメラ設備	○一式	○一式	
駐車場管制設備	○一式	○一式	
入退出監視設備	○一式	○一式	
火災報知設備	○一式	○一式	
中央監視制御設備	○一式	○一式	
防犯設備	○一式	○一式	
構内配電線路設備	○一式	○一式	
構内通信線路	○一式	○一式	

4. 施工区分

項目	工種	*該当は●印とする。		
		建築	電気	暖房衛生
躯体の設備配管用のスリーブ、箱蓋等及びモルタル等の充填				
上記の補強				
設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強				
設備機器用天井、壁、床仕上げ材の切込				
設備用天井、床点検口				
防火戸煙感知器、自動閉鎖装置				
設備用機軸基礎				
ルーフドレイン排水金物及び配管				
換気扇等取付柱				

5. 指定部分工事 (1) 工事範囲 別図による (2) 指定工期 契約日より 令和 年 月 日まで
6. 別途工事

II 工事仕様

1. 共通仕様 図面および特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）及び同改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）と同標準（最新版）による。

III 特記仕様

特記事項のうち選択する事項は、●印の付いたものを適用する。

種目	事項	特記事項
● 共通事項	電気工作物の種類及び試運転調整その他参考図	●一般用電気工作物 ○事業用電気工作物（自家用電気工作物）この工事に必要な試運転調整費及び緒手続などの費用はすべて請負者の負担とする。図中参考図の寸法は概略寸法とする。 ●北海道建設部建築局建築整備課電気設備工事 ○製作所標準品（配分電盤等）共通仕様書平成18年度版仕様。
	配分電盤・端子盤類	
	耐震措置	機箱・配管・ラック等は耐震を考慮し、堅固に据付け支持を行うこと。耐震措置の計算及び施工方法は、建築設備耐震設計施工指針（国土交通省住宅局建築指導課監修1997年版による。）
● 工事項目	結露防止	断熱材は可能な限り欠損させないこととする。ただしこれによりがたい場合は、同等以上の処理を行うこと。
	配線器具用プレート	●アルミ合金製 ○合成樹脂製 ○ステンレス製 床ボックスに取付のものは水平調整形プレートとする。（○鉛金製 ●アルミ製 ○○A）全ての壁パイプにはビロヒ被覆鉄線を入れておくこととする。
	呼び線	

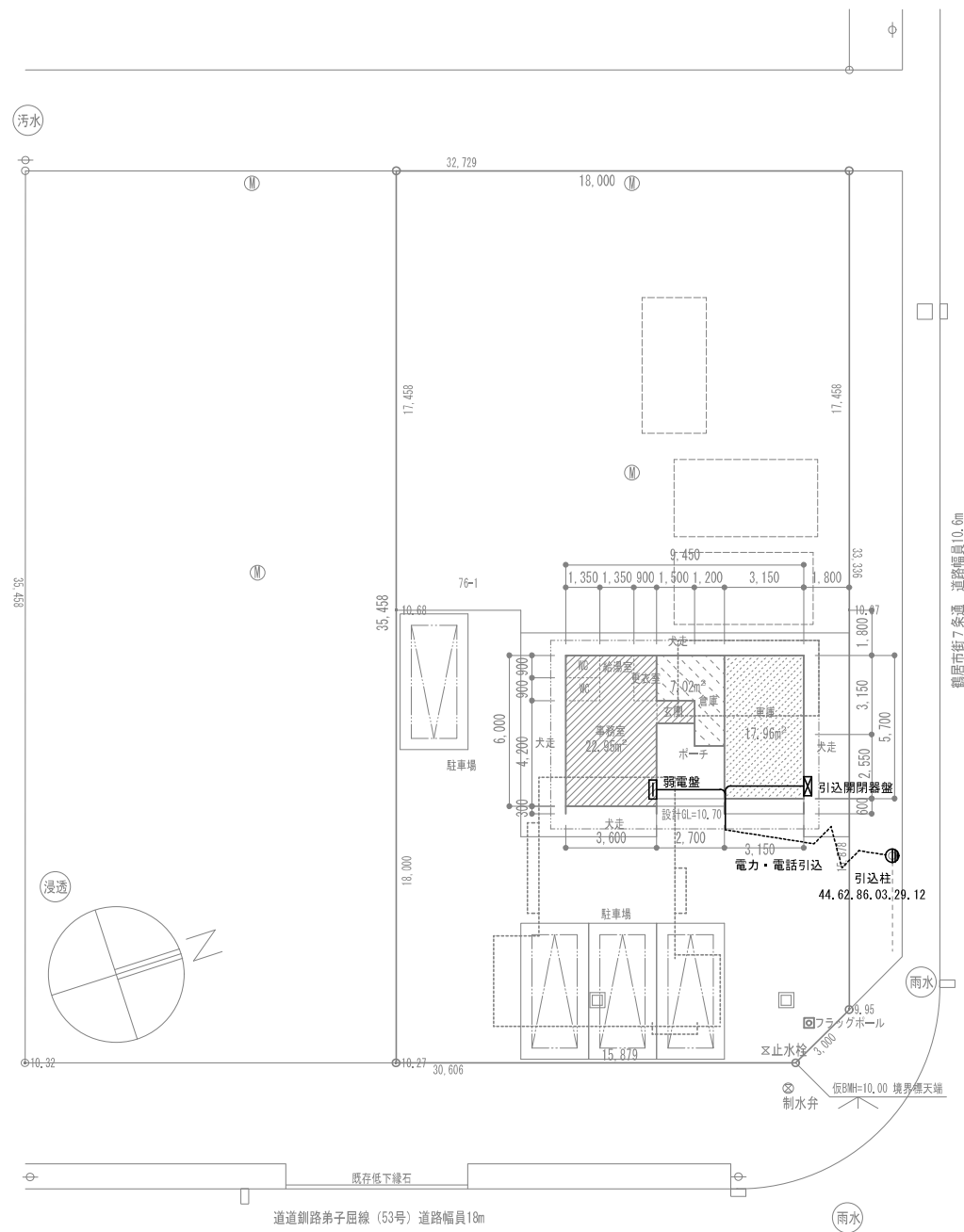
接地極	A種・B種・C種（10Ω以下）接地は銅板（900×900×1.5t）とする。上記以外の接地は鋼又は銅覆鋼製接地棒（1,000mm以上）とする。尚、接地棒の埋設深さは共通仕様書によるほか、凍結深度以上とする。	
接地極埋設様式	●黄銅板製ステンレス製（140H×90W×1.0t）とし、文字は刻印とし腐蝕加工とする。○黄銅板製ステンレス製（75H×100W×1.0t）とし、文字は刻印とし腐蝕加工とする。ケーブル外径の1.5倍以上を有する内径のPEで保護する。残土処分 ●構内敷ならし ○構内指示場所へ堆積 ○構外撤出（約 k m 捨て場所 ） 捨て均し（○有り ○無し）	
ケーブル埋設様式	埋戻し ○覆土充当 ○切込砂利 ○山砂 ○再生クラッシュラン 埋戻し300mm幅に突き固めること。 シートは、繊維補強付樹脂シートとし2倍以上重ね合わせ、電圧及び埋設年を表示する。	
引込用ケーブル		
土工		
吊ボルト	天井内（9mm 全ネジボルト） ただしケーブルラック等（800W以上）は12mmとする。 断熱処理箇所に使用するインサートは断熱インサートとする。 ハンドホールに使用する鉄ふたには練型流し込みで用途名を表示し簡易防水形とする。 ハンドホールに使用ケーブル支持金物（亜鉛めっき軽量形鋼、同等品）を2本以上取り付ける。 また、支持金物は接地する。 ●環境配慮型電線及びケーブル ○単相 3線200/100V50Hz ○単相 2線（○100V ○200V）50Hz	
その他	●配管 ●器具付 ●大角通用形 ○フイハンドル形 ●大角通用形 ○単一形 ○特殊コンセントは表示及びプラグ付とする。 ○スライディング形 ●アッパ形 ○ステージ用（アルミ合金製品物） ○OAフロア○その他（ ） ※LED器具仕様とする	
●電灯設備	電気方式 施工範囲 タンブラースイッチ コンセント フロアコンセント	○3相 3線式 200V 50Hz ○単相 2線式（○100V ○200V）50Hz ●配管 ●配線 ●器具付 ●大角通用形 ○フイハンドル形 ●大角通用形 ○単一形 ○特殊コンセントは表示及びプラグ付とする。 ○スライディング形 ●アッパ形 ○ステージ用（アルミ合金製品物） ○OAフロア○その他（ ）
○動力設備	電気方式 施工範囲	○3相 3線式 200V 50Hz ○単相 2線式（○100V ○200V）50Hz ●配管 ○配線 ●器具付 別添付脚型、電動機、フロートスイッチ等への配線接続までとする。
●電熱設備	電気方式 施工範囲	○3相 3線式 200V 50Hz ●単相 2線式（●100V ○200V）50Hz ●配管 ●配線 ●機器への接続 電気バナルヒーター本体は機械設備工事手配とする。
●発電設備	電気方式 施工範囲	●単相 3線式200/100V50Hz ○単相 2線式（○100V ○200V）50Hz ○3相 3線式200V 50Hz ●配管 ●配線 ○その他 ●別紙太陽光発電設備仕様書参照
●構造内情報網	施工範囲 ネットワークの範囲 ネットワーク機器類 配線引出し フロア配線引出し	●配管 ○配線 ○器具付 ○1000BASE ○100BASE ○FDDI ○OATM ○HUB ○ルータ ○リピータ ○その他 ○モジュラージャック（カテゴリ5E） ●ノズルプレート ○その他 ○スライディング形 ●アッパ形 ○OAフロア形 ○その他
●（構内）配電	施工範囲 電機設備 配線引出し フロア配線引出し 電子交換機 容量 本記録盤 電源装置 電話方式	●配管 ○配線 ○器具付 ○一形形（○デジタル式 ○アナログ式） ○多線形形（○デジタル式 ○アナログ式） ○停電用 ○電甲形 ●モジュラージャック ○ノズルプレート ○スライディング形 ●アッパ形 ○OAフロア形 ○その他 ○分散中継台式 ○中継台式 ○ボタン電話主装置 ○局線容量 ○実装 ○内線容量 ○実装 ○自立形 ○壁掛形 ○交換機一体形 ○別置形 ○交換機一体形 ○アナログ式 ○デジタル式
●呼出設備	施工範囲 通話方式	●配管 ●配線 ●器具付 ○線式 ●相互式 ○送受話式 ○高声式 ○テレビ式
○手受け	施工範囲 アンテナ 増幅器	○配管 ○配線 ○器具付 ○VHF ○UHF ○BS ○CS ○CS・BS・UV共用形 ○CS・BS共用形 ○BS・UV共用形 ○BS ○UV共用形 ○UV ○V ○双方向形 ○信号入力出力及び電源部の1次割に設ける。 ○CS・BS・UV共用形 ○BS・UV共用形 ○双方向形
○避雷	避雷装置 分配・分岐・混合器	

○施工範囲	○配管 ○配線 ○器具付 P形 絞 回線（○単独盤 ○複合盤）（○壁掛形 ○自立形） ○自動試験機能 ○遠隔試験機能 台 窓	
○火災	P形 絞 ○相込形 ○露出形 ○露出形 ○相込形 ○単独 ○消火栓箱（別添）細込 ○埋込形 ○露出形 ○アクリル製 裏箱φ1×350×550mm（ ） ○単独盤 ○複合盤 ○壁掛形 ○自立形	
○災報知設備	○高圧 3相 3線式 6kV 50Hz ○低圧 3相 3線式 200V 50Hz ●低圧単相 3線式 200/100V 50Hz ○低圧 単相 2線式 100V 50Hz ●架空電線式 ○地中配線式 ○PEG ○FEP ○遠心力鉄筋コンクリート管 ○コンクリート柱 ○鋼管柱 7.2kV 200A ○密閉形 ○重耐塩形 ○過電流ロック付 ○地絡保護装置付 ○密閉形 ○重耐塩形 ○一般形 ○耐塩形（耐塩碍子形） ○重耐塩形 ※屋内外とも、処理者銘板を取り付ける。 施設名、建柱年月日を記入する。 ○高圧用（120×900）○低圧用（100×600）の頂部に矢印（赤）を刻印したもの（材質はコンクリート製） ○22sq ○38sq 北海道電力（株）の外線工事要領に準ずる。	
○経路	電気方式 施工方式 ケーブル 点滅方式 しゃ断方式	電気方式 施工方式 ケーブル 点滅方式 しゃ断方式
○（外灯）	電気方式 施工方式 ケーブル 点滅方式 しゃ断方式	電気方式 施工方式 ケーブル 点滅方式 しゃ断方式
○構築内路	電気方式 施工範囲	●架空配線式 ○地中配線式 ○コンクリート柱 ○鋼管柱 ○PEG ○FEP ○遠心力鉄筋コンクリート管 ○溶融亜鉛メッキ厚鋼電線管 ○通信用（100×600）の頂部に矢印（黄）を刻印したもの（材質はコンクリート製） ○鉄製（鋼製面用） 施設名、建柱年月日を記入する。

IV 機器取付高さ

機器の取付高さは図示のほか下記を標準とする。

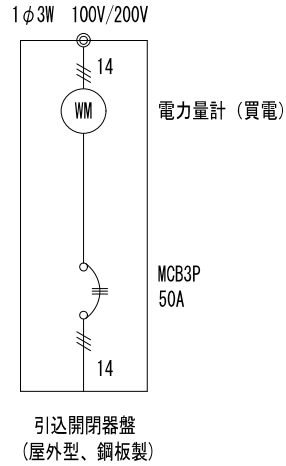
名称	測定	取付高（mm）		
力共 取引用計器	地上～窓中心	1, 800～2, 000		
力通 引込閉鎖器	床～中心	1, 800		
電	分電盤	床～中心	1, 500（上端1, 900以下）	
	スイッチ	”	1, 150	
	コンセント（一般）	”	500	
	”（和室）	”	200	
	”（台上）	台上～中心	150	
	”（土間）	床～中心	800～1, 300	
	ブラケット（一般）	”	2, 100～2, 500	
灯	”（種場）	”	2, 500	
	”（線上）	鏡上端～中心	150	
	壁掛形制御盤	床～中心	1, 500（上端1, 900以下）	
	開閉器盤	”	1, 500	
	操作スイッチ	”	1, 300	
	端子盤	床～下端	500	
	保安器箱	床～中心	2, 000	
電	壁付位置ボックス	”	500	
	”（和室）	”	200	
	壁付インターホン	床～中心	1, 150	
	壁付位置ボックス	”	1, 150	
	”（和室）	”	200	
	時計	壁掛形鏡時計	床～中心	1, 500（上端1, 900以下）
	子時計	”	2, 300	
括	壁掛形スピーカー	”	2, 300	
	アンテナ	”	1, 150	
表	表示盤	床～中心	2, 300	
	壁付発信器	”	1, 150	
示	ベル・ブザー・チャイム	”	2, 300	
	壁付ボタン	”		
テ共同	分配器箱	床～上端	1, 900	
	テレビアウトレット	床～中心	500	
レ	”（和室）	床～中心	200	
	受信機	床～上端	1, 900	
火	受信機・副受信機	床～中心	1, 500	
	総合盤	”	1, 300	
災	発信機	”	1, 300	
	電鈴	”	2, 300	



配置図 S=1/200

□ 新設浸透枡

備考	 1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号 チカラ総合設計株式会社	1級建築士 建設大臣登録 177664号 若本 隆志	工事名	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事	図番	TU-E02	承認	電気
			図面名	配置図・電力電話引込図	縮尺	図示	年月日	



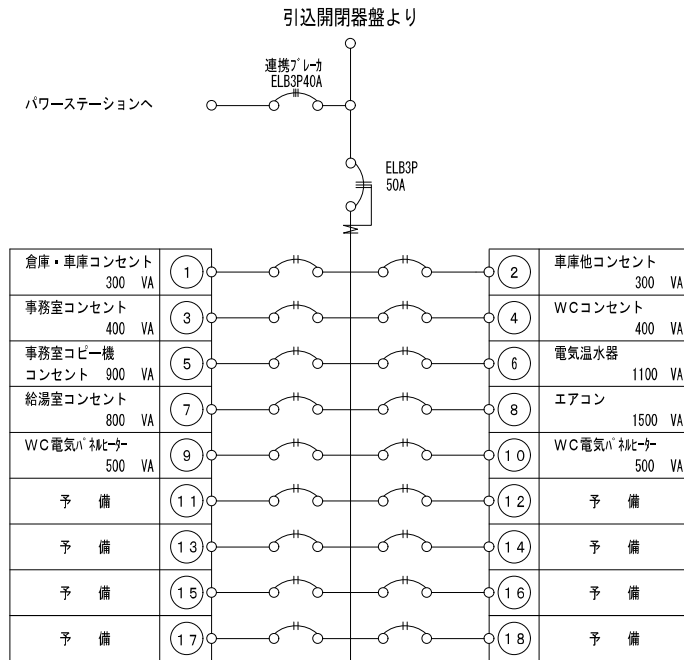
W=150 2500lm 5000K	W=150 1600lm 5000K	W=80 3200lm 5000K	W=150 5200lm 5000K
16.3	11.6	20.6	31.9
倉庫	給湯室、更衣室、倉庫	車庫	事務室
A LSS9-4-23-LN	B LSS9-2-15-LN	C LSS1-4-30-LN	D LSS9-4-48-LN
5000K	白熱灯 60W 相当 SBタイプ	白熱灯 60W 相当 SBタイプ	150W 相当 センサー付
9.5	4.5	4.5	10.7
給湯室 参考型番 LGB85045LE1	トイレ、玄関 参考型番 LGD1108NLE1	ポーチ 参考型番 LRD1100LLE1	外部 参考型番 LGC40114
SP-1 LED 棚下灯 (FL15W相当)	SP-2 LED ダウンライト (5000K)	SP-3 LED ダウンライト (2700K)	SP-4 LED スポットライト (2700K)

照明器具姿図

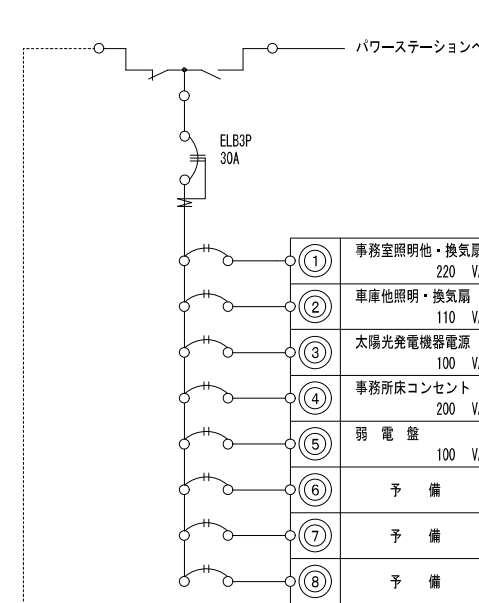
インターホン親機		ドアホン子機 (防雨型)	
電源電圧 AC100V 50/60Hz		電源電圧 モニター付親機から供給	
形状 壁取付型 (JIS1専用スイッチボックス)		形状 壁取付型 (JIS1専用スイッチボックス)	
材質 本体:自己消火性樹脂 パネル部:難燃性樹脂		材質 自己消火性樹脂	
通話方式 拡声自動交互通話/プレストーク通話		通話方式 自動交互通話	
カメラ 3.5型TFTカラー液晶		カメラ 1/5型カラーCMOS	

<参考型番: アイホン JS-12>

弱電機器姿図



電灯分電盤 想定負荷容量 7,430 VA
樹脂製 太陽光発電システム対応盤
※逆潮流検出用CTは太陽光発電設備に含む



電力切替ユニット
※太陽光発電設備

備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

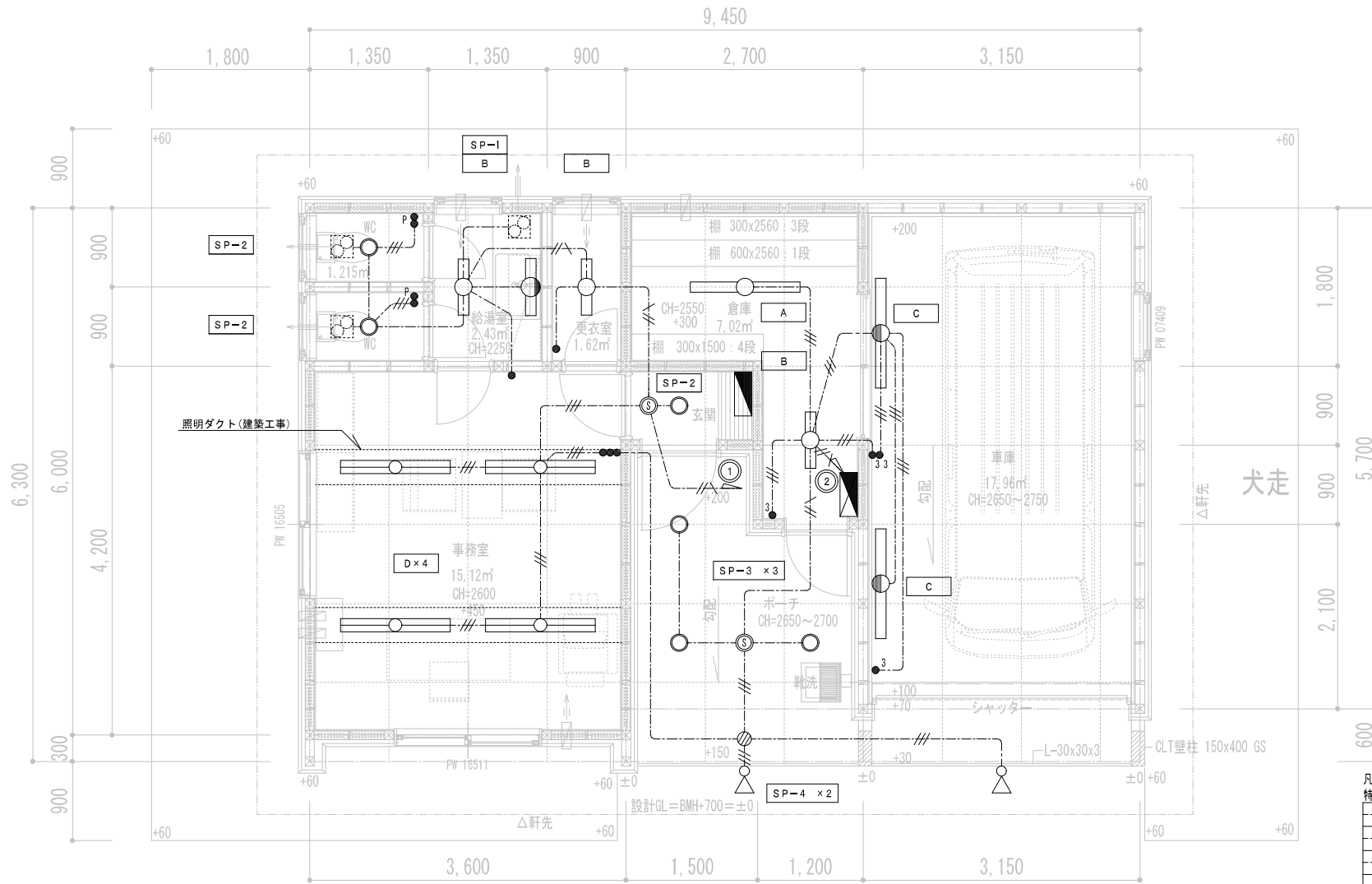
1級建築士
建設大臣登録 177664号
若本 隆志

工事名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
図面名 分電盤結線図・機器姿図

図番 TU-E03
縮尺
年月日 R04.09.30

承認
担当

電気
03



凡例
特記なき記号は下記による

記号	保護管
---	EM-EEF1.6-2C (16)
---	EM-EEF1.6-3C (22)
---	EM-EEF2.0-2C (16)
---	EM-EEF2.0-3C (22)

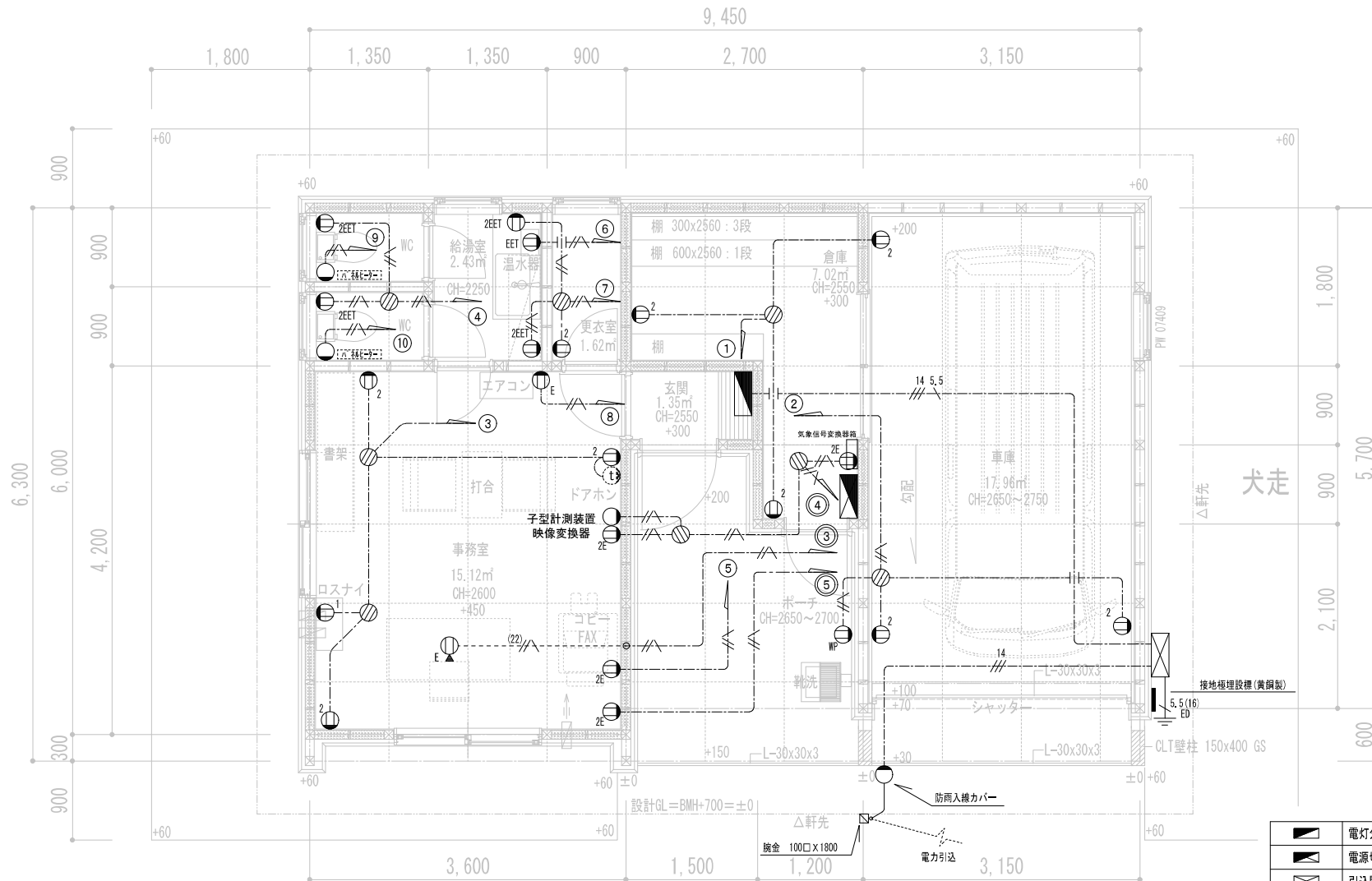
間仕切内配線はPF管で保護する。

1 F 平面図 S=1/50

■	電灯分電盤 樹脂製 太陽光発電システム対応
■	電源切替ユニット 樹脂製 ※太陽光設備
●	片切スイッチ
● ₃	3路スイッチ
● _p	片切スイッチ (ONレ' 0.5A)
Ⓢ	熱線センサー 天井埋込型 3A 親機
Ⓢ	VVケーブル用ジョイントボックス

配線器具は大角連用型+新金プレートとする





1 F 平面図 S=1/50

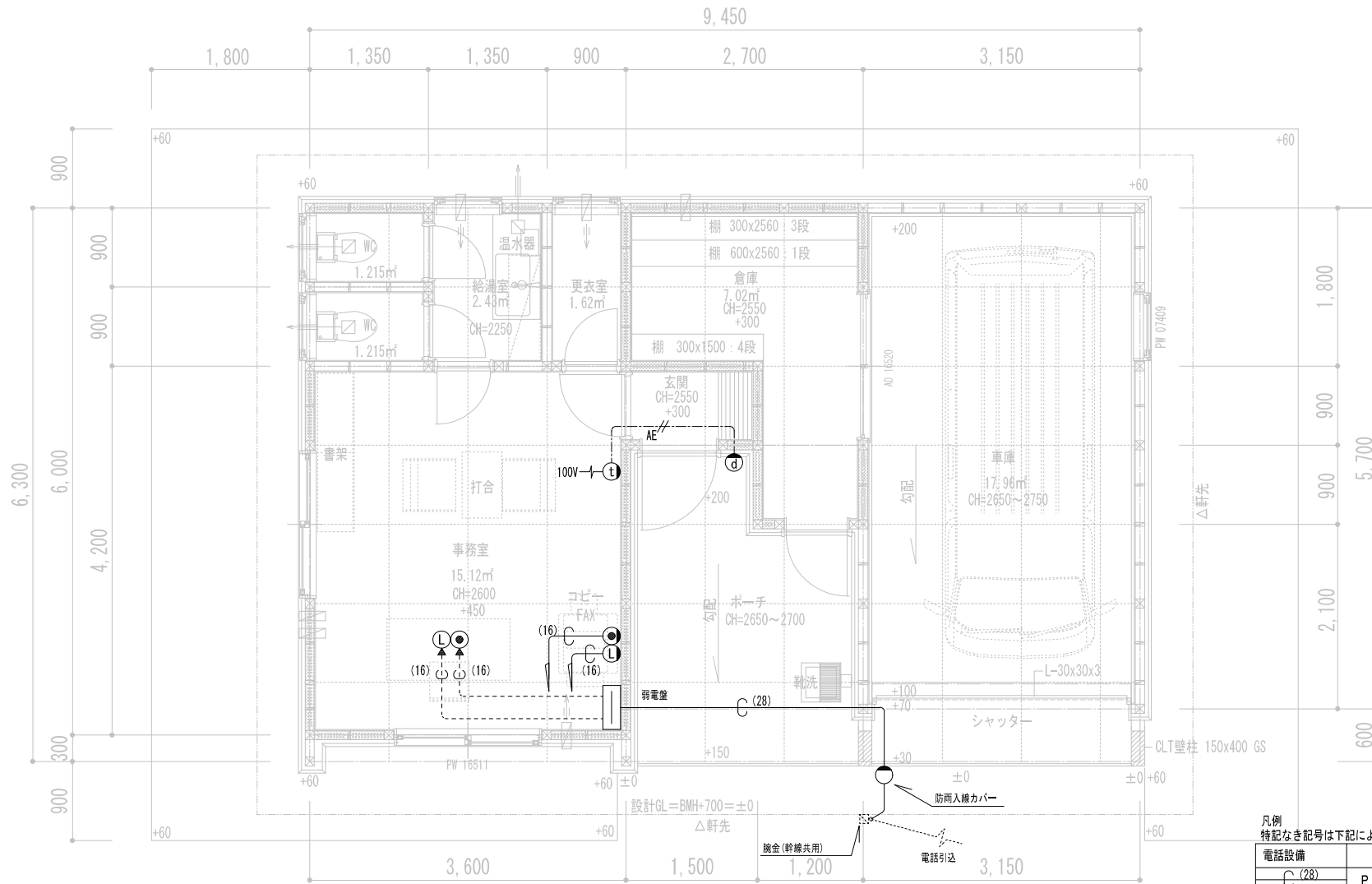
凡例
特記なき記号は下記による 保護管

---	EM-EFF2.0-2C	(16)
---	EM-EFF2.0-3C	(22)
---	EM-IE5.5	(16)
---	EM-OET14	(28)
---	EM-EFF2.0-3C	打込 (22)

間仕切内配線はPF管で保護する。

	電灯分電盤 樹脂製 太陽光発電システム対応
	電源切替ユニット 樹脂製 ※太陽光設備
	引込開閉器盤 計量器ハース付 屋外防雨型鋼板製
	埋込コンセント 2P15A X 1
	埋込コンセント 2P15A X 2
	埋込コンセント 接地2P15A X 1 ET付
	埋込コンセント 接地2P15A X 2 ET付
	埋込コンセント 接地2P15A X 1
	埋込コンセント 接地2P15A X 2
	防水コンセント 2P15A X 2
	マスプレート 機器接続用
	707-コンセント 接地2P15A X 1 (DUM7001MH相当品)

配線器具は 大角運用型+新金プレートとする



1 F 平面図 S=1/50

凡例
特記なき記号は下記による

電話設備	
⊖ (28)	PF 28 導入線
⊖ (16)	PF 16 導入線
⊙	電話用 / スプレット
⊙	707-コネクタ(電話線引出用)
情報設備	
⊖ (16)	PF 16 導入線
⊙	LAN用 / スプレット
⊙	707-コネクタ(LANケーブル引出用)
その他設備	
AE	EM-AE0.9-2 保護管(PF16)間仕切り内
⊙	カメラ付きドアホン
⊙	インターホン親機

電話スペース 10P
LANスペース
弱電盤
500 X 500 X 120

備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

1級建築士
建設大臣登録 177664号
若本 隆志

工事名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
図面名 弱電設備図

図番 TU-E06
縮尺 1/50
年月日 R04.09.30

承認
担当

電気
06

太陽光発電設備工事 特記仕様書

1. 一般事項
- 1.1 適用範囲
 本仕様書は、太陽光発電電気設備工事における
 系統系用太陽光発電システムについて適用する。
- 1.2 適用規格・法規等
 本工事の設計・施工に当たっては、下記の法令・規格等に基づくものとする。
 (1) 労働基準法 (8) 日本産業規格 (JIS)
 (2) 労働安全衛生法 (9) 日本電気工業規格 (JECB)
 (3) 電気事業法 (10) 日本電気工業規格 (JEM)
 (4) 電気設備技術基準 (11) 日本電気規格調査会標準規格 (JELC)
 (5) 電気工事士法 (12) 内線規程
 (6) 消防関係法規 (13) 系統連系規程
 (7) 電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイドライン
- 1.3 保証条件
 竣工後1年以内に設計もしくは製作不良、その他工事者の責任に帰すべき不都合が
 発生した場合は、速やかにこれを無償で修理、又は、良品と交換するものとする。

2. システム概要
- 2.1 設備の概要
- | | |
|----------|------------------------------------------------------------------|
| 名称 | 太陽光発電設備工事 |
| 連系する電力系統 | 低圧連系 |
| 発電設備の種類 | 太陽電池発電所 |
| 設備容量 | 太陽電池容量 5 kW相当
パワーステーション容量 5.5 kW相当
リチウムイオン蓄電池容量 1.1, 2 kWh |
- 2.2 システム構成
 本システムは、太陽電池モジュール、太陽電池架台、系統系保護機能を含めた
 パワーステーションシリングル、バッテリーボックス (リチウムイオン蓄電池内蔵)、
 電力切替ユニット特定負荷ブレーカ付、計測装置より構成する。
- 太陽電池は太陽からの日射を受けることで直流電力を発生。
 - パワーステーションシリングルは、この直流電力を並列する商用電源の電圧、電流値、
 位相と同期した交流電力に変換し、電力会社側電力系統に供給する。
 - 系統保護装置により、パワーステーションシリングル及び系統の異常には連系を遮断する。
 - 平常時は商用電源から蓄電池への充電が可能とする。
 - 非常時は太陽電池モジュールとパワーステーションシリングルが連携しバックアップ回路へ
 電力供給する。また定期的に太陽光発電による発電電力が生じた場合、蓄電池に充電し
 後発等に再利用が可能とする。
 - 運転リータ等は計測装置により収集する。

- 2.3 運転方式
- 1 連系運転
 太陽光発電により得られた直流電力を交流電力に変換し、その電力は負荷電力に使用する。
 また、太陽光発電の不足分を蓄電池で補い、下記のモードによりその動作を変更することが
 可能。
- タイマー優先モード
 あらかじめタイマー設定された時間帯に蓄電池への充電、蓄電池からの放電を行う。
 充電時、太陽光発電による不足分は系統から補う。放電時、太陽光発電による放電量不足分
 は蓄電池から補う。
- 連続放電モード
 太陽光発電の余剰分で蓄電池に充電し、太陽光発電の不足時に蓄電池の放電により電力不足
 分を補う。
- 蓄電優先モード
 常に蓄電池が満充電になるまで充電し、停電に備えた状態を保持する。
- 2 自立運転
 停電時は系統電源から切断し、自立運転により太陽光発電と蓄電池からバックアップ回路へ
 電力供給を行う。
 復旧にあたっては手動で切替を行うこととする。(自動復旧も可能)
- 2.4 系統連系保護機能
 本システムにおける連系保護機能装置は、電気設備技術基準に沿って設置するものとする。
 電気設備技術基準解釈による保護継電器の種類・保出場所を表-11に示す。

表-11

保護継電器の種類	保出場所
(1) 過電圧継電器 (OVR)	インバータ出力点など 感圧回路の保出可能な 場所
(2) 不足電圧継電器 (UVR)	
(3) 周波数上昇継電器 (DFR)	
(4) 周波数低下継電器 (LFR)	
(5) 単相運転検出継電器 (異常・転動)	
(6) 逆電力継電器 (RRP)	

- 2.5 納入機器範囲
 納入機器は表-2に示す通りとする。

表-2				
NO	機器名	仕 様	数 量	備 考
1.	太陽電池モジュール	※1	15枚	
2.	太陽電池架台	横型	1式	
3.	パワーステーションシリングル (ベース含む)	屋内/型別 5.5kW	1台	
4.	リモコン設定器	屋内	1台	
5.	接続箱	屋内/型別	1台	
6.	バッテリーボックス (1.1, 2)	屋内1.1, 2kWh	1台	
7.	電力切替ユニット特定負荷ブレーカ付	屋内	1台	
8.	小型計測装置	屋内	1式	
9.	気象信号交換器箱	屋内	1台	
10.	日時計	屋外	1台	
11.	気温計	測定範囲	1台	

※1 単結晶シリコン太陽電池

3. 機器仕様

3.1 太陽電池モジュール

種 別	単位	特 性 値
種 別	単結晶シリコン太陽電池	
容量	375W	
外形寸法	別途参照	
出力特性	表-3参照	

太陽電池モジュール電気出力特性表 (参考値) 表-3 特性表

項 目	単 位	特 性 値
最大出力	P _m	375.0
最大出力動作電圧	V _{p,m}	34.9
最大出力動作電流	I _{p,m}	10.94
開放電圧	V _{o,c}	41.0
短 路 電 流	I _{s,c}	11.61

- 条件 : AM1.5 全天日射基準太陽光
 : 放射強度 1000W/m² モジュール温度 25℃

- 3.2 太陽電池架台

構造	積層型に適合する構造とする
外形寸法	別途参照を参照
材質	一般構造用鋼 防錆処理メッキ防錆処理品とする (高防食性メッキ製品も含む)
強度	関係法規に基づき必要な強度を有するものとする。

- 3.3 パワーステーションシリングル (ベース含む)
- | | |
|----------|--------------------------------------|
| 蓄電池入出力 | |
| 定格入力電圧 | : DC93.6V |
| 定格入出力電力 | : 3,0kW (充電時) 4,0kW (放電時) |
| 太陽電池入力 | |
| 使用入力電圧範囲 | : DC70~420V |
| 定格入力電力 | : 1,0kW (1入力あたり) |
| 系統系出力 | |
| 定格出力電圧 | : 単相2線 (接続仕様 単相3線)
AC200V 50/60Hz |
| 定格出力有効電力 | : 0.9kW (力率0.95時) 5.5kW (力率1.00時) |
| 定格出力相電圧 | : 0.79kVA (力率0.95時) 5.5kVA (力率1.00時) |
| 自立出力 | |
| 定格出力電圧 | : 単相3線AC101V/202V 50/60Hz |
| 定格出力相電圧 | : 3,0kVA |

- その他
- | | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 使用周囲温度 | : -20℃~+40℃ |
| 保護等級 | : IP44相当 |
| 運転音 | : 45dB以下 |
| 設置場所 | : 屋内/型別 (自立) |
| 質量 | : 約110kg (本体: 約60kg・ベースメイン: 約50kg) |
| 強度 | : アンカーボルトは「商品仕様書、施工説明書の指定方法に準じ」
耐震計算を実施し決定すること。
※建物の2階以上の場所に設置する場合は、アンカーボルト固定の他に
別売の転倒防止金具を使用し壁面にも固定して下さい。(壁支持自立) |

- 3.4 リモコン設定器
- | | |
|--------|-------------|
| 定格電圧 | : DC12V |
| 消費電力 | : 2W以下 |
| 使用周囲温度 | : -10℃~+40℃ |
| 設置場所 | : 屋内 (壁掛け) |
| 質量 | : 260g |

- 3.5 接続箱
- | | |
|------|----------------|
| 回路数 | : 入力回路 |
| 材料仕様 | : 入力回路出力回路用開閉器 |
| 外形寸法 | : 別途参照を参照 |
| 設置場所 | : 屋内/型別 (壁掛け) |

- 3.6 バッテリーボックス (1.1, 2)
- | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 内蔵蓄電池 | : リチウムイオン蓄電池 |
| 使用容量 | : 1.1, 2kWh |
| 使用周囲温度 | : 0℃~+40℃, -10℃~+40℃ (ヒーターユニット使用時) |
| 設置場所 | : 屋内 (自立) |
| 質量 | : 約225kg (本体: 約85kg・蓄電池群: 約140kg) |
| 強度 | : アンカーボルトは耐震計算を実施し決定すること。
※建物の2階以上の場所に設置する場合は、アンカーボルト固定の他に
別売の転倒防止金具を使用し壁面にも固定して下さい。(壁支持自立)
※本機 (接続器) と蓄電池部は別して積重ねが可能。 |

- 3.7 電力切替ユニット特定負荷ブレーカ付
- | | |
|------|---------------------------|
| 定格電圧 | : 単相3線 AC100/200V 50/60Hz |
| 定格電流 | : 30A |
| 設置場所 | : 屋内 (壁掛け) |
| 質量 | : 約9.6kg |

- 3.8 小型計測装置
- | | |
|------|--------------------------------|
| 使用機種 | : DataCube4、他一式 |
| 入力電流 | : DC12V±10% |
| 消費電力 | : 10W未満 |
| 周囲条件 | : 温度-10℃~60℃、湿度85RH以下 (結露なきこと) |
| 設置場所 | : 屋内 |

- 3.9 気象信号交換器箱
- | | |
|--------|-----------------|
| 定格入力電圧 | : AC100/200V |
| 気温計用 | : 抵抗/電圧変換 |
| 日時計用 | : 電圧/電圧変換 |
| 送信出力 | : RS485 |
| 外形寸法 | : 別途参照を参照 |
| 設置場所 | : 屋内 |
| 周囲条件 | : 周囲温度 -10℃~40℃ |

- 3.10 日時計
- | | |
|------|---------------------------|
| 対象 | 積層型日時計 |
| 計測精度 | : ISO Second Class 相当とする。 |
| 外形寸法 | : 別途参照を参照 |
| 設置場所 | : 屋外 |
- 3.11 気温計
- | | |
|------|--------------------|
| 種類 | 測定範囲 |
| センサー | Pt100Ω (-40℃~+60℃) |
| 精度 | A級 JISによる。 |
| 外形寸法 | : 別途参照を参照 |
| 設置場所 | : 太陽電池架台付近に設置 |

4. 工事範囲
- 4.1 機器取付工事
- 太陽電池架台取付工事
 - 納入機器取付工事
- ※架台上に設置されない機器の取付は電気工事
- 4.2 電気工事
- 受電盤までの配管配線工事<連系系から分岐盤側> (電気工事)
 - 基礎工事 (建築工事)

5. 試運転・完成検査
- 5.1 モジュール出力検査
- 各モジュールの試験成績表の出力値がJISに適合していること。
 - 出力の合計値が3.1に示す容量の合計値以上であること。

6. 2. 下表の項目については試運転・検査・測定を行うこと。
 ただし、太陽電池の工場立検検査は実施しない。

検査項目	太陽電池	接続箱	PO-37-21	バッテリーボックス	配線ケーブル	計測システム
外觀検査	○	○	○	○	○	○
絶縁抵抗測定	○ 注1	○ 注1	○ 注1		○	
絶縁耐圧	○ 注1	○ 注1	○ 注1			
保護装置特性			○ 注1			
システム動作			○			○
出力測定	○ 注1		○ 注1			

注1) 接地検査又は工場検査のいずれれか可。

凡例

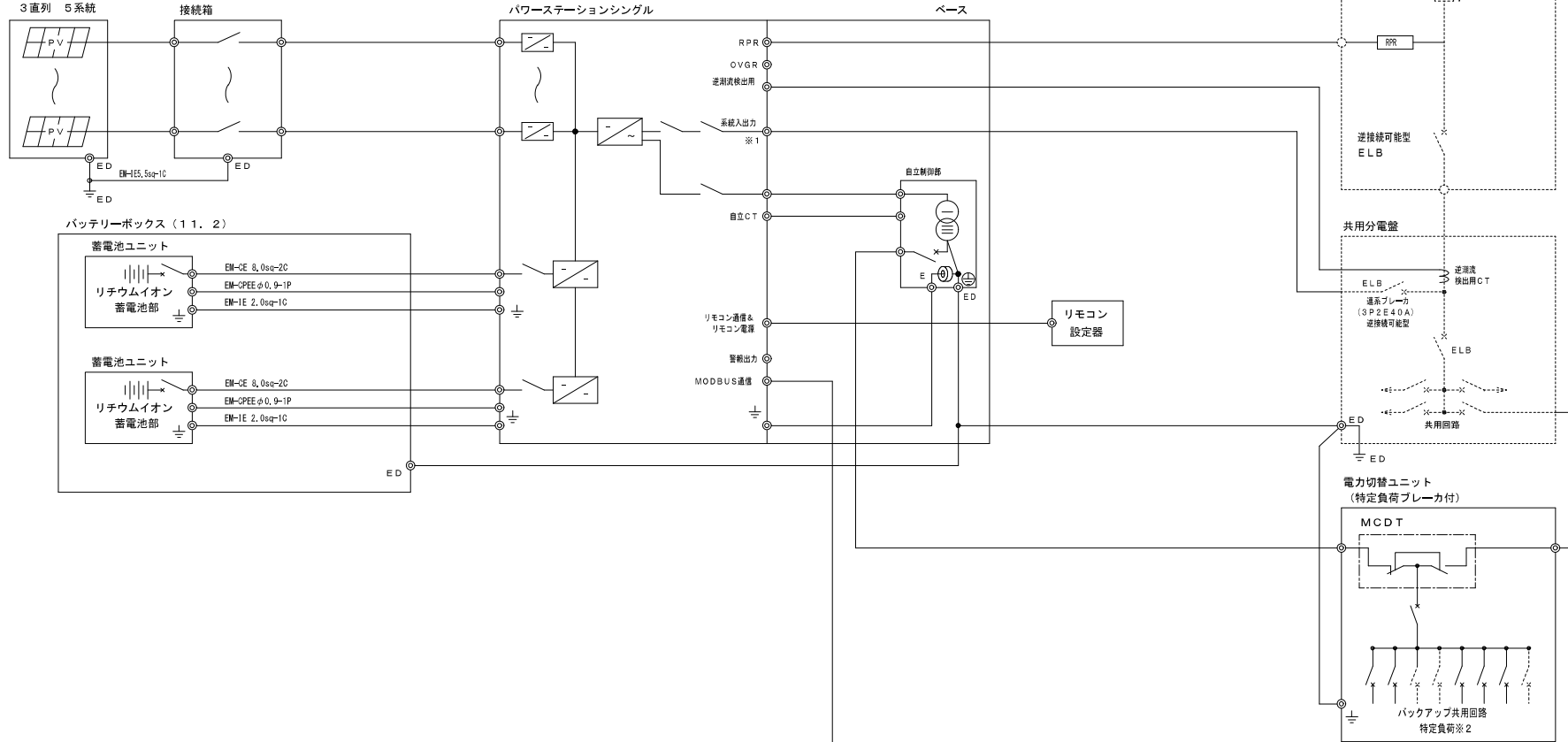
- 太陽光工事 (架台に設置されない機器の取付は電気工事)
- 電気工事
- 太陽光工事
- 電気工事 (接地工事は電気工事)

※1: 蓄電システムの系統電源として、発電機等の出力を接続することは禁止としています。
 ※2: 特定負荷として接続するLED照明は、照明器具の定格消費電力合計を、6kW程度までとさせていただきます。

・連系ブレーカ、逆潮流CTの位置は当該位置固定
 ・逆潮流CTを接続する電線サイズは150mm²以下、定格電流225A。

太陽電池モジュール

375W 15枚
 3直列 5系統



単相3線式 210/105V 50Hz/60Hz

買電

RPR

OVGR

逆潮流検出用

系統入力 ※1

自立CT

自立制御部

E

ED

リモコン通信&リモコン電線

警報出力

MODBUS通信

E

ED

逆潮流検出用CT

逆潮流検出CT

連系ブレーカ (SP2E40A) 逆接続可能型

ELB

共用回路

E

ED

電力切替ユニット (特定負荷ブレーカ付)

MCDT

バックアップ共用回路 特定負荷※2

E

ED

小型計測装置

AC100V

バッテリーボックス (11.2)

蓄電池ユニット

リチウムイオン蓄電池部

EM-OE 8.0sq-2C

EM-OPEE φ0.9-1P

EM-IE 2.0sq-1C

蓄電池ユニット

リチウムイオン蓄電池部

EM-OE 8.0sq-2C

EM-OPEE φ0.9-1P

EM-IE 2.0sq-1C

気象信号変換器箱

付属ケーブル

付属ケーブル

通信

E

ED

AC100/200V

* 太陽電池モジュール—接続箱間、接続箱—パワーコンディショナ間のケーブル長の合計は最大80m (太陽電池モジュール—接続箱間のケーブル長により短くなります。)

備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

1級建築士
 建設大臣登録 177664号
 若本 隆志

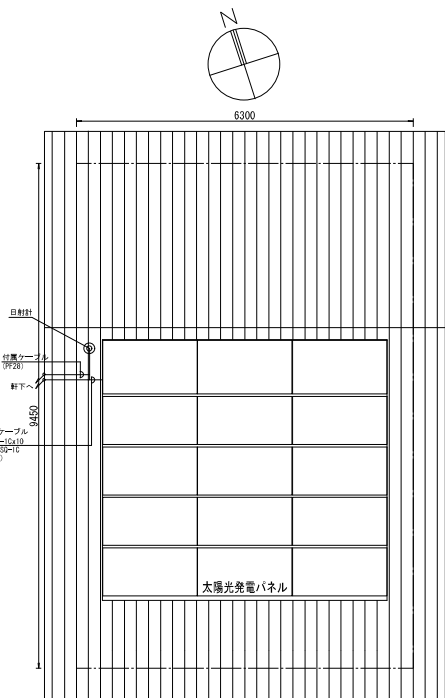
工事名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
 図面名 太陽光発電設備 システム系統図

図番 TU-S0L12
 縮尺
 年月日 R04.09.30

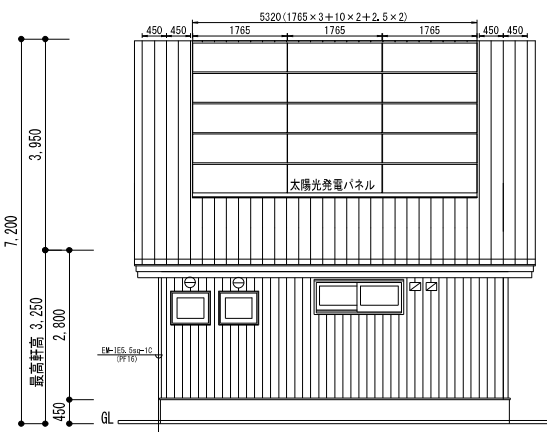
承認
 担当

電気
 08

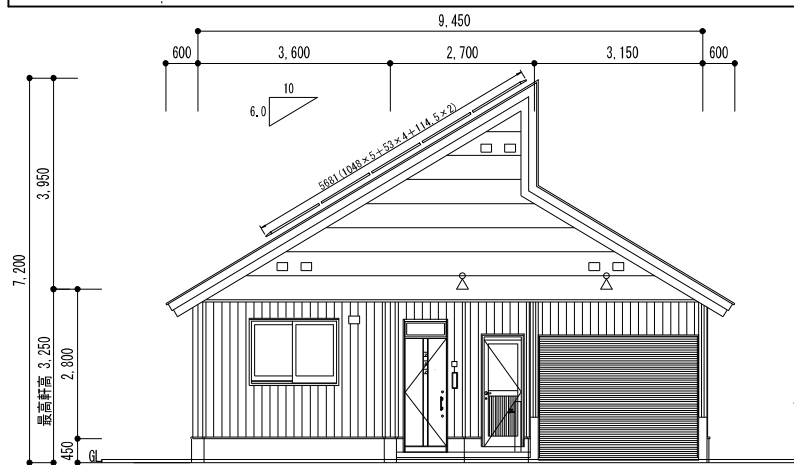
<p>太陽電池モジュール (参考図)</p> <p>仕様 種類 単結晶シリコン太陽電池 最大出力 0.75kW 質量 21.0kg</p>	<p>パワーコンディショニングレギュレーター (参考図)</p> <p>仕様 種類 パワーコンディショニングレギュレーター 質量 約110kg 設置場所 2.5Y6V1 材質 鋼板</p> <p>アンカーボルトは別途計算を要し決定すること。</p>	<p>バッテリーボックス (1.1, 2) (参考図)</p> <p>仕様 種類 バッテリーボックス (1.1, 2) 質量 約25kg 設置場所 2.5Y6V1 材質 鋼板</p> <p>アンカーボルトは別途計算を要し決定すること。</p>	<p>接続箱 (参考図)</p> <p>仕様 質量 2.1kg 色 10Y5R/2.5 材質 合成樹脂製</p>
<p>電力計ユニット (参考図)</p> <p>仕様 質量 約5.0kg 材質 合成樹脂製</p>	<p>小型制御盤 (参考図)</p> <p>仕様 質量 約5.0kg 材質 合成樹脂製</p>	<p>気象伝送受信機 (参考図)</p> <p>仕様 質量 約2.0kg 材質 鋼板</p>	<p>目録計 (参考図)</p> <p>仕様 質量 2.0kg</p>
<p>気流計 (参考図)</p> <p>仕様 質量 0.7kg</p>			



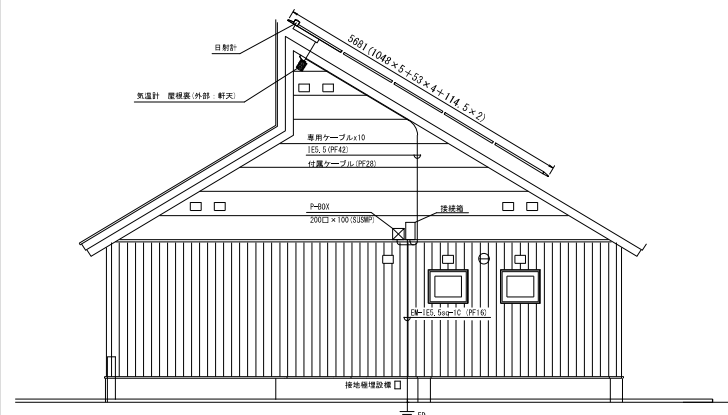
屋根伏図 S=1/100



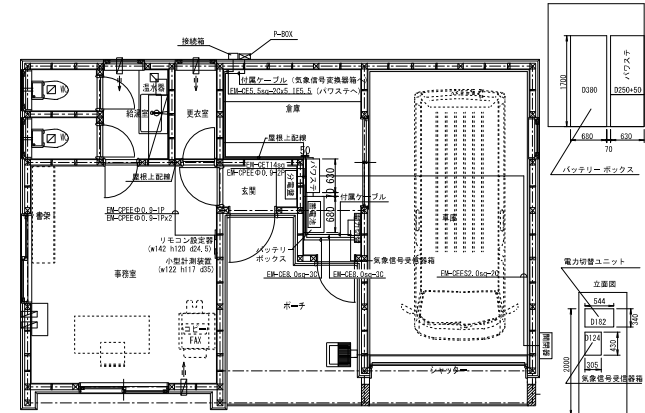
南立面図 S=1/100



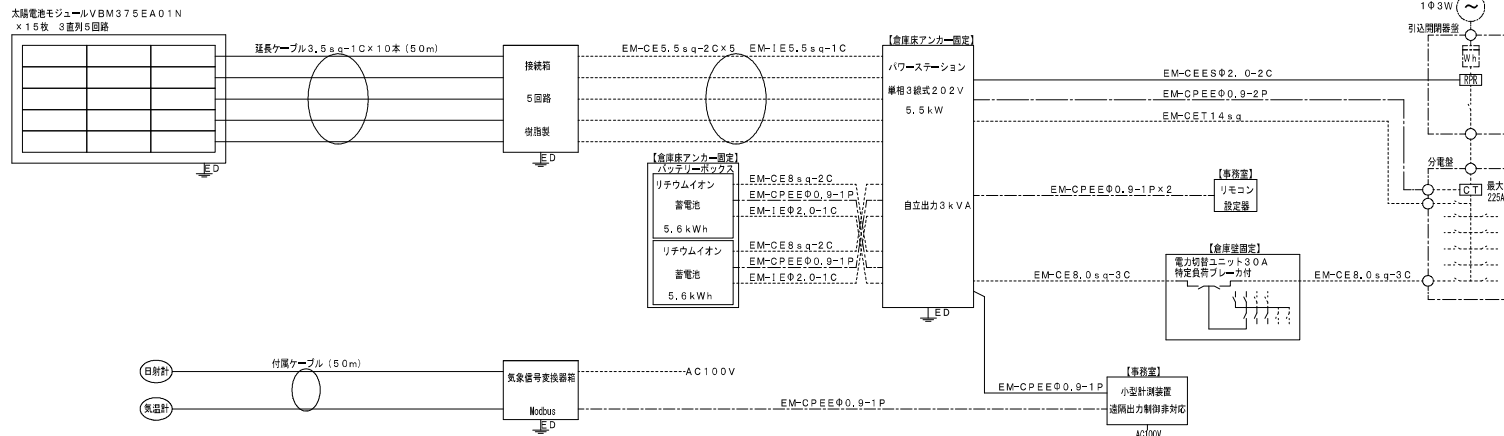
東立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100

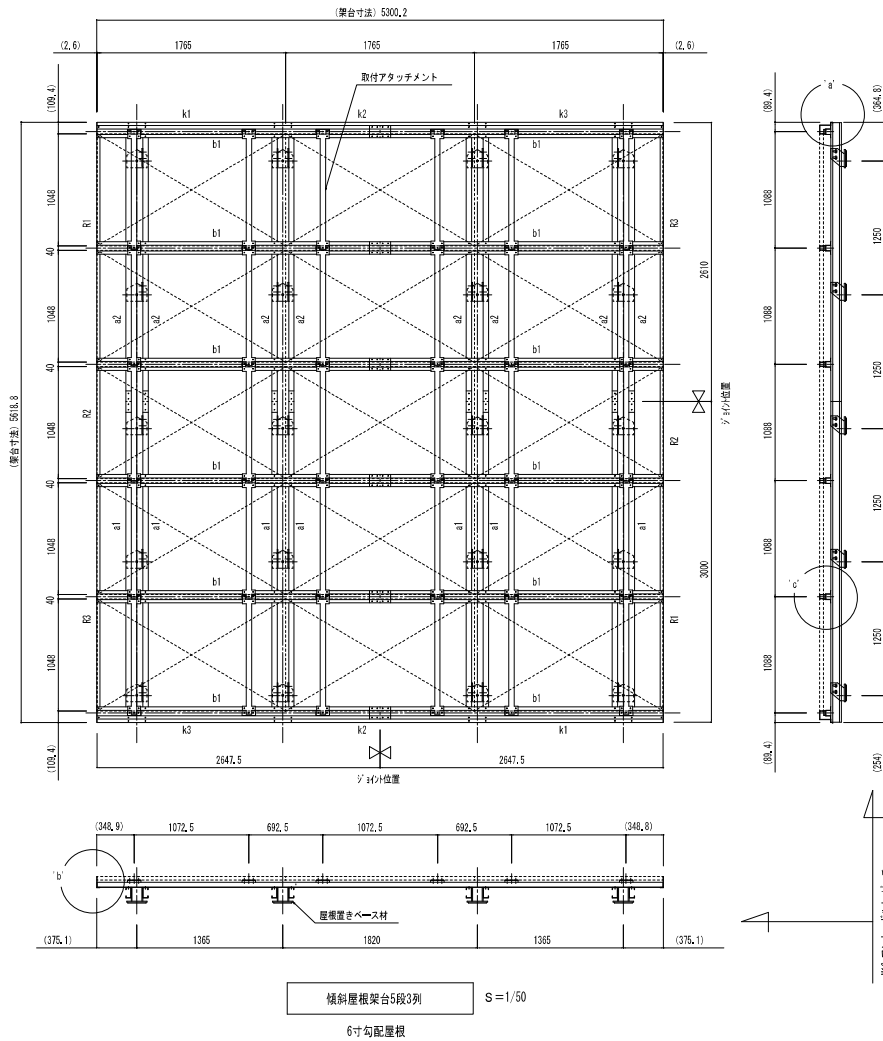


平面図 S=1/100



単線結線図

【主要機器】	(PV5.625kW・蓄電池11.2kWh)
太陽電池モジュール	・単結晶375W VBM375EA01N x15枚=5.625kW
延長ケーブル	・3.5sq-1Cx10本 50m x 5組
接続箱	・5回路 樹脂製 VBCD3005K x 1台
P-BOX	・樹脂製 FRP 100-22 x 1台
単層型システム	・XLJSK11BBK x 1セット
パワーステーション	・単相3線式 202V 5.5kW x 1台
蓄電池	・リチウムイオン蓄電池 5.6kWh x 2台=11.2kWh
バッテリーボックス	・樹脂製 リチウムイオン蓄電池上下2台収納
付属品	・電力切替ユニット 逆潮流用CT リモコン設定等
計測表示	・小型計測装置 (DataLabel: 送出力制御非対応) 日射計 気温計 気象信号変換器
接続盤設置架台	・5段3列 2AM樹脂製 樹脂化粧カバー
架台用アンカーボルト	・設置工事



部材リスト

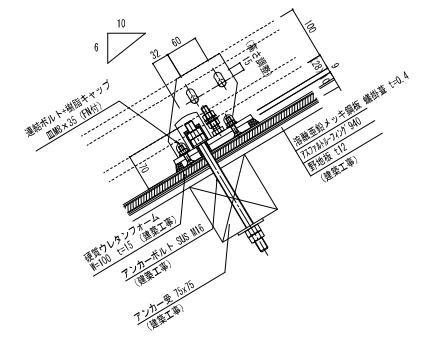
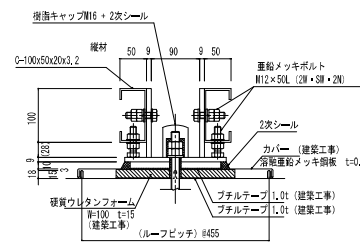
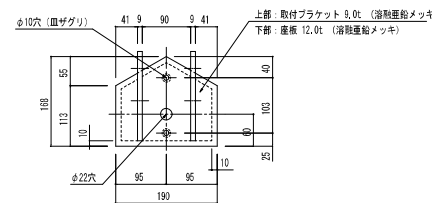
記号	数量	形状	長さ
a1	8	□ 100x50x20x3,2	3000
a1	8	□ 100x50x20x3,2	2610
b1	12	□ 54x50x3x3,2	2647
k1	2	□ 30x80x102x30x2,3	1765
k2	2	□ 30x80x102x30x2,3	1765
k3	2	□ 30x80x102x30x2,3	1765
R1	2	└ 104x30x2,3	2261
R2	2	└ 104x30x2,3	1088
R3	2	└ 104x30x2,3	2261

架台仕様

設置モジュール容量	: 5,625 kW
取り付けパネル枚数	: 15枚
モジュール型式	: VM75E40H
パナソニック株式会社	
架台材質	: ZAM鋼板
	: 構造用溶融亜鉛-70ミクロンメッキ
上下カバー材質	: ZAM鋼板
	: 表面仕上 見掛けのみ粉体塗装 色: 黒
取付ボルト	: 溶融亜鉛メッキボルト

架台重量 (1アレイ分の重量を示します。)

太陽光モジュール	: 21.0kg/枚
15 × 21	= 315 kg
架台	: 700 kg (ボルト除く)
合計	: 1075 kg



屋根置きベース材 納まり詳細図 S=1/10
20ヶ所設置

備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

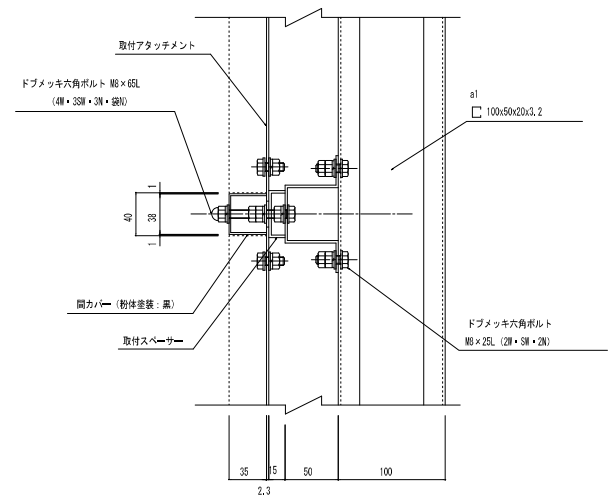
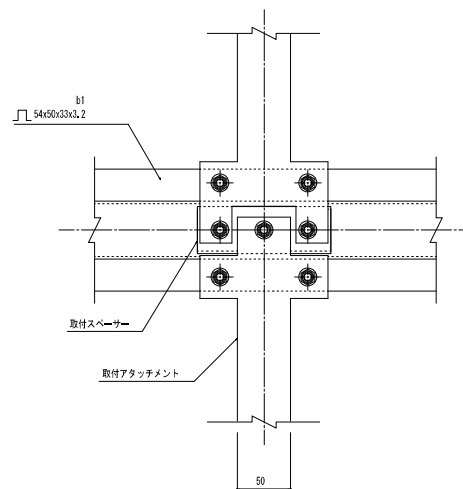
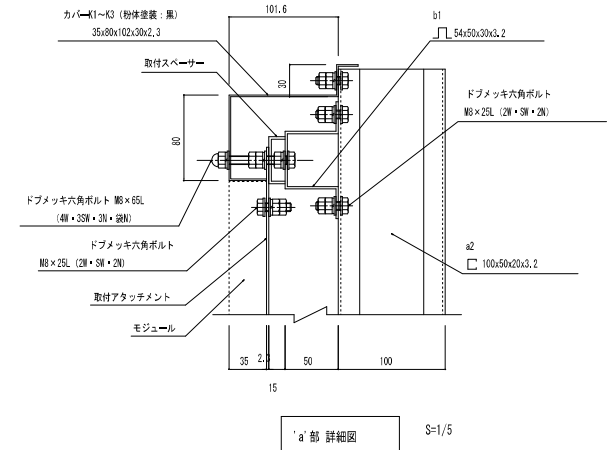
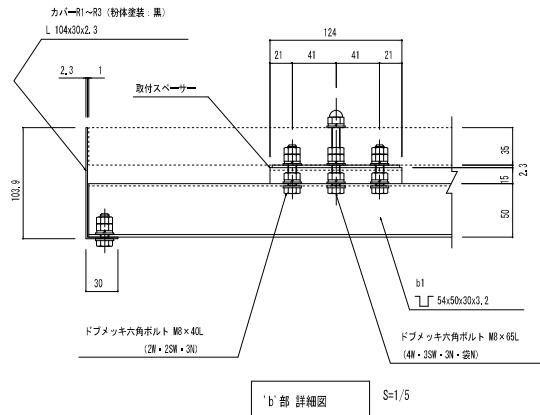
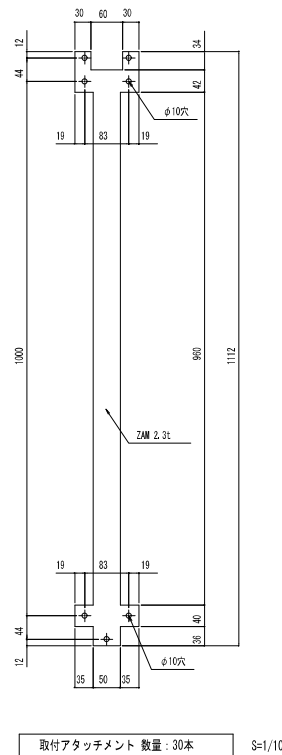
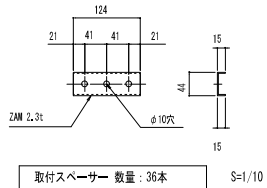
1級建築士
建設大臣登録 177664号
若本 隆志

工事名 根釧西都森林管理署鶴居森林事務所新築工事
図面名 太陽光発電設備 傾斜屋根架台 外形図

図番 TU-S0L15
縮尺 図示
年月日 R04.09.30

承認
担当

電気
11



根創西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事

工事特記仕様書 (その1)

Ⅰ 工事概要

1. 工事場所 阿寒郡鶴居村鶴井西4丁目76-1の内

2. 建物概要

名称	構造種別	数量	単位	備考(工事内容)
○ 事務所	木造	1	棟	
○				
○				
○				
○				
○				

※上記●は、建設リサイクル法の対象範囲を示す。

3. 工事項目

※種目は●印を付したものを適用する。

名称	新設	改修	備考
空気調和設備工事	●一式	○一式	
換気	●一式	○一式	
排煙	○一式	○一式	
給油	○一式	○一式	
自動制御	○一式	○一式	
給水	●一式	○一式	
排水	●一式	○一式	
給湯	●一式	○一式	
衛生器具	●一式	○一式	
消火	○一式	○一式	
ガス漏れ警報	○一式	○一式	
厨房機器	○一式	○一式	
グラウンド散水	○一式	○一式	

4. 施工区分

※該当は●印とする。

項目	工種	建築	電気	換気	衛生	備考
全体の設備配管用のスリーブ箱等及びモルタル等の充填			○	○	●	
上記の補強		●				
設備機器用天井・壁・床下地の開口及び開口補強		●				吹出口、吸込口、ファン等
設備機器用天井・壁・床土上材の切込			○	●	○	
設備用天井、床点検口		●				補強は建築
防火戸用煙感知器、自動閉鎖装置			○			
設備用機械基礎		○	○	○	○	
ルーフドレイン排水金物及び配管					○	
換気扇用取付枠		○	○	○		
同上 防雪フード		○	○			
外壁面入排気ガラリ及び防風板		○		○		

5. 指定部分工事

(1) 工事範囲 ()

(2) 指定工期 契約日より 平成 年 月 日まで

6. 別途工事

Ⅱ 工事仕様

- 共通仕様 図面およびこの特記仕様書に記載されていない事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書、同改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)同標準図(令和4年版)による。
電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、標準仕様書(電気設備工事編)(建築工事編)を適用する。
- その他 (注) 特記事項は●印を付したものを適用する。●印のない場合は*印を適用する。

一般共通事項	土工事
	(1) 管周囲の保護 *山砂の類 ○良質土 ○その他 (2) 埋戻し土 *掘削土の良質土 ○山砂の類 (3) 砂利地業 *再生クラヤラン ○切込砂利 ○切込砕石 粒径 0~40mm程度 砂利地業の厚さ *60mm ○ mm (4) 建設発生土等の処理 ○場外搬出(約 km 捨て場所) 捨て土均し(○有り ○無し) *構内敷均し ○構内指示の場所に堆積
	断熱材 特定フロン等、オゾン層を破壊する物質を含有していないこと

① 空気調和設備

主要熱源機器及び付属機器

ばい煙濃度計
煤じん量測定口
放熱器

●

空気

② 換気・排煙設備

3. 給油設備

4. 自動制御設備

5. 風道

6. 吸出口・吸込口

7. 防雪フード

8. 排気フード

⑨ セルフード

● 給水設備

① 屋外配管

③ 量水器

● 排水設備

① 排水方式

② 排水渠

方式 ○全空気 ○空気水 ○全水 ●冷媒式
○蒸気暖房 ○温水暖房 ○温風暖房
熱源 ○蒸気 ○温水 ○冷水 ○冷温水 ●電気 ○ガス その他()
図内機器表による。容量等の表示、機器類の能力、容量等(電動機出力は除く)は、原則として表示された数値以上とする。
○設けない ○設ける
○設けない ○設ける(煙道直線部に100φ以上の盲フランジ付とする。)
種別 ○鋳鉄製放熱器 ○パネルヒーター ○ファンコイルユニット ○ヒートポンプユニット
○ファンコンベクター ○ユニットヒーター ○パッケージエアコン ○FF暖房機
○電気ヒーター ○遠赤外線暖房機
○その他()

換気方式 ○換気扇 ●ダクト式機械換気 ○その他()
排煙方式 ○機械排煙 ○その他()
排煙口 イ. 形状 ○スリット形 ○スイング形
ロ. 開放装置 ○手動 ○手動及び遠隔操作可能なもの。

地下貯油槽 イ. 基礎杭 ○要 ○不要 ○本工事 ○別途工事
ロ. タンク室 ○要 ○鋼製強化プラスチック製二重殻タンク
遠隔式油量指示計 ○設けない ○次により設ける
a) 取付方法 ○専用蓋 ○油槽室内 ○その他()
b) 指示ユニット・製造者標準型とし図示による。
地上タンク ○市販品 ○製作(板厚 mm)
「危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示」
によるほか所轄消防署が承認したもの。
防油堤 ○本工事 ○別途工事
オイルサーピスタック イ. 給油ポンプ ○設ける ○設けない
ロ. 汲油ポンプ ○設ける ○設けない

イ. 制御方式 ○電気式 ○電子式 ○デジタル式
ロ. 計測範囲 ○温度 ○湿度 ○その他()
ハ. 計測箇所 図示による。
ニ. 計測機器 図内機器表による。
ホ. 低圧屋内配線に該当する配線は標準仕様書(電気設備工事編)による。

イ. 方式 ○低速 ○高速 ○その他()
ロ. 工法 ○アングルフランジ ○コーナーボルト(○共板 ○スライド)

ハ. 種別 ○鉄板()
○スバイラルダクト()
○ビニル管()
○その他()

材質 ○鋼板製 ○アルミニウム製 ○その他()

イ. 材質 ステンレス鋼板製(○SUS430 ○SUS304) ○その他()

ロ. 板厚 () m/m
ハ. 幕板 本工事(ステンレス鋼板製○SUS430 ○SUS304 m/m) ○別途工事

材質 ●ステンレス製 ○アルミニウム製 ○その他()

● 給湯

● 衛生器具

○ ガス設備

① 給湯方式 ○給湯ボイラー ○暖房併設 ○熱交換器 ○貯湯タンク
○ガス湯沸器(○貯湯式 ○瞬間式) ●電気湯沸器 ○その他()

① 衛生器具及び付属機器 ●図内器具表による。
2. その他 ○その他()

1. 種類 ○都市ガス ○液化石油ガス ○その他()
2. 機器 図内機器表による。
3. 施工 都市ガス………ガス事業者の責任施工とする。
液化石油ガス……標準仕様書第6編第3章による。
その他のガス……高圧ガス保安法の規定に基く。
4. ガス漏れ警報設備 ○有 ○無

1. 配管材料

Table with columns for pipe types (工種) and construction areas (施工区分) including 暖房, 給水, 給湯, 排水, 通気, ガス, 給油, 消火, 冷媒, 冷温水, 冷却水.

※該当項目に●印をつける。2列書きになっている部分は左側屋外配管、右側屋内配管とする。

- * 弁類 特記部分、水道直圧及び高置タンクまで10kgf/cm2、他は5kgf/cm2とする。
* 試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は被覆施工前に行う。

2. 保温 標準仕様書第2編3. 1. 4及び5のうち保温材及び外装材は次にによる。

1. 配管 保温材 ●グラスウール ○ロックウール ●ポリスチレンフォーム

外装材 イ) 屋内露出 ○綿布 ○アルミガラスクロス ●その他 (‘i’イグド)

ロ) 機械室・倉庫 ○アルミガラスクロス ○綿布 ○その他 ()

ハ) 天井内・パイプシャフト内及び空隙壁中 ●アルミガラスクロス ○その他 ()

ニ) 床下・階内 ○防水麻布・アスファルトプライマー ●青色アルミガラスクロス

○保温なし () ○その他 ()

注. 給水管、排水管にはポリエチレンフィルムを巻いて施工すること。

ダクト 保温材 ●グラスウール ○ロックウール板 1号 2号 ●ロックウール帯 1号 ○その他 ()

外装材 イ) 屋内露出 ○綿布 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板

○アルミガラスクロス ○その他 ()

ロ) 機械室・倉庫 ○アルミガラスクロス ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板

○綿布 ○その他 ()

ハ) 天井内・パイプシャフト内及び空隙壁中 ●アルミガラスクロス ○その他 ()

ニ) 入気ダクト及び外壁より1.5m以内の排気ダクト ○アルミガラスクロス ○その他 ()

ハ. 機器類 ○冷温水ヘッダー○冷水ヘッダー○冷温水タンク○冷水タンク ○蒸気ヘッダー○温水ヘッダー○熱交換器○温水タンク○膨張タンク

保温材 ○グラスウール ○ロックウール ○その他 ()

外装材 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○その他 ()

2. 冷媒 被覆鋼管

Table with columns for 外径, 6.35, 9.52, 12.70 ~ 50.80 and 被覆厚, ●, ●.

保温材 ○ロックウール ○その他 ()

外装材 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○その他 ()

3. 塗装・防食

イ. 保温外装…露出 鋼合ペイント 但し煙道、煙突は耐熱塗装とする。
ロ. 裸管 ●鋼合ペイント ○アルミニウムペイント
蒸気管露出は、アルミニウムペイント 隠ぺいは、さび止めペイント
ハ. 支持金物及び架台類 ○鋼合ペイント ○アルミニウムペイント
ニ. 埋設 ○ペトラタム系防食テープ (○土中 ○コンクリート内)

4. 配管洗浄

○冷温水管 ○冷却水管 ●給水管 ○給湯管

高周波洗浄もしくは同等以上の方法による。水道法に準じて消毒を行い水質試験報告書を提出する事。

5. 地中埋設標

地中埋設標・埋設表示テープ及び屋外配管埋設深さは、下記による。

Table with columns for 地中埋設標・埋設表示テープの有無 and 埋設表示テープ, 車道道路, 道路以外, 凍結深さ.

要の場合、地中埋設標は図示する箇所、埋設表示テープは屋外部分に適用する。

6. 耐震措置

機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け、取り付け支持を行う。耐震措置の計算及び施工方法は、次に示す事項以外、すべて建築設備耐震設計施工指針

7. 総合調整項目

○ 風量調整 ● 水量調整 ○ 室内外空気の温度 ○ 室内外空気の湿度 ○ 室内気流及びじんあいの測定 ○ 騒音の測定
総合調整完了後、機器等の運転状態の記録及び系統ごとに各測定結果をまとめた測定表を提出する。測定表には、測定器名、測定日時及び測定者名を記入し、測定点を示した図面を添付する。

6. 穴埋補修
7. 吊ボルト
8. スリーブ
4. コルゲド強度
5. 断熱化シート
6. 研り
7. その他

穴埋補修は無収縮モルタルで補修する

ピット内及び床下は被覆全ネジ又は丸鋼とし9φ以上とする。

貫通部分は紙製又は木材を使用し、外壁の地中部分等水密を要する部分はつば付き鋼管を使用する。

機器類基礎等のコンクリート強度、鉄筋

Table with columns for 強度, 016N/mm2, 018N/mm2, 021N/mm2 and スランプ, c m, c m, c m.

Table with columns for 鉄筋種別, 異形鉄筋, 0SD295, 0SD345, 0SD390 and 補強筋, 壁開口部, 床開口部, その他.

断熱材使用箇所におけるインサートは、断熱インサートとする。

既設のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。口径は、原則として管の外径(保温されるものにあつては保温厚さを含む)より20mm程度大きなものとする。

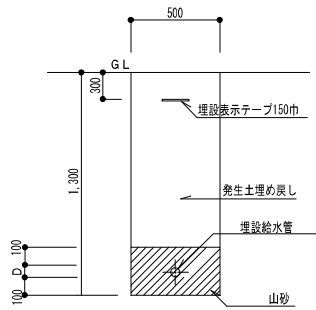
本工事における工事監理業務委託の有無 *無し...○有り...

メーカーリスト

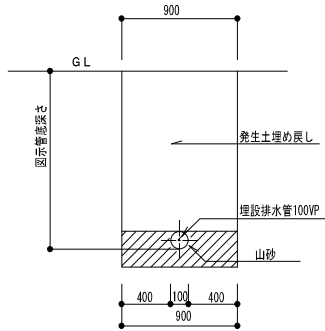
Table with columns for 機器名, 指定, 製造, 所.



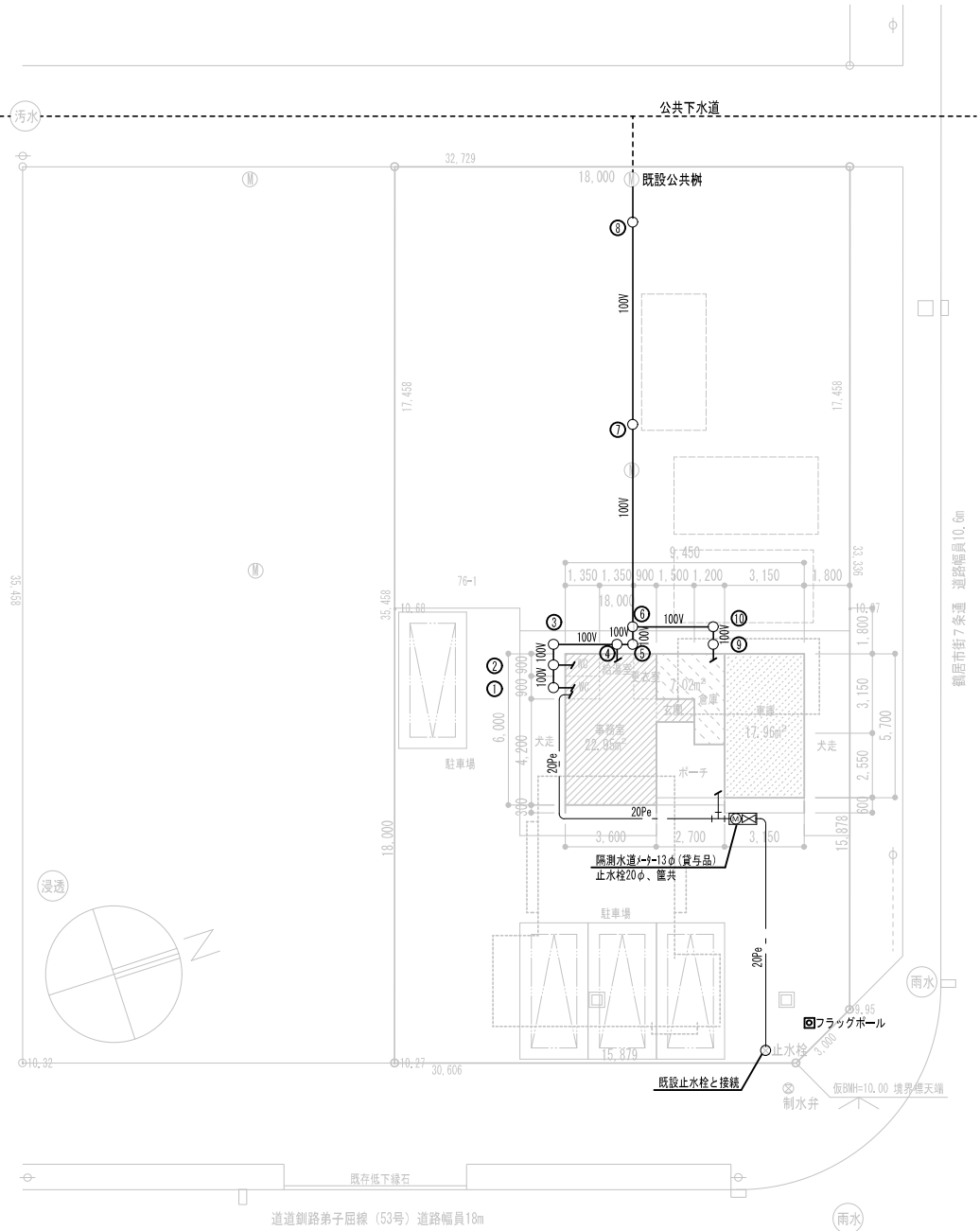
樹一覽表					
記号	樹名称	樹径・形状	管底高	蓋種類	備考
1	塩ビ製汚水樹	150φ×100 LL	710H	塩ビ蓋	
2	塩ビ製汚水樹	150φ×100 LT	740H	塩ビ蓋	
3	塩ビ製汚水樹	150φ×100 LL	765H	塩ビ蓋	
4	塩ビ製汚水樹	150φ×100 LT	855H	塩ビ蓋	
5	塩ビ製汚水樹	150φ×100 LL	925H	塩ビ蓋	
6	塩ビ製汚水樹	150φ×100 LT	955H	塩ビ蓋	
7	塩ビ製汚水樹	150φ×100 ST	1210H	塩ビ蓋	
8	塩ビ製汚水樹	150φ×100 ST	1465H	塩ビ蓋	
9	塩ビ製汚水樹	150φ×100 ST	895H	塩ビ蓋	
10	塩ビ製汚水樹	150φ×100 LL	925H	塩ビ蓋	
	既設公設樹		1525H		



埋設給水管掘削断面図 S=1/30



埋設排水管掘削断面図 S=1/30



配置図 S=1/200

備考



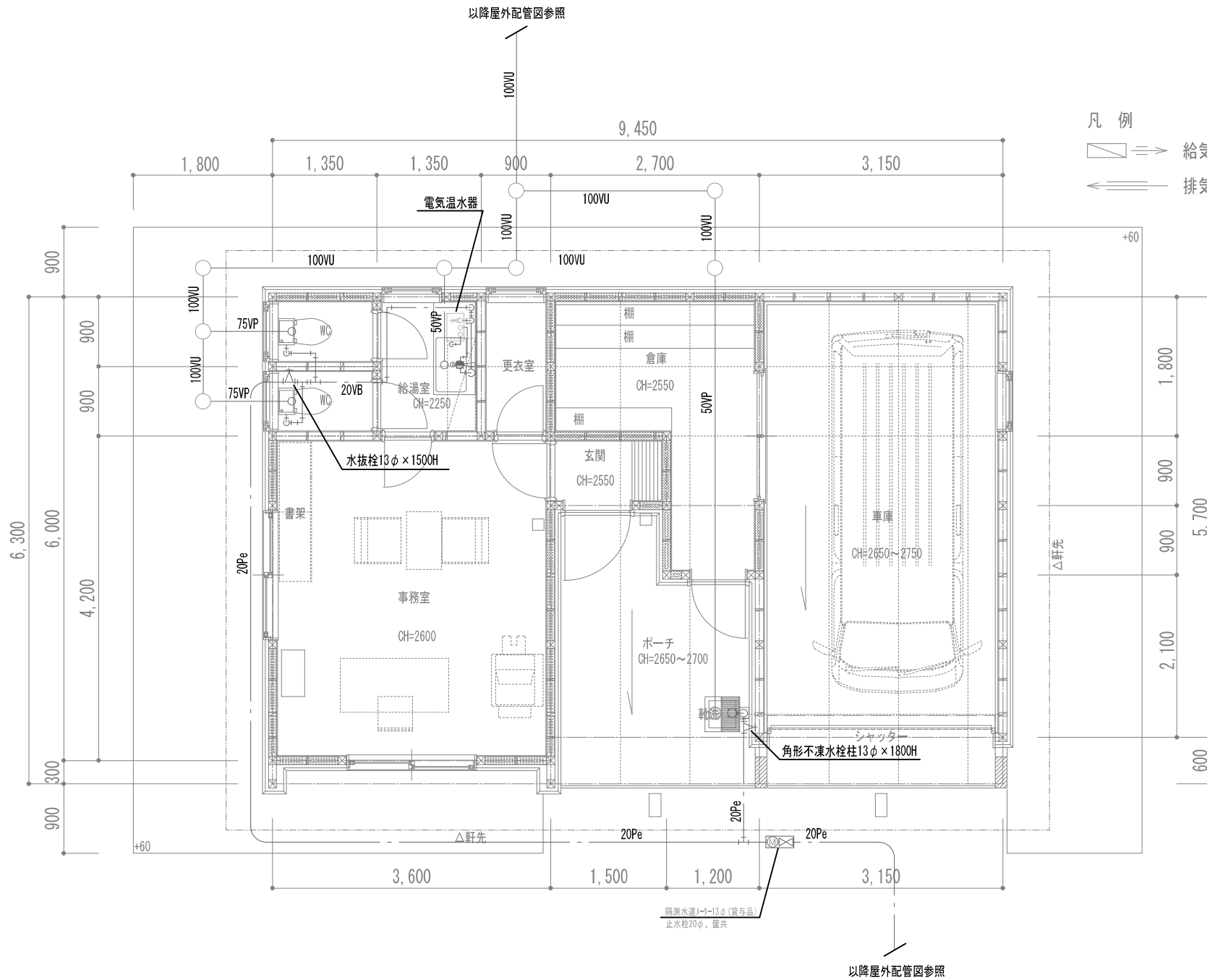
1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

1級建築士
建設大臣登録 177664号
若木 隆志

工事名	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事設計業務
図面名	衛生設備 屋外配管図

図番	MK-W03	承認	
縮尺	図示	担当	
年月日	R04.09.30		

機械
03



凡例

≡⇒ 給気口：レジスター KS-V20R

⇐⇐⇐ 排気機

備考



1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号
チカラ総合設計株式会社

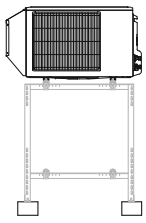
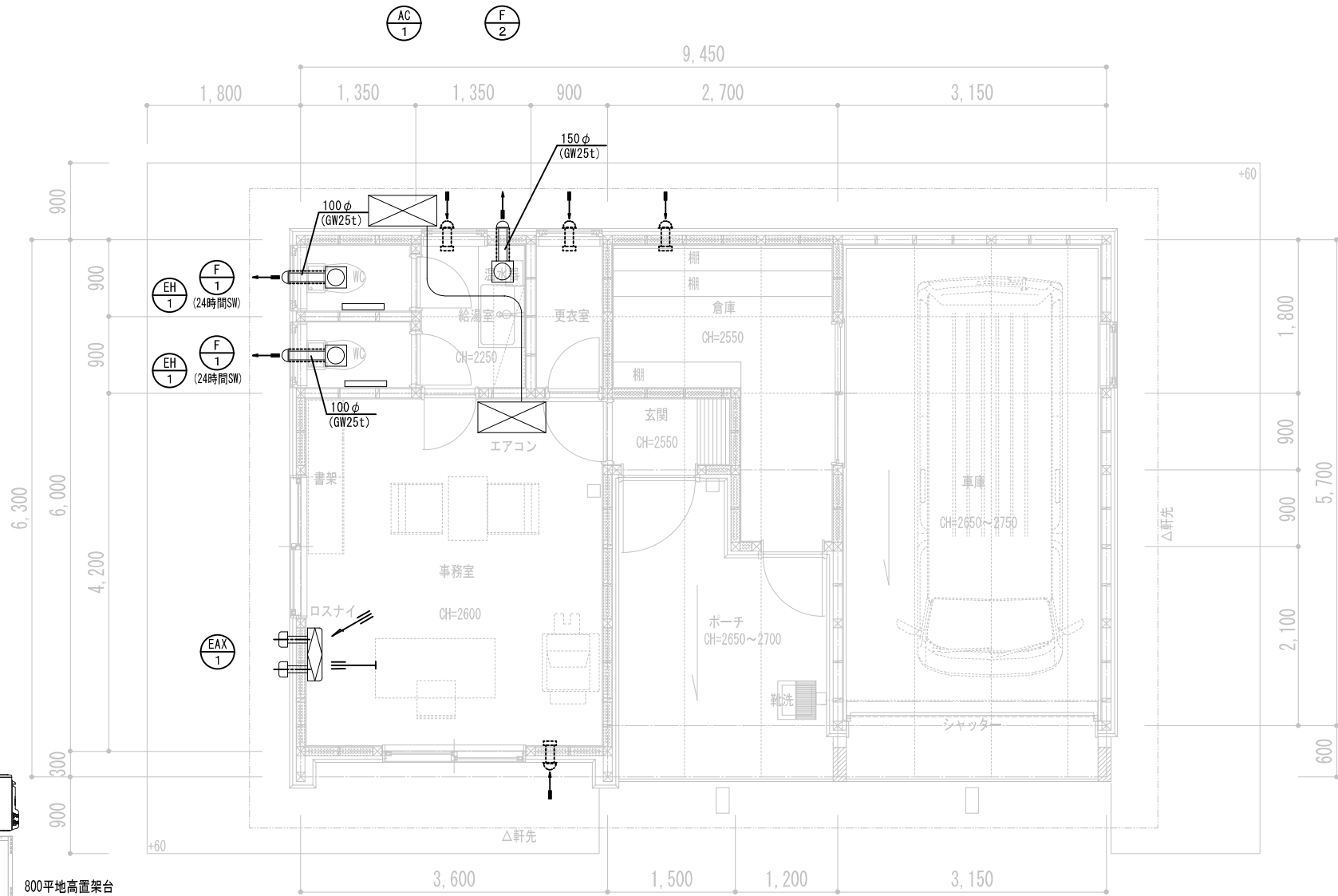
1級建築士
建設大臣登録 177664号
若本 隆志

工事名 根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事
図面名 衛生設備図

図番 MK-W04
縮尺 1/50
年月日 R04.09.30

承認
担当

機械
04



800平地高置架台

室外機吹出側・吸込側（左及び後）に防雪フード設置のこと

エアコン室外機周り詳細図

- ※ 給気口は建築工事とする。
- ※ 冷媒配管は保温材付被覆銅管6.35φ×9.52φのペアチューブとする。
- ※ 冷媒配管は天井内配管とする。
- ※ エアコン室内機部にドレンアップキット使用のこと。

備考	 1級建築士事務所 北海道知事登録 第2101号 チカラ総合設計株式会社	1級建築士 建設大臣登録 177664号 若本 隆志	工事名	根釧西部森林管理署鶴居森林事務所新築工事	図番	MK-M05	承認	機械
			図面名	冷暖房・換気設備図	縮尺	1/50	年月日	

衛生器具表		給湯室	便所	事務室	屋外	合計	備考
品名	仕様						
洋風大便器	ヒーター付き CES9325H (参考品番) 洗浄便座一体型 紙巻器YH500		2			2	
電気温水器	壁掛・マイコン型 貯湯量 12L 付属品一式 1φ×100V×1.1kw	1				1	TOTO相当
混合栓	熱湯口付 13φ	1				1	T335DR (壁出)
散水栓	13φ 不凍散水栓柱 1800H				1	1	

暖房・換気設備			電気容量			数量						備考
記号	名称	仕様	φ	V	W	事務所	便所	更衣室	給湯室	倉庫	合計	
						F-1	天井換気扇	低騒音・樹脂製 100φ×80CMH×20pa 深型フード (SUS製) 100φ	1	100		
F-2	天井換気扇	低騒音・金属製 150φ×150CMH×20pa 深型フード (SUS製) 150φ	1	100	2.2				1		1	
EAX-1	空調換気扇	壁付ロスナイ 70CMH 強弱運転可能 専用フード	1	100	2.0	1					1	
AC-1	寒冷地エアコン	寒冷地仕様 冷房: 2.8kw 暖房: 4.0kw 防雪フード、床置架台800H ドレンパイプキット	1	200	890	1					1	
EH-1	電気パネルヒーター	壁掛 暖房能力 0.5kw	1	100	500		2				2	